

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年6月6日
【発行者名】	三井住友アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 前田 良治
【本店の所在の場所】	東京都港区愛宕二丁目5番1号
【事務連絡者氏名】	三島 克哉
【電話番号】	03-5405-0228
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証 券に係るファンドの名称】	三井住友・年金プラン30 三井住友・年金プラン50 三井住友・年金プラン70
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証 券の金額】	三井住友・年金プラン30 ：2,000億円を上限とします。 三井住友・年金プラン50 ：2,000億円を上限とします。 三井住友・年金プラン70 ：2,000億円を上限とします。 合計で6,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

## 第一部【証券情報】

### (1) 【ファンドの名称】

三井住友・年金プラン30

三井住友・年金プラン50

三井住友・年金プラン70

以下、上記のファンドを総称して「当ファンド」もしくは「各ファンド」といいます。また、「三井住友・年金プラン30」を「年金プラン30」、「三井住友・年金プラン50」を「年金プラン50」、「三井住友・年金プラン70」を「年金プラン70」ということがあります。

### (2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の受益権です。

\* ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社である三井住友アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

当初元本は1口当たり1円です。委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

### (3) 【発行（売出）価額の総額】

各ファンドにつき2,000億円を上限とします（合計で6,000億円を上限とします。）。

### (4) 【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、各ファンドについてそれぞれ下記の率の信託財産留保額を加算した価額（販売基準価額といいます。）となります。

年金プラン30：0.085%

年金プラン50：0.105%

年金プラン70：0.125%

ただし、累積投資契約に基づく収益分配金の再投資の場合は、各計算期末の販売基準価額となります。

「基準価額」とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した価額をいいます（基準価額は、便宜上1万口単位で表示される場合があります。）。

基準価額は、組入有価証券の値動き等により日々変動します。

販売基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、それぞれ「年金30」、「年金50」、「年金70」として掲載されます。

委託会社に対する照会は下記においてできます。

照会先の名称	電話番号	インターネット・ホームページ・アドレス
三井住友アセットマネジメント株式会社	0120-88-2976	http://www.smam-jp.com

お問い合わせは、原則として営業日の午前9時～午後5時までとさせていただきます。

### (5) 【申込手数料】

無手数料です。

ただし、1口につき取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、各ファンドについてそれぞれ下記の率を乗じて得た信託財産留保額を申込金額からご負担いただきます。

年金プラン30：0.085%

年金プラン50：0.105%

年金プラン70：0.125%

(6) 【申込単位】

お申込単位の詳細は、お申込みの販売会社または前記「(4) 発行(売出) 価格」に記載の委託会社にお問い合わせください。

(7) 【申込期間】

平成25年6月7日から平成26年6月5日まで

申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。

(8) 【申込取扱場所】

販売会社において申込みを取り扱います。

販売会社の詳細につきましては、前記「(4) 発行(売出) 価格」に記載の委託会社にお問い合わせください。

(9) 【払込期日】

取得申込者は、申込金額(取得申込受付日の翌営業日の販売基準価額×申込口数)を、販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。

各取得申込みにかかる発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

(10) 【払込取扱場所】

販売会社において払込みを取り扱います。(販売会社は前記「(4) 発行(売出) 価格」に記載の委託会社にお問い合わせください。)

(11) 【振替機関に関する事項】

当ファンドの振替機関は下記の通りです。

株式会社証券保管振替機構

(12) 【その他】

イ 申込証拠金

ありません。

ロ わが国以外の地域における募集

ありません。

ハ クーリング・オフ制度(金融商品取引法第37条の6)の適用

ありません。

ニ 振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、ファンドの振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則に従って取り扱われるものとし、ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および当該振替機関の業務規程その他の規則に従って支払われます。

(参考：投資信託振替制度)

- ・ファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理するもので、ファンドの設定、解約、償還等がコンピュータシステム上の帳簿(「振替口座簿」といいます。)への記載・記録によって行われます。
- ・受益証券は発行されませんので、盗難や紛失のリスクが削減されます(原則として受益

証券を保有することはできません。)

- ・ファンドの設定、解約等における決済リスクが削減されます。
- ・振替口座簿に記録されますので、受益権の所在が明確になります。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

イ 当ファンドは、親投資信託である国内株式マザーファンド（B号）、国内債券マザーファンド（B号）、外国株式マザーファンド（B号）および外国債券マザーファンド（B号）の受益証券への投資を通じて、実質的に内外の株式、債券への分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

以下、上記各親投資信託を総称して、あるいはそれぞれを「マザーファンド」ということがあります。

ロ 各ファンドについて、委託会社が独自に作成した合成指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。詳細については、後述の「2 投資方針」をご参照ください。

ハ 委託会社は、受託会社と合意の上、各ファンドにつき、それぞれ金2,000億円を限度として信託金を追加することができます。この限度額は、委託会社、受託会社の合意により変更できます。

ニ 当ファンドが該当する商品分類、属性区分は次の通りです。

##### (イ) 当ファンドが該当する商品分類

項目	該当する商品分類	内容
単位型・追加型	追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	内外	目論見書または信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産 (収益の源泉)	資産複合	目論見書または信託約款において、株式、債券、不動産投信、その他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

##### (ロ) 当ファンドが該当する属性区分

項目	該当する属性区分	内容
投資対象資産	その他資産（投資信託証券（資産複合（株式、債券）資産配分固定型））	目論見書または信託約款において、主として投資信託証券に投資する旨の記載があるものをいいます。「投資信託証券」以下のカッコ内は投資信託証券の先の実質投資対象について記載しています。なお、組み入れる資産そのものは投資信託証券ですが、投資信託証券の先の実質投資対象は株式および債券であり、ファンドの収益は株式市場、債券市場の動向に左右されるものであるため、商品分類上の投資対象資産（収益の源泉）は「資産複合」となります。
決算頻度	年1回	目論見書または信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。
投資対象地域	グローバル（日本を含む）	目論見書または信託約款において、組入資産による投資収益が日本を含む世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

投資形態	ファミリーファンド	目論見書または信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいいます。
為替ヘッジ	為替ヘッジなし	目論見書または信託約款において、対円での為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは対円での為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。

〈商品分類表〉

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単 位 型	国 内	株 式
		債 券
	海 外	不 動 産 投 信
追 加 型		そ の 他 資 産 ( )
	内 外	資 産 複 合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

〈属性区分表〉

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株 式	年 1 回	グ ロー パ ル (日本を含む)		
一 般 大 型 株 中 小 型 株	年 2 回	日 本		
	年 4 回	北 米	ファミリーファンド	あ り
債 券	年6回(隔月)	欧 州		
一 般 公 債 社 債 その他債券 クレジット属性 ( )	年12回(毎月)	ア ジ ア		
	日 々	オ セ ア ニ ア		
	そ の 他 ( )	中 南 米	ファンド・オブ・ファンズ	な し
不 動 産 投 信		ア フ リ カ		
そ の 他 資 産 (投資信託証券、資産複合(株式、債券、 資産配分固定型))		中 近 東 (中 東)		
資 産 複 合 ( ) 資産配分固定型 資産配分変更型		エ マ ー ジ ン グ		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分の「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類、属性区分は、一般社団法人投資信託協会「商品分類に関する指針」に基づき記載

しています。商品分類、属性区分の全体的な定義等は一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

## （２）【ファンドの沿革】

- 平成12年9月19日 信託契約締結、設定、運用開始。  
（設定時の委託会社は住友ライフ・インベストメント株式会社）
- 平成13年9月27日 「SLIバランス・プラン30」、「SLIバランス・プラン50」、「SLIバランス・プラン70」から「住友ライフ・年金プラン30」、「住友ライフ・年金プラン50」、「住友ライフ・年金プラン70」に名称を変更。
- 平成14年12月1日 三井住友アセットマネジメント株式会社が、合併によりファンドの委託会社としての業務を承継。「住友ライフ・年金プラン30」、「住友ライフ・年金プラン50」、「住友ライフ・年金プラン70」から「三井住友・年金プラン30」、「三井住友・年金プラン50」、「三井住友・年金プラン70」に名称を変更。

## （３）【ファンドの仕組み】

### イ 当ファンドの関係法人とその役割

#### （イ）委託会社 「三井住友アセットマネジメント株式会社」

証券投資信託契約に基づき、信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）および運用報告書の作成等を行います。

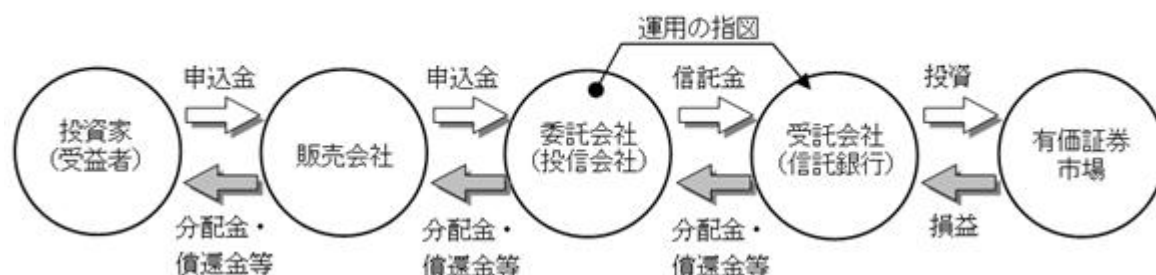
#### （ロ）受託会社 「三井住友信託銀行株式会社」

証券投資信託契約に基づき、信託財産の保管・管理・計算等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することがあります。また、外国における資産の保管は、その業務を行うに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行う場合があります。

#### （ハ）販売会社

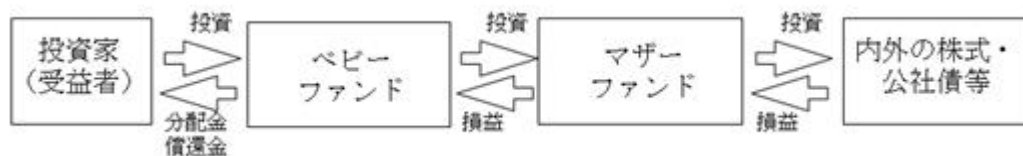
委託会社との間で締結される販売契約（名称の如何を問いません。）に基づき、当ファンドの募集・販売の取扱い、投資信託説明書（目論見書）の提供、受益者からの一部解約実行請求の受付け、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払事務等を行います。

### 運営の仕組み



当ファンドの運用は、「ファミリーファンド方式」で行われます。

「ファミリーファンド方式」とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者の資金をまとめて「ベビーファンド」とし、「ベビーファンド」の資金の全部または一部を「マザーファンド」に投資することにより、実質的な運用は「マザーファンド」において行う仕組みです。



## ロ 委託会社の概況

### (イ) 資本金の額

2,000百万円（平成25年4月30日現在）

### (ロ) 会社の沿革

昭和60年7月15日 三生投資顧問株式会社設立

昭和62年2月20日 証券投資顧問業の登録

昭和62年6月10日 投資一任契約にかかる業務の認可

平成11年1月1日 三井生命保険相互会社の特別勘定運用部門と統合

平成11年2月5日 三生投資顧問株式会社から三井生命グローバルアセットマネジメント株式会社へ商号変更

平成12年1月27日 証券投資信託委託業の認可取得

平成14年12月1日 住友ライフ・インベストメント株式会社、スミセイ グローバル投信株式会社、三井住友海上アセットマネジメント株式会社およびさくら投信投資顧問株式会社と合併し、三井住友アセットマネジメント株式会社に商号変更

平成25年4月1日 トヨタアセットマネジメント株式会社と合併

### (ハ) 大株主の状況

（平成25年4月30日現在）

名称	住所	所有 株式数	比率 (%)
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	7,056	40.0
住友生命保険相互会社	大阪府大阪市中央区城見一丁目4番35号	4,851	27.5
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川二丁目27番2号	4,851	27.5
三井生命保険株式会社	東京都千代田区大手町二丁目1番1号	882	5.0

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

#### イ 基本方針

マザーファンドを組み入れることにより、実質的に内外の株式、債券に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

#### ロ 投資態度

(イ) 各ファンドの標準的な資産配分および各資産の変動幅は、以下の通りとします。

##### a . 年金プラン30

	資産配分	変動幅	
		下限	上限
株式	30%	25%	35%
国内株式	20%	12.5%	30%
外国株式	10%	5%	15%

債券および短期金融資産	70%	65%	75%
国内債券	60%	45%	70%
外国債券	10%	5%	15%
短期金融資産	0%	0%	5%

## b. 年金プラン50

	資産配分	変動幅	
		下限	上限
株式	50%	45%	55%
国内株式	33%	22.5%	45%
外国株式	17%	10%	25%
債券および短期金融資産	50%	45%	55%
国内債券	40%	25%	50%
外国債券	10%	5%	15%
短期金融資産	0%	0%	5%

## c. 年金プラン70

	資産配分	変動幅	
		下限	上限
株式	70%	65%	75%
国内株式	47%	32.5%	60%
外国株式	23%	15%	35%
債券および短期金融資産	30%	25%	35%
国内債券	20%	5%	30%
外国債券	10%	5%	15%
短期金融資産	0%	0%	5%

(ロ) 各ファンドの運用にあたっては、それぞれ以下の比率により委託会社が独自に作成した合成指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。

	年金プラン 30	年金プラン 50	年金プラン 70
TOPIX（東証株価指数）	20%	33%	47%
NOMURA - BPI（総合）インデックス	60%	40%	20%
MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）	10%	17%	23%
シティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	10%	10%	10%

(ハ) 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないことを基本とします。

## 《ファンドの特色》

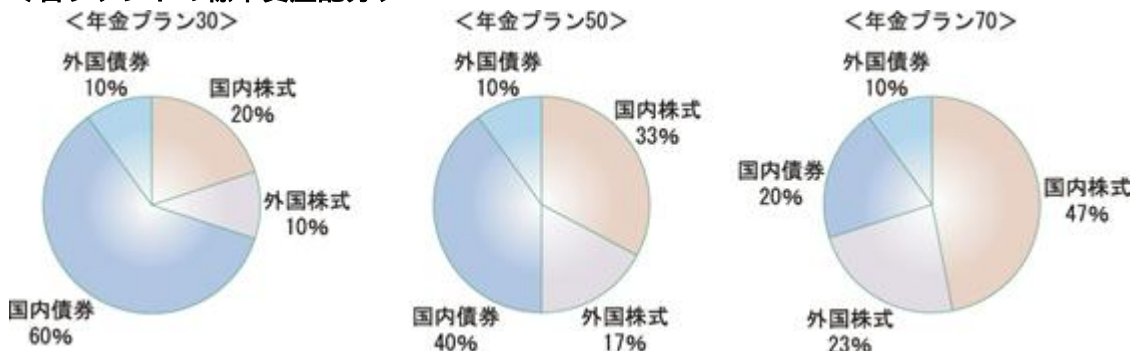
1. 内外の株式・債券に投資する4つのマザーファンドの組入れを通じて、国内株式、国内債券、外国株式および外国債券への分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。





2. 各ファンドにつき、標準的な資産配分および各資産の変動幅を定め、その範囲内で運用を行います。

〔各ファンドの標準資産配分〕



〔各資産の配分変動幅〕

	年金プラン30	年金プラン50	年金プラン70	
株式	25% ~ 35%	45% ~ 55%	65% ~ 75%	
	国内株式	12.5% ~ 30%	22.5% ~ 45%	32.5% ~ 60%
	外国株式	5% ~ 15%	10% ~ 25%	15% ~ 35%
債券および短期金融資産	65% ~ 75%	45% ~ 55%	25% ~ 35%	
	国内債券	45% ~ 70%	25% ~ 50%	5% ~ 30%
	外国債券	5% ~ 15%	5% ~ 15%	5% ~ 15%
	短期金融資産	0% ~ 5%	0% ~ 5%	0% ~ 5%

3. 各ファンドにつき、委託会社が独自に作成した合成指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。

〔各ファンドのベンチマーク〕

	年金プラン 30	年金プラン 50	年金プラン 70
TOPIX（東証株価指数）	20%	33%	47%
MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）	10%	17%	23%
NOMURA - BPI（総合）インデックス	60%	40%	20%

シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	10%	10%	10%
------------------------------	-----	-----	-----

・TOPIX(東証株価指数)、MSCIコクサイ・インデックス、NOMURA-BPI(総合)インデックス、シティグループ世界国債インデックスは、それぞれ東京証券取引所、MSCIインク、野村證券株式会社、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが公表している指数で各社の知的財産です。

**4. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないことを基本とします。**

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

**(2) 【投資対象】**

**イ 投資対象とする資産の種類**

当ファンドが投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

(イ) 次に掲げる特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項の「特定資産」をいいます。以下同じ。)

1. 有価証券
2. デリバティブ取引にかかる権利
3. 金銭債権
4. 約束手形

(ロ) 特定資産以外の資産で、以下に掲げる資産

1. 為替手形

**ロ 投資対象とする有価証券**

委託会社は、信託金を、主として第1号から第4号までのマザーファンドの受益証券および第5号から第22号までの有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

1. 国内株式マザーファンド(B号)
2. 国内債券マザーファンド(B号)
3. 外国株式マザーファンド(B号)
4. 外国債券マザーファンド(B号)
5. 株券または新株引受権証券
6. 国債証券
7. 地方債証券
8. 特別の法律により法人の発行する債券
9. 社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券(以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。))の新株引受権証券を除きます。)
10. 特定目的会社にかかる特定社債券(金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。)
11. コマーシャル・ペーパー
12. 新株引受権証券(分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。))および新株予約権証券
13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、第5号から第12号までの証券または証書の性質を有するもの

14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
  15. 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
  16. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
  17. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。）
  18. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
  19. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
  20. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
  21. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
  22. 外国の者に対する権利で前号の有価証券の性質を有するもの
- なお、第5号の証券または証書、第13号ならびに第18号の証券または証書のうち第5号の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第6号から第10号までの証券および第13号ならびに第18号の証券または証書のうち第6号から第10号までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といいます。

#### 八 投資対象とする金融商品

委託会社は、信託金を、上記口に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

### （3）【運用体制】

#### イ 運用体制

当ファンドの運用は、次のプロセスに基づいて行われます。

##### （イ）計画（Plan）

国内外のエコノミスト、アナリスト、ファンドマネージャーが、マクロ経済環境、市場環境に関する分析・検討を行います。

これを元に、担当運用グループは投資政策委員会にて、運用方針を決定し月次運用計画を策定します。

##### （ロ）実行（Do）

担当運用グループは、月次運用計画に基づき、ファンドのポートフォリオの構築、およびポートフォリオ管理の一環として日々のリスクモニタリングを行います。

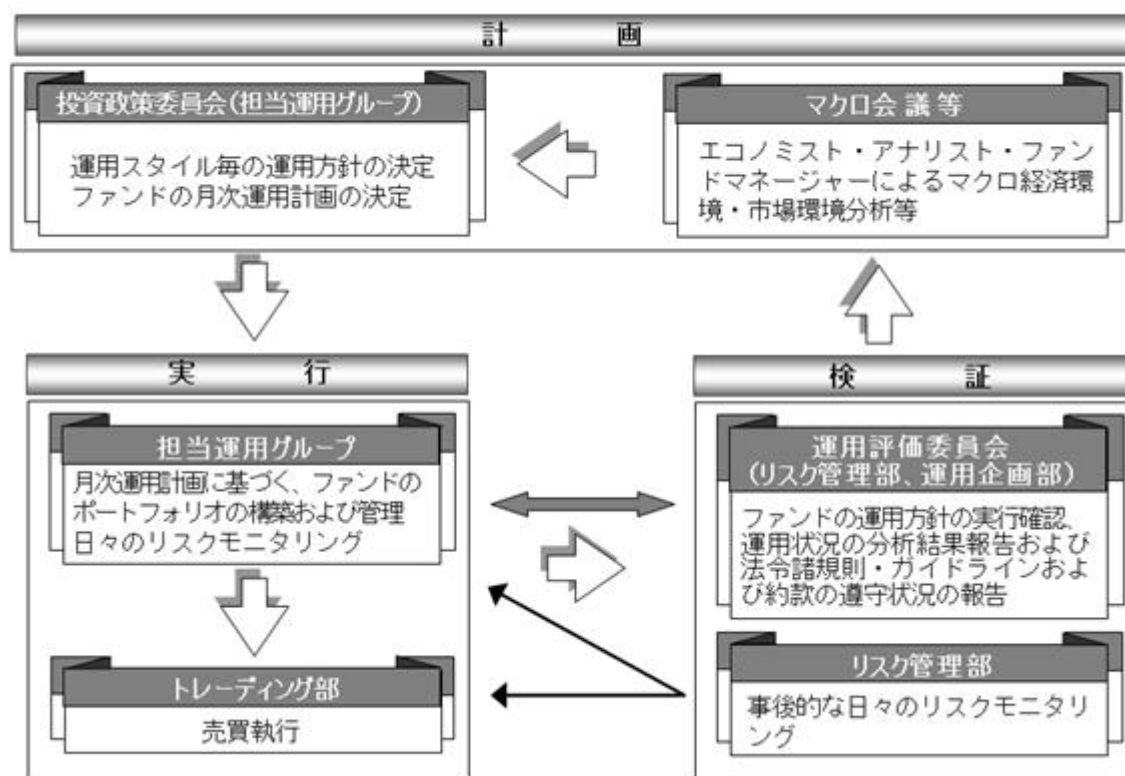
売買執行については、組織的に分離されたトレーディング部が、最良と思われる手法をもって売買を執行します。

##### （ハ）検証（Check）

運用部門から組織的に分離されたリスク管理部が、約款の遵守状況等、ファンドの運営状況を日々モニタリングし、抵触があった場合直ちに担当運用グループへ状況確認がなされます。担当運用グループは対応結果をリスク管理部へ報告します。

運用評価委員会では、ファンドの運用方針の実行状況、運用状況の分析結果を確認します。また、運用の分析、評価結果、運用リスク状況、法令諸規則、運用ガイドライン、約款の遵守状況についても報告されます。

#### 〔ファンドの運用体制〕



リスク管理部は8名程度、運用企画部は8名程度で構成されています。  
 ファンドの運用体制は、委託会社の組織変更等により、変更されることがあります。

#### □ 委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

ファンドの受託会社に対しては、信託財産の日常の管理業務（保管・管理・計算等）を通じて、信託事務の正確性・迅速性の確認を行い、問題がある場合は適宜改善を求めています。

#### （４）【分配方針】

毎年1回（原則として3月6日、休業日の場合は翌営業日となります。）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。

- イ 分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- ロ 分配金額は、委託会社が基準価額の水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等や委託会社の判断によっては、分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ハ 収益の分配に充てず信託財産内に留保した利益については、前記「（１）投資方針」に基づいて運用を行います。

#### （５）【投資制限】

ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

- イ 株式への実質投資割合 は、各ファンドにつき、以下の通りとします。

年金プラン30	信託財産の純資産総額の35%以下
---------	------------------

年金プラン50	信託財産の純資産総額の55%以下
年金プラン70	信託財産の純資産総額の75%以下

実質投資割合とは、当ファンドが保有するある種類の資産の評価額が当ファンドの純資産総額に占める比率（「組入比率」といいます。）と、当該同一種類の資産のマザーファンドにおける組入比率に当該マザーファンド受益証券の当ファンドにおける組入比率を乗じて得た率を合計したものをいいます（以下同じ。）。

□ 外貨建資産への実質投資割合は、各ファンドにつき、以下の通りとします。

年金プラン30	信託財産の純資産総額の30%以下
年金プラン50	信託財産の純資産総額の40%以下
年金プラン70	信託財産の純資産総額の50%以下

八 同一銘柄の株式への実質投資割合は、各ファンドにつき、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

ファンドの信託約款に基づくその他の投資制限

イ 投資する株式等の範囲

- (イ) 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、取引所に上場している株式の発行会社の発行するもの、および取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。
- (ロ) 上記(イ)にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録することが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図できるものとします。

□ 信用取引の指図範囲

- (イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
- (ロ) 信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該売付けにかかる建玉のうち信託財産に属するとみなした額（信託財産に属するマザーファンドの時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該売付けにかかる建玉の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額が、信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (ハ) 信託財産の一部解約等の事由により、信用取引の売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。

八 先物取引等の運用指図、目的、範囲

- (イ) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、および信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。）ならびに外国の市場におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。
- (ロ) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の市場における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。

- (ハ) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の市場におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

## ニ スワップ取引の運用指図、目的、範囲

- (イ) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取り金利または異なった受取り金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行うことの指図をすることができます。
- (ロ) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (ハ) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- (ニ) 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

## ホ 金利先渡取引および為替先渡取引の運用指図、目的、範囲

- (イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (ロ) 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (ハ) 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- (ニ) 委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり、担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- (ホ) 「金利先渡取引」とは、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日(以下「決済日」といいます。)における決済日から一定の期間を経過した日(以下「満期日」といいます。)までの期間にかかる国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率(以下「指標利率」といいます。)の数値を取り決め、その取決めにかかる数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額および当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。
- (ヘ) 「為替先渡取引」とは、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間にかかる為替スワップ取引(同一の相手方との間で直物外国為替取引および当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。以下同じ。)のスワップ幅(当該直物外国為替取引にかかる外国為替相場と当該先物外国為替取引にかかる外国為替相場との差を示す数値をいいます。以下同じ。)を取り決め、その取決めにかかるスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取決めにかかるスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金にかかる決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

## へ 有価証券の貸付けの指図および範囲

- (イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を、次の各号の範囲内で貸し付けることの指図をすることができます。
1. 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
  2. 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- (ロ) 上記(イ)の各号に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (ハ) 委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

## ト 公社債の借入れの指図および範囲

- (イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図をするものとします。
- (ロ) 公社債の借入れの指図は、信託財産の純資産総額の範囲内で行うものとします。
- (ハ) 信託財産の一部解約等の事由により、借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借り入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (ニ) 公社債の借入れにかかる品貸料は、信託財産中から支弁します。

## チ 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

## リ 外国為替予約の指図および範囲

- (イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、ならびに信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (ロ) 外国為替予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- (ハ) 上記(ロ)の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

## ヌ 資金の借入れ

- (イ) 委託会社は、信託財産の効率的な運用および運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (ロ) 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。
- (ハ) 収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- (ニ) 借入金の利息は、信託財産中より支弁します。



## 法令に基づく投資制限

### イ 同一法人の発行する株式への投資制限（投資信託及び投資法人に関する法律第9条）

委託会社は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、信託財産として有する当該株式にかかる議決権の総数（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株式についての議決権を除き、会社法第879条第3項の規定により議決権を有するものとみなされる株式についての議決権を含みます。）が、当該株式にかかる議決権の総数に100分の50を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、信託財産をもって当該株式を取得することを受託会社に指図することが禁じられています。

### ロ デリバティブ取引にかかる投資制限（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）

委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを受託会社に指図しないものとします。

（参考情報：マザーファンドの投資方針等）

（国内株式マザーファンド（B号））

#### （1）投資方針等

##### イ 基本方針

わが国の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

##### ロ 投資態度

（イ）主としてわが国の株式に投資を行い、中長期的にT O P I X（東証株価指数）を上回る投資成果を目指して運用を行います。

（ロ）株式への投資にあたっては、以下の方針に基づいて運用を行います。

- a．原則として80銘柄以上の株式に分散投資を行います。
- b．株価は一時的・部分的にはファンダメンタルズから乖離することがあり、この価格形成の非効率性が超過収益の源泉であるとの観念に立ち、トップダウン、ボトムアップ両面からのアプローチに基づく徹底したリサーチをベースに、市場にまだ十分織り込まれていない投資材料を的確に捉えて、意図したリスクを取ることで、市場を上回る収益を追求します。
- c．業種配分は、主として中長期的な産業成長力に着目した調査・分析に基づいて決定します。各業種の評価にあたっては、市場の成長性、国際競争力、技術革新等に注目します。
- d．個別銘柄の選択は、委託会社のアナリストによるグローバルかつ中長期的な視点での定量・定性双方の面からの徹底したリサーチに基づいて行います。

#### （2）投資対象

##### イ 投資対象とする資産の種類

前記「2 投資方針（2）投資対象 イ 投資対象とする資産の種類」において記載したベビーファンドが投資対象とする資産の種類に同じです。

##### ロ 投資対象とする有価証券

前記「2 投資方針（2）投資対象 ロ 投資対象とする有価証券」において記載したベビーファンドが投資対象とする有価証券の各号のうち、主として第5号、第6号、第8号、第11号、第14号、第19号および第20号の有価証券（本邦通貨表示のものに限ります。）ならびに短期社債等に投資します。

#### 八 投資対象とする金融商品



前記「2 投資方針（2）投資対象 八 投資対象とする金融商品」において記載したベビーファンドが投資対象とする金融商品の各号のうち、主として第1号から第4号の金融商品に投資します。

### （3）投資制限

イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

（イ）株式への投資割合には制限を設けません。

（ロ）外貨建資産への投資は行いません。

（ハ）同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の15%以下とします。

ロ 法令に基づく投資制限

ベビーファンドにつき上述した法令に基づく制限は、当マザーファンドについても課されます。

### （国内債券マザーファンド（B号））

#### （1）投資方針等

イ 基本方針

わが国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

ロ 投資態度

（イ）主としてわが国の公社債に投資し、中長期的にベンチマークであるNOMURA - BPI（総合）インデックスを上回る投資成果を目指して運用を行います。

（ロ）運用にあたっては、リスクを一定以下に抑えて収益の安定性を確保しつつ、定量的相対価値分析を駆使し、残存・セクター・銘柄間の割高割安を判断するだけでなく、ポートフォリオのデュレーションをベンチマーク対比で乖離させることにより、ベンチマークを上回る収益の獲得を目指します。

#### （2）投資対象

イ 投資対象とする資産の種類

前記「2 投資方針（2）投資対象 イ 投資対象とする資産の種類」において記載したベビーファンドが投資対象とする資産の種類に同じです。

ロ 投資対象とする有価証券

前記「2 投資方針（2）投資対象 ロ 投資対象とする有価証券」において記載したベビーファンドが投資対象とする有価証券の各号のうち、主として第6号から第11号まで、第13号（株券、新株引受権証書、新株引受権証券、新株予約権証券の性質を有しないものに限ります。）から第16号まで、第19号から第21号の有価証券（本邦通貨表示のものに限ります。）に投資します。

ハ 投資対象とする金融商品

前記「2 投資方針（2）投資対象 八 投資対象とする金融商品」において記載したベビーファンドが投資対象とする金融商品に同じです。

#### （3）投資制限

イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

（イ）外貨建資産への投資は行いません。

（ロ）国債、地方債および特別の法律により法人の発行する債券以外の債券を取得する場合は、主要格付機関のいずれかよりBBB格相当以上の格付を得ていることを条件とします。また、その場合、同一の発行体が発行した債券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

(ハ) 上記(ロ)の債券について、いずれの格付機関の格付けもB B B格相当を下回るようになった場合には、委託会社は、同一の発行体が発行した債券への投資割合およびB B B格相当未満の債券合計への投資割合がそれぞれ信託財産の純資産総額の5%以下および10%以下となるよう、当該債券の売却等の指図を行うものとします。

ロ 法令に基づく投資制限

ベビーファンドにつき上述した法令に基づく制限は、当マザーファンドについても課されません。

(外国株式マザーファンド(B号))

(1) 投資方針等

イ 基本方針

日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

ロ 投資態度

(イ) 主として日本を除く世界各国の株式に投資し、中長期的にMSCIコクサイ・インデックス(円ベース)を上回る投資成果を目指して運用を行います。

(ロ) 委託会社のエコノミスト、アナリストによる綿密かつ広範囲のリサーチにより、トップダウンおよびボトムアップ双方の視点から株価に十分織り込まれていない投資材料を見極め、リスクを取ることで超過収益の獲得を目指します。

(ハ) 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないものとします。

(2) 投資対象

イ 投資対象とする資産の種類

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 イ 投資対象とする資産の種類」において記載したベビーファンドが投資対象とする資産の種類に同じです。

ロ 投資対象とする有価証券

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 ロ 投資対象とする有価証券」において記載したベビーファンドが投資対象とする有価証券の各号のうち、主として第5号、第6号、第8号、第9号、第11号から第14号まで、第15号(投資法人債券を除きます。)、第16号から第22号の有価証券に投資します。

ハ 投資対象とする金融商品

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 ハ 投資対象とする金融商品」において記載したベビーファンドが投資対象とする金融商品に同じです。

(3) 投資制限

イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

(イ) 株式への投資割合には制限を設けません。

(ロ) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

(ハ) 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

ロ 法令に基づく投資制限

ベビーファンドにつき上述した法令に基づく制限は、当マザーファンドについても課されません。

(外国債券マザーファンド(B号))

(1) 投資方針等

イ 基本方針

日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ること

を目標に運用を行います。

#### ロ 投資態度

- (イ) 主として世界主要先進国の格付けの高い公社債（原則として欧米の主要格付機関からA格相当以上の格付けを取得しているもの）に投資し、中長期的にベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を上回る投資成果を目指して運用を行います。
- (ロ) ベンチマークとの連動性を維持しつつ、マクロ分析および定量分析をベースにベンチマークを上回る収益の獲得を目指します。
- (ハ) 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないものとします。

### (2) 投資対象

#### イ 投資対象とする資産の種類

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 イ 投資対象とする資産の種類」において記載したベビーファンドが投資対象とする資産の種類に同じです。

#### ロ 投資対象とする有価証券

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 ロ 投資対象とする有価証券」において記載したベビーファンドが投資対象とする有価証券の各号のうち、主として第6号から第11号まで、第13号（株券、新株引受権証書、新株引受権証券、新株予約権証券の性質を有しないものに限ります。）、第14号、第15号（投資法人債券を除きます。）、第16号、および第19号から第22号までの有価証券に投資します。

#### ハ 投資対象とする金融商品

前記「2 投資方針 (2) 投資対象 ハ 投資対象とする金融商品」において記載したベビーファンドが投資対象とする金融商品に同じです。

### (3) 投資制限

#### イ ファンドの信託約款に基づく主要な投資制限

- (イ) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- (ロ) 国債以外の債券を取得する場合は、欧米の主要格付機関のいずれかよりA格相当以上の格付けを得ていることを条件とします。また、その場合、同一の発行体が発行した債券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (ハ) 上記(ロ)の債券について、いずれの格付機関による格付けもA格相当を下回ることとなった場合には、委託会社は、同一の発行体が発行した債券への投資割合およびA格相当未満の格付けの債券全体への投資割合がそれぞれ信託財産の純資産総額の5%以下および10%以下となるよう、当該債券の売却等の指図を行うものとします。

#### ロ 法令に基づく投資制限

ベビーファンドにつき上述した法令に基づく制限は、当マザーファンドについても課されます。

## 3 【投資リスク】

#### イ ファンドのもつリスクの特性

当ファンドは、主に内外の株式や債券を投資対象としています（マザーファンドを通じて間接的に投資する場合を含みます。）。当ファンドの基準価額は、組み入れた株式や債券の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。また、当ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険、貯金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関は、投資者保護基金には加入しておりません。

当ファンドが有するリスク等(当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドへの投資を通じて間接的に受ける実質的なリスク等を含みます。)のうち主要なものは、以下の通りです。

(イ) 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

(ロ) 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落(金利が上昇)した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

(ハ) 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

(ニ) 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。有価証券等の格付けが低い場合は、格付けの高い場合に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。

(ホ) カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

(ヘ) 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

(ト) 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(チ) ファミリーファンド方式にかかる留意点

当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売

買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

#### ロ 投資リスクの管理体制

リスク管理の実効性を高め、また、コンプライアンスの徹底を図るために、運用部門から独立した組織（リスク管理部および法務コンプライアンス部）を設置し、ファンドの投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる確認等を行っています。リスク管理部では、主に投資信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングを行います。また、法務コンプライアンス部では、主に法令・諸規則等の遵守状況についての確認等を行います。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価委員会、リスク管理委員会およびコンプライアンス委員会への報告が義務づけられています。

## 4 【手数料等及び税金】

### (1) 【申込手数料】

無手数料です。

ただし、1口につき取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、各ファンドについてそれぞれ以下の率を乗じて得た信託財産留保額を申込金額からご負担いただきます。

年金プラン30：0.085%

年金プラン50：0.105%

年金プラン70：0.125%

### (2) 【換金（解約）手数料】

解約手数料はありません。

ただし、解約の際には、1口につき解約請求受付日の翌営業日の基準価額から、各ファンドについて、それぞれ上記（1）の率を乗じて得た信託財産留保額が差し引かれます。

### (3) 【信託報酬等】

純資産総額に以下の率を乗じて得た金額が信託報酬として計算され、信託財産の費用として計上されます。

信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と各計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支弁するものとします。

各ファンドの信託報酬率および実質的配分は以下の通りです。

	信託報酬率	信託報酬率の配分		
		委託会社	販売会社	受託会社
年金プラン30	年0.945% (0.90%)	年0.4515% (0.43%)	年0.4095% (0.39%)	年0.084% (0.08%)
年金プラン50	年1.155% (1.10%)	年0.5565% (0.53%)	年0.5145% (0.49%)	年0.084% (0.08%)
年金プラン70	年1.365% (1.30%)	年0.6615% (0.63%)	年0.6195% (0.59%)	年0.084% (0.08%)

( )内は税抜き。

### (4) 【その他の手数料等】

イ 信託財産の財務諸表の監査に要する費用は、原則として、「年金プラン30」は年279,300円（税抜き266,000円）を上限として、「年金プラン50」は年382,200円（税抜き364,000円）を上限として、「年金プラン70」は年447,300円（税抜き426,000円）を上限として、日割りした金額が信託財産の費用として計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と各計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支弁するものとします。監査費用は、将来、監査法人との契約等により変更となる場合があります。

ロ 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金

の利息は、信託財産中から支弁します。

- 八 有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用、および外国における資産の保管等に要する費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）は、信託財産中から支弁するものとします。

上記ロ、八にかかる費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、実務上、その発生もしくは請求のつど、信託財産の費用として認識され、その時点の信託財産で負担することとなります。したがって、あらかじめ、その金額、上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

上記（１）～（４）にかかる手数料等の合計額、その上限額、計算方法等は、手数料等に保有期間に応じて異なるものが含まれていたり、発生時・請求時に初めて具体的金額を認識するものがあつたりすることから、あらかじめ具体的に記載することはできません。

#### （５）【課税上の取扱い】

##### イ 個別元本について

- （イ）追加型株式投資信託について、受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。
- （ロ）受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合については、各販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても同一受益者の顧客口座が複数存在する場合や、「分配金受取りコース」と「分配金自動再投資コース」を併用するファンドの場合には、別々に個別元本の算出が行われることがあります。
- （ハ）受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記の（収益分配金の課税について）を参照。）

##### ロ 一部解約時および償還時の課税について

個人の受益者については、一部解約時および償還時の譲渡益が課税対象となり、法人の受益者については、一部解約時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。

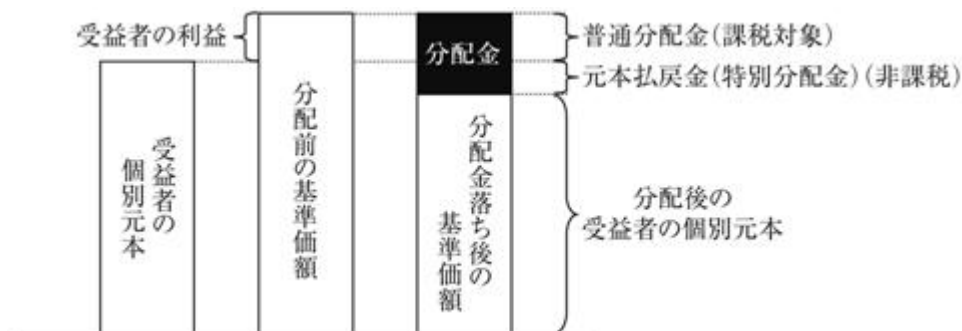
##### ハ 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。



収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。



上記の図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

## 二 個人、法人別の課税の取扱いについて

### (イ) 個人の受益者に対する課税

#### ・収益分配時

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、以下の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。確定申告による総合課税または申告分離課税の選択も可能です。

時期	税率
平成25年12月31日まで	10.147%（所得税7.147%および地方税3%）
平成26年1月1日以降	20.315%（所得税15.315%および地方税5%）

#### ・一部解約時および償還時

一部解約時および償還時の譲渡益については、以下の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）の利用も可能です。

なお、一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、収益分配金、上場株式等にかかる譲渡益との通算が可能です。

時期	税率
平成25年12月31日まで	10.147%（所得税7.147%および地方税3%）
平成26年1月1日以降	20.315%（所得税15.315%および地方税5%）

### (ロ) 法人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、以下の税率で源泉徴収されます。

時期	税率
平成25年12月31日まで	7.147%（所得税のみ）
平成26年1月1日以降	15.315%（所得税のみ）

当ファンドは、課税上は株式投資信託として取り扱われます。

当ファンドは、受取配当にかかる益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

当ファンドの外貨建資産割合および非株式割合

「年金プラン30」

外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。

非株式割合に関する制限はありません（約款規定なし）。

「年金プラン50」

外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の40%以下とします。

非株式割合に関する制限はありません（約款規定なし）。

「年金プラン70」

外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。

非株式割合に関する制限はありません（約款規定なし）。

上記にかかわらず、確定拠出年金制度における受益者が支払いを受ける収益分配金、一部解約金、償還金はいずれも課税されません。

上記「（5）課税上の取扱い」ほか税制に関する本書の記載は、平成25年4月末現在の情報をもとに作成しています。税法の改正等により、変更されることがあります。

課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家に確認されることをお勧めいたします。

## 5【運用状況】

### （1）【投資状況】

#### a．三井住友・年金プラン30

平成25年4月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国内株式マザーファンド（B号）受益証券	日本	292,508,166	20.53
国内債券マザーファンド（B号）受益証券	日本	841,832,170	59.08
外国株式マザーファンド（B号）受益証券	日本	149,503,695	10.49
外国債券マザーファンド（B号）受益証券	日本	141,327,104	9.92
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		202,227	0.01
合計（純資産総額）		1,424,968,908	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。以下同じ。

#### b．三井住友・年金プラン50

平成25年4月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国内株式マザーファンド（B号）受益証券	日本	1,031,009,193	33.54
国内債券マザーファンド（B号）受益証券	日本	1,201,270,954	39.08
外国株式マザーファンド（B号）受益証券	日本	537,863,995	17.50
外国債券マザーファンド（B号）受益証券	日本	305,067,475	9.92
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		1,183,656	0.04
合計（純資産総額）		3,074,027,961	100.00

#### c．三井住友・年金プラン70

平成25年4月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国内株式マザーファンド（B号）受益証券	日本	2,740,780,270	47.58
国内債券マザーファンド（B号）受益証券	日本	1,096,299,400	19.03



外国株式マザーファンド（B号）受益証券	日本	1,352,940,255	23.49
外国債券マザーファンド（B号）受益証券	日本	571,515,194	9.92
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		1,251,521	0.02
合計（純資産総額）		5,760,283,598	100.00

## （２）【投資資産】

### 【投資有価証券の主要銘柄】

#### イ 主要投資銘柄

##### a . 三井住友・年金プラン30

平成25年4月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	国内債券マザーファンド (B号)	673,034,994	1.2449	837,919,651	1.2508	841,832,170	59.08
日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド (B号)	327,850,444	0.7602	249,231,908	0.8922	292,508,166	20.53
日本	親投資信託 受益証券	外国株式マザーファンド (B号)	126,099,608	1.1051	139,352,677	1.1856	149,503,695	10.49
日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド (B号)	61,088,007	2.1656	132,296,701	2.3135	141,327,104	9.92

以上が、当ファンドが保有する有価証券のすべてです。

##### b . 三井住友・年金プラン50

平成25年4月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	国内債券マザーファンド (B号)	960,402,106	1.2454	1,196,135,527	1.2508	1,201,270,954	39.08
日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド (B号)	1,155,580,804	0.7602	878,472,528	0.8922	1,031,009,193	33.54
日本	親投資信託 受益証券	外国株式マザーファンド (B号)	453,663,964	1.1092	503,204,069	1.1856	537,863,995	17.50
日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド (B号)	131,864,048	2.1755	286,876,302	2.3135	305,067,475	9.92

以上が、当ファンドが保有する有価証券のすべてです。

##### c . 三井住友・年金プラン70

平成25年4月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド (B号)	3,071,934,847	0.7602	2,335,284,871	0.8922	2,740,780,270	47.58
日本	親投資信託 受益証券	外国株式マザーファンド (B号)	1,141,143,940	1.1053	1,261,306,397	1.1856	1,352,940,255	23.49
日本	親投資信託 受益証券	国内債券マザーファンド (B号)	876,478,574	1.2454	1,091,591,905	1.2508	1,096,299,400	19.03

日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド (B号)	247,034,880	2.1729	536,803,557	2.3135	571,515,194	9.92
----	---------------	---------------------	-------------	--------	-------------	--------	-------------	------

以上が、当ファンドが保有する有価証券のすべてです。

□ 種類別の投資比率

a . 三井住友・年金プラン30

平成25年4月30日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.01
合計	100.01

b . 三井住友・年金プラン50

平成25年4月30日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.04
合計	100.04

c . 三井住友・年金プラン70

平成25年4月30日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.02
合計	100.02

【投資不動産物件】

a . 三井住友・年金プラン30

該当事項はありません。

b . 三井住友・年金プラン50

該当事項はありません。

c . 三井住友・年金プラン70

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

a . 三井住友・年金プラン30

該当事項はありません。

b . 三井住友・年金プラン50

該当事項はありません。

c . 三井住友・年金プラン70

該当事項はありません。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

## a. 三井住友・年金プラン30

年月日	純資産総額 (円)	1万口当たりの 純資産額(円)
第4期(平成16年 3月 8日) (分配落)	2,586,232,100	9,989
(分配付)	2,586,232,100	9,989
第5期(平成17年 3月 7日) (分配落)	2,760,226,586	10,167
(分配付)	2,760,226,586	10,167
第6期(平成18年 3月 6日) (分配落)	3,323,571,650	11,297
(分配付)	3,323,571,650	11,297
第7期(平成19年 3月 6日) (分配落)	3,650,770,785	11,667
(分配付)	3,650,770,785	11,667
第8期(平成20年 3月 6日) (分配落)	3,596,889,689	11,066
(分配付)	3,596,889,689	11,066
第9期(平成21年 3月 6日) (分配落)	3,019,950,287	8,908
(分配付)	3,019,950,287	8,908
第10期(平成22年 3月 8日) (分配落)	3,516,417,534	9,986
(分配付)	3,516,417,534	9,986
第11期(平成23年 3月 7日) (分配落)	2,735,219,894	10,278
(分配付)	2,735,219,894	10,278
第12期(平成24年 3月 6日) (分配落)	1,859,980,494	10,200
(分配付)	1,859,980,494	10,200
第13期(平成25年 3月 6日) (分配落)	1,515,025,944	11,218
(分配付)	1,515,025,944	11,218
平成24年 4月末日	1,321,431,508	10,218
5月末日	1,284,682,647	9,842
6月末日	1,306,672,764	9,996
7月末日	1,318,034,537	9,992
8月末日	1,331,550,967	9,993
9月末日	1,337,811,378	10,058
10月末日	1,357,331,841	10,115
11月末日	1,384,756,719	10,301
12月末日	1,421,310,885	10,590
平成25年 1月末日	1,478,877,756	10,972
2月末日	1,497,191,026	11,119
3月末日	1,537,977,633	11,396
4月末日	1,424,968,908	11,784

## b. 三井住友・年金プラン50

年月日	純資産総額 (円)	1万口当たりの 純資産額(円)
第4期(平成16年 3月 8日) (分配落)	4,687,387,597	9,261
(分配付)	4,687,387,597	9,261
第5期(平成17年 3月 7日) (分配落)	4,980,506,540	9,487
(分配付)	4,980,506,540	9,487
第6期(平成18年 3月 6日) (分配落)	4,542,833,356	11,235
(分配付)	4,542,833,356	11,235
第7期(平成19年 3月 6日) (分配落)	5,006,508,030	11,693
(分配付)	5,006,508,030	11,693
第8期(平成20年 3月 6日) (分配落)	4,720,643,561	10,600
(分配付)	4,720,643,561	10,600
第9期(平成21年 3月 6日) (分配落)	3,484,638,524	7,537
(分配付)	3,484,638,524	7,537
第10期(平成22年 3月 8日) (分配落)	4,359,788,479	9,030
(分配付)	4,359,788,479	9,030
第11期(平成23年 3月 7日) (分配落)	4,684,707,484	9,400
(分配付)	4,684,707,484	9,400
第12期(平成24年 3月 6日) (分配落)	4,560,278,885	9,070
(分配付)	4,560,278,885	9,070
第13期(平成25年 3月 6日) (分配落)	3,819,896,918	10,345
(分配付)	3,819,896,918	10,345
平成24年 4月末日	4,561,776,603	9,059
5月末日	4,302,095,540	8,523
6月末日	4,413,141,449	8,739
7月末日	4,413,408,846	8,719
8月末日	4,430,346,929	8,719
9月末日	4,476,722,973	8,799
10月末日	4,523,319,315	8,870
11月末日	4,643,426,179	9,101
12月末日	4,849,086,797	9,508
平成25年 1月末日	5,130,023,254	10,037
2月末日	3,764,526,213	10,207
3月末日	3,898,305,056	10,553
4月末日	3,074,027,961	11,106

## c. 三井住友・年金プラン70

年月日	純資産総額 (円)	1万口当たりの 純資産額(円)
第4期(平成16年 3月 8日) (分配落)	8,572,300,108	8,523
(分配付)	8,572,300,108	8,523

第5期(平成17年 3月 7日)	(分配落)	8,946,248,407	8,791
	(分配付)	8,946,248,407	8,791
第6期(平成18年 3月 6日)	(分配落)	5,405,185,780	11,106
	(分配付)	5,405,185,780	11,106
第7期(平成19年 3月 6日)	(分配落)	5,823,810,651	11,614
	(分配付)	5,823,810,651	11,614
第8期(平成20年 3月 6日)	(分配落)	5,156,831,391	10,007
	(分配付)	5,156,831,391	10,007
第9期(平成21年 3月 6日)	(分配落)	3,291,708,233	6,234
	(分配付)	3,291,708,233	6,234
第10期(平成22年 3月 8日)	(分配落)	4,340,377,485	7,967
	(分配付)	4,340,377,485	7,967
第11期(平成23年 3月 7日)	(分配落)	4,674,441,584	8,374
	(分配付)	4,674,441,584	8,374
第12期(平成24年 3月 6日)	(分配落)	4,392,083,689	7,829
	(分配付)	4,392,083,689	7,829
第13期(平成25年 3月 6日)	(分配落)	5,214,552,207	9,250
	(分配付)	5,214,552,207	9,250
平成24年 4月末日		4,374,811,298	7,802
5月末日		4,018,194,362	7,162
6月末日		4,166,470,689	7,420
7月末日		4,152,995,663	7,383
8月末日		4,159,162,107	7,378
9月末日		4,206,311,667	7,464
10月末日		4,255,206,633	7,543
11月末日		4,400,314,020	7,797
12月末日		4,661,481,996	8,278
平成25年 1月末日		5,017,225,495	8,896
2月末日		5,117,667,931	9,085
3月末日		5,348,162,484	9,479
4月末日		5,760,283,598	10,216

## 【分配の推移】

## a . 三井住友・年金プラン30

計算期間	1万口当たり分配金(円)
第4期(平成15年 3月 7日～平成16年 3月 8日)	0
第5期(平成16年 3月 9日～平成17年 3月 7日)	0
第6期(平成17年 3月 8日～平成18年 3月 6日)	0
第7期(平成18年 3月 7日～平成19年 3月 6日)	0
第8期(平成19年 3月 7日～平成20年 3月 6日)	0

第9期（平成20年 3月 7日～平成21年 3月 6日）	0
第10期（平成21年 3月 7日～平成22年 3月 8日）	0
第11期（平成22年 3月 9日～平成23年 3月 7日）	0
第12期（平成23年 3月 8日～平成24年 3月 6日）	0
第13期（平成24年 3月 7日～平成25年 3月 6日）	0

## b．三井住友・年金プラン50

計算期間	1万口当たり分配金（円）
第4期（平成15年 3月 7日～平成16年 3月 8日）	0
第5期（平成16年 3月 9日～平成17年 3月 7日）	0
第6期（平成17年 3月 8日～平成18年 3月 6日）	0
第7期（平成18年 3月 7日～平成19年 3月 6日）	0
第8期（平成19年 3月 7日～平成20年 3月 6日）	0
第9期（平成20年 3月 7日～平成21年 3月 6日）	0
第10期（平成21年 3月 7日～平成22年 3月 8日）	0
第11期（平成22年 3月 9日～平成23年 3月 7日）	0
第12期（平成23年 3月 8日～平成24年 3月 6日）	0
第13期（平成24年 3月 7日～平成25年 3月 6日）	0

## c．三井住友・年金プラン70

計算期間	1万口当たり分配金（円）
第4期（平成15年 3月 7日～平成16年 3月 8日）	0
第5期（平成16年 3月 9日～平成17年 3月 7日）	0
第6期（平成17年 3月 8日～平成18年 3月 6日）	0
第7期（平成18年 3月 7日～平成19年 3月 6日）	0
第8期（平成19年 3月 7日～平成20年 3月 6日）	0
第9期（平成20年 3月 7日～平成21年 3月 6日）	0
第10期（平成21年 3月 7日～平成22年 3月 8日）	0
第11期（平成22年 3月 9日～平成23年 3月 7日）	0
第12期（平成23年 3月 8日～平成24年 3月 6日）	0
第13期（平成24年 3月 7日～平成25年 3月 6日）	0

## 【収益率の推移】

## a．三井住友・年金プラン30

計算期間	収益率（％）
第4期	9.3
第5期	1.8
第6期	11.1
第7期	3.3
第8期	5.2

第9期	19.5
第10期	12.1
第11期	2.9
第12期	0.8
第13期	10.0

(注) 収益率とは、計算期間末の分配付基準価額から前期末分配落基準価額を控除した額を前期末分配落基準価額で除したものをいいます。

b . 三井住友・年金プラン50

計算期間	収益率(%)
第4期	16.7
第5期	2.4
第6期	18.4
第7期	4.1
第8期	9.3
第9期	28.9
第10期	19.8
第11期	4.1
第12期	3.5
第13期	14.1

(注) 収益率とは、計算期間末の分配付基準価額から前期末分配落基準価額を控除した額を前期末分配落基準価額で除したものをいいます。

c . 三井住友・年金プラン70

計算期間	収益率(%)
第4期	24.2
第5期	3.1
第6期	26.3
第7期	4.6
第8期	13.8
第9期	37.7
第10期	27.8
第11期	5.1
第12期	6.5
第13期	18.2

(注) 収益率とは、計算期間末の分配付基準価額から前期末分配落基準価額を控除した額を前期末分配落基準価額で除したものをいいます。

(4) 【設定及び解約の実績】

a . 三井住友・年金プラン30

計算期間	設定口数(口)	解約口数(口)
------	---------	---------

第4期	63,136,643	2,501,311,145
第5期	133,035,457	7,431,472
第6期	259,134,936	31,960,713
第7期	234,984,916	47,738,119
第8期	189,368,387	68,165,911
第9期	222,491,121	82,780,273
第10期	183,714,580	52,468,084
第11期	210,591,064	1,070,732,714
第12期	163,374,614	1,001,050,146
第13期	158,135,004	631,074,206

（注）本邦外における設定および解約の実績はありません。

b . 三井住友・年金プラン50

計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第4期	43,372,783	1,139,437
第5期	191,436,647	2,960,927
第6期	330,061,232	1,536,488,346
第7期	281,174,896	43,189,891
第8期	248,766,763	77,086,126
第9期	271,146,772	101,034,974
第10期	270,724,990	65,760,310
第11期	239,451,241	83,934,640
第12期	224,151,094	180,281,710
第13期	209,134,099	1,544,242,649

（注）本邦外における設定および解約の実績はありません。

c . 三井住友・年金プラン70

計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第4期	41,356,268	659,885
第5期	123,401,060	4,146,928
第6期	216,390,249	5,526,126,015
第7期	177,392,132	29,867,538
第8期	186,836,159	48,268,677
第9期	202,613,753	75,211,586
第10期	214,408,798	47,377,314
第11期	199,361,397	64,719,128
第12期	186,225,504	158,448,491
第13期	151,638,301	124,501,690

（注）本邦外における設定および解約の実績はありません。

〔参考情報〕



## 〔国内株式マザーファンド(B号)〕

## (1) 投資状況

平成25年4月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
株式	日本	3,998,423,750	98.38
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		65,738,629	1.62
合計(純資産総額)		4,064,162,379	100.00

## (2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ 主要投資銘柄(上位30銘柄)

平成25年4月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	32,600	4,830.00	157,458,000	5,640.00	183,864,000	4.52
日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	249,900	535.00	133,696,500	663.00	165,683,700	4.08
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	31,400	3,850.00	120,890,000	4,605.00	144,597,000	3.56
日本	株式	三井不動産	不動産業	32,000	2,472.00	79,104,000	3,310.00	105,920,000	2.61
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	488,500	205.00	100,142,500	215.00	105,027,500	2.58
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	26,800	3,545.00	95,006,000	3,875.00	103,850,000	2.56
日本	株式	東日本旅客鉄道	陸運業	11,200	7,413.89	83,035,568	8,220.00	92,064,000	2.27
日本	株式	住友不動産	不動産業	19,000	3,335.00	63,365,000	4,600.00	87,400,000	2.15
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	17,500	4,350.00	76,125,000	4,825.00	84,437,500	2.08
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	12,400	5,170.00	64,108,000	5,670.00	70,308,000	1.73
日本	株式	S M C	機械	3,600	16,740.00	60,264,000	19,510.00	70,236,000	1.73
日本	株式	信越化学工業	化学	10,700	5,650.00	60,455,000	6,560.00	70,192,000	1.73
日本	株式	ブリヂストン	ゴム製品	18,800	2,965.00	55,742,000	3,675.00	69,090,000	1.70
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	22,100	2,734.00	60,421,400	3,090.00	68,289,000	1.68
日本	株式	K D D I	情報・通信業	13,400	3,674.42	49,237,228	4,680.00	62,712,000	1.54
日本	株式	日東電工	化学	9,700	5,530.00	53,641,000	6,400.00	62,080,000	1.53
日本	株式	キヤノン	電気機器	17,700	3,370.00	59,649,000	3,495.00	61,861,500	1.52
日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	16,100	2,956.00	47,591,600	3,740.00	60,214,000	1.48
日本	株式	東レ	繊維製品	87,000	602.83	52,446,210	684.00	59,508,000	1.46
日本	株式	三井住友トラスト・ホールディングス	銀行業	120,000	412.70	49,524,000	489.00	58,680,000	1.44
日本	株式	クボタ	機械	42,000	1,168.00	49,056,000	1,397.00	58,674,000	1.44
日本	株式	三菱商事	卸売業	33,300	1,820.00	60,606,000	1,748.00	58,208,400	1.43
日本	株式	デンソー	輸送用機器	12,900	3,990.00	51,471,000	4,365.00	56,308,500	1.39
日本	株式	ヤマダ電機	小売業	11,660	3,460.00	40,343,600	4,695.00	54,743,700	1.35
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	10,000	4,945.00	49,450,000	5,350.00	53,500,000	1.32

日本	株式	豊田合成	輸送用機器	20,700	2,127.00	44,028,900	2,526.00	52,288,200	1.29
日本	株式	日本たばこ産業	食料品	13,800	3,095.00	42,711,000	3,685.00	50,853,000	1.25
日本	株式	日立製作所	電気機器	80,000	536.00	42,880,000	622.00	49,760,000	1.22
日本	株式	大和ハウス工業	建設業	22,000	1,768.00	38,896,000	2,202.00	48,444,000	1.19
日本	株式	いすゞ自動車	輸送用機器	74,000	564.00	41,736,000	649.00	48,026,000	1.18

## □ 種類別・業種別の投資比率

平成25年4月30日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式（国内）	鉱業	0.97
	建設業	4.68
	食料品	4.03
	繊維製品	1.46
	化学	7.89
	医薬品	4.66
	ゴム製品	1.70
	ガラス・土石製品	0.31
	非鉄金属	1.36
	金属製品	1.00
	機械	6.35
	電気機器	8.99
	輸送用機器	12.04
	精密機器	0.43
	電気・ガス業	0.94
	陸運業	4.15
	倉庫・運輸関連業	0.54
	情報・通信業	6.55
	卸売業	2.41
	小売業	4.07
銀行業	11.66	
証券、商品先物取引業	1.47	
保険業	2.55	
その他金融業	2.20	
不動産業	5.17	
サービス業	0.79	
合計		98.38

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

〔国内債券マザーファンド（B号）〕

（1）投資状況

平成25年4月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国債証券	日本	21,777,380,140	72.85
地方債証券	日本	100,039,000	0.33
特殊債券	日本	1,824,443,960	6.10
社債券	日本	5,566,338,000	18.62
	アメリカ	204,576,000	0.68
	小計	5,770,914,000	19.31
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		420,115,628	1.41
合計（純資産総額）		29,892,892,728	100.00

（2）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

平成25年4月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
日本	国債証券	第261回利付国債（10年）	2,400,000,000	102.26	2,454,240,000	101.90	2,445,792,000	1.800	2014/06/20	8.18
日本	国債証券	第315回利付国債（10年）	2,000,000,000	105.86	2,117,260,000	105.71	2,114,380,000	1.200	2021/06/20	7.07
日本	国債証券	第287回利付国債（10年）	1,700,000,000	107.00	1,819,085,000	106.92	1,817,742,000	1.900	2017/06/20	6.08
日本	国債証券	第325回利付国債（10年）	1,300,000,000	101.66	1,321,658,000	102.04	1,326,637,000	0.800	2022/09/20	4.44
日本	国債証券	第319回利付国債（10年）	1,200,000,000	105.09	1,261,092,000	104.88	1,258,560,000	1.100	2021/12/20	4.21
日本	国債証券	第310回利付国債（10年）	1,200,000,000	104.54	1,254,480,000	104.19	1,250,304,000	1.000	2020/09/20	4.18
日本	国債証券	第312回利付国債（10年）	1,000,000,000	106.00	1,060,000,000	105.65	1,056,530,000	1.200	2020/12/20	3.53
日本	国債証券	第141回利付国債（20年）	800,000,000	101.80	814,464,000	103.74	829,928,000	1.700	2032/12/20	2.78

日本	国債証券	第328回利付国債(10年)	800,000,000	101.09	808,720,000	99.95	799,624,000	0.600	2023/03/20	2.67
日本	国債証券	第20回利付国債(30年)	600,000,000	115.77	694,620,000	117.94	707,664,000	2.500	2035/09/20	2.37
日本	国債証券	第110回利付国債(20年)	600,000,000	111.57	669,420,000	113.75	682,500,000	2.100	2029/03/20	2.28
日本	国債証券	第299回利付国債(10年)	600,000,000	106.68	640,080,000	105.90	635,412,000	1.300	2019/03/20	2.13
日本	国債証券	第92回利付国債(20年)	500,000,000	113.39	566,980,000	115.20	576,015,000	2.100	2026/12/20	1.93
日本	国債証券	第126回利付国債(20年)	500,000,000	108.17	540,855,000	110.07	550,380,000	2.000	2031/03/20	1.84
日本	国債証券	第111回利付国債(20年)	450,000,000	112.77	507,496,500	114.99	517,468,500	2.200	2029/06/20	1.73
日本	国債証券	第30回利付国債(30年)	400,000,000	112.14	448,560,000	114.70	458,804,000	2.300	2039/03/20	1.53
日本	国債証券	第84回利付国債(20年)	400,000,000	112.67	450,712,000	114.36	457,444,000	2.000	2025/12/20	1.53
日本	国債証券	第292回利付国債(10年)	400,000,000	107.98	431,920,000	107.04	428,180,000	1.700	2018/03/20	1.43
日本	国債証券	第104回利付国債(20年)	300,000,000	112.34	337,020,000	114.30	342,927,000	2.100	2028/06/20	1.15
日本	国債証券	第34回利付国債(30年)	300,000,000	109.80	329,415,000	113.09	339,282,000	2.200	2041/03/20	1.13
日本	国債証券	第128回利付国債(20年)	300,000,000	106.42	319,278,000	108.16	324,507,000	1.900	2031/06/20	1.09
日本	特殊債券	第5回中日本高速道路株式会社社債	300,000,000	108.32	324,978,000	107.50	322,521,000	1.860	2018/09/20	1.08
日本	国債証券	第303回利付国債(10年)	300,000,000	107.43	322,290,000	106.75	320,277,000	1.400	2019/09/20	1.07
日本	国債証券	第135回利付国債(20年)	300,000,000	102.50	307,515,000	104.24	312,738,000	1.700	2032/03/20	1.05
日本	国債証券	第47回変動利付国債(15年)	300,000,000	103.45	310,350,000	103.45	310,350,000	0.330	2022/11/20	1.04
日本	国債証券	第327回利付国債(10年)	300,000,000	101.42	304,278,000	101.96	305,883,000	0.800	2022/12/20	1.02
日本	社債券	第77回三菱商事株式会社無担保社債	300,000,000	101.19	303,585,000	100.71	302,154,000	0.560	2016/12/26	1.01
日本	特殊債券	第23回都市再生債券	300,000,000	100.78	302,352,000	100.59	301,782,000	1.280	2013/11/25	1.01

日本	社債券	第18回株式会社ホンダファイナンス無担保社債	300,000,000	100.86	302,583,000	100.46	301,407,000	0.479	2017/03/17	1.01
日本	国債証券	第4回利付国債（40年）	250,000,000	108.66	271,655,000	114.42	286,052,500	2.200	2051/03/20	0.96

## ロ 種類別の投資比率

平成25年4月30日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	72.85
地方債証券	0.33
特殊債券	6.10
社債券	19.31
合計	98.59

### 投資不動産物件

該当事項はありません。

### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

## 〔外国株式マザーファンド（B号）〕

### （1）投資状況

平成25年4月30日現在

資産の種類	国／地域	時価合計 （円）	投資比率 （％）
株式	アメリカ	1,092,425,009	53.54
	イギリス	200,134,572	9.81
	フランス	118,040,418	5.79
	オーストラリア	97,201,279	4.76
	カナダ	87,770,076	4.30
	スイス	73,407,261	3.60
	オランダ	45,119,423	2.21
	ドイツ	41,300,274	2.02
	シンガポール	35,488,602	1.74
	香港	32,153,740	1.58
	スウェーデン	29,010,505	1.42
	スペイン	25,494,258	1.25
	アンティル	18,419,753	0.90
ノルウェー	16,595,684	0.81	

	イタリア	15,258,406	0.75
	リベリア	15,088,735	0.74
	デンマーク	10,485,315	0.51
	オーストリア	10,192,813	0.50
	ケイマン諸島	9,907,178	0.49
	ジャージー	8,781,268	0.43
	小計	1,982,274,569	97.15
投資証券	シンガポール	157,886	0.01
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		57,924,568	2.84
合計（純資産総額）		2,040,357,023	100.00

## (2) 投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

平成25年4月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
アメリカ	株式	CHEVRON CORPORATION	エネルギー	3,898	11,555.53	45,043,491	11,879.65	46,306,892	2.27
アメリカ	株式	GENERAL ELECTRIC CO	資本財	19,397	2,306.99	44,748,785	2,180.67	42,298,618	2.07
アメリカ	株式	GOOGLE INC-CL A	ソフトウェア・サービス	509	81,701.50	41,586,068	80,202.35	40,822,998	2.00
オランダ	株式	UNILEVER NV-CVA	食品・飲料・タバコ	9,670	4,017.16	38,845,948	4,160.72	40,234,189	1.97
アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	13,234	2,757.42	36,491,791	2,979.70	39,433,423	1.93
アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	857	42,221.14	36,183,521	42,117.35	36,094,569	1.77
アメリカ	株式	COCA-COLA CO/THE	食品・飲料・タバコ	7,939	3,798.31	30,154,837	4,136.14	32,836,821	1.61
アメリカ	株式	FORD MOTOR COMPANY	自動車・自動車部品	24,112	1,263.16	30,457,506	1,337.58	32,251,902	1.58
アメリカ	株式	NEXTERA ENERGY INC	公益事業	3,773	7,357.70	27,760,635	7,956.97	30,021,682	1.47
イギリス	株式	VODAFONE GROUP PLC	電気通信サービス	100,058	256.32	25,647,096	298.56	29,873,555	1.46
アメリカ	株式	QUALCOMM INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4,739	6,618.41	31,364,658	6,032.85	28,589,681	1.40
フランス	株式	SANOFI	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2,594	9,627.59	24,973,993	10,696.62	27,747,034	1.36
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	8,501	2,777.01	23,607,372	3,193.17	27,145,148	1.33
アメリカ	株式	VIACOM INC-CLASS B	メディア	4,115	6,005.43	24,712,359	6,232.60	25,647,181	1.26

アメリカ	株式	AT&T INC	電気通信サービス	7,003	3,609.33	25,276,146	3,652.41	25,577,869	1.25
アメリカ	株式	WELLS FARGO & COMPANY	銀行	6,410	3,520.22	22,564,635	3,709.20	23,776,033	1.17
アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	3,079	7,549.63	23,245,316	7,606.42	23,420,184	1.15
カナダ	株式	BANK OF NOVA SCOTIA	銀行	4,103	5,910.60	24,251,224	5,564.06	22,829,354	1.12
イギリス	株式	RIO TINTO PLC	素材	5,008	5,170.43	25,893,514	4,507.63	22,574,223	1.11
アメリカ	株式	LOWE'S COMPANIES INC	小売	5,808	3,763.06	21,855,885	3,745.43	21,753,515	1.07
スイス	株式	ARYZTA AG	食品・飲料・タバコ	3,566	5,693.11	20,301,648	6,085.95	21,702,533	1.06
アメリカ	株式	BROWN-FORMAN CORPORATION	食品・飲料・タバコ	3,139	6,769.20	21,248,548	6,889.65	21,626,615	1.06
アメリカ	株式	DISCOVER FINANCIAL SERVICES	各種金融	4,994	4,002.96	19,990,830	4,306.52	21,506,768	1.05
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	各種金融	4,477	4,827.45	21,612,520	4,790.24	21,445,933	1.05
イギリス	株式	ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	エネルギー	6,244	3,424.70	21,383,880	3,401.95	21,241,826	1.04
アメリカ	株式	MYLAN INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7,429	2,917.03	21,670,666	2,840.65	21,103,257	1.03
フランス	株式	BNP PARIBAS	銀行	3,823	5,448.93	20,831,266	5,428.42	20,752,861	1.02
アメリカ	株式	MCDONALD'S CORPORATION	消費者サービス	2,065	9,414.02	19,439,969	10,005.46	20,661,286	1.01
アメリカ	株式	VISA INC	ソフトウェア・サービス	1,245	15,779.80	19,645,860	16,440.76	20,468,756	1.00
アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	3,400	5,260.26	17,884,892	5,876.17	19,979,009	0.98

## □ 種類別・業種別の投資比率

平成25年4月30日現在

種類	業種	投資比率(%)
株式(外国)	エネルギー	10.02
	素材	5.08
	資本財	9.46
	商業・専門サービス	0.70
	運輸	0.27
	自動車・自動車部品	2.33
	耐久消費財・アパレル	1.29
	消費者サービス	2.12
	メディア	1.69
	小売	3.16
	食品・生活必需品小売り	1.25
	食品・飲料・タバコ	8.81
	家庭用品・パーソナル用品	1.63
ヘルスケア機器・サービス	1.49	

	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.09
	銀行	10.73
	各種金融	5.29
	保険	3.59
	不動産	1.55
	ソフトウェア・サービス	5.78
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.98
	電気通信サービス	3.97
	公益事業	3.84
投資証券	-	0.01
	合計	97.16

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

平成25年4月30日現在

種類	取引所等	資産の名称	買建 / 売建	数量	簿価 (円)	時価 (円)	投資 比率 (%)
為替予約 取引	市場外取引	米ドル	売建	231,090.05	22,619,140	22,626,026	1.11
為替予約 取引	市場外取引	ユーロ	売建	29,075.94	3,727,201	3,726,953	0.18
為替予約 取引	市場外取引	英ポンド	売建	19,605.02	2,972,928	2,973,297	0.15
為替予約 取引	市場外取引	カナダドル	売建	15,534.00	1,502,324	1,503,535	0.07
為替予約 取引	市場外取引	スイスフラン	売建	10,521.34	1,098,608	1,099,269	0.05
			売建合計	305,826.35	31,920,201	31,929,080	1.56

(注) わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。

## 〔外国債券マザーファンド（B号）〕

## (1) 投資状況

平成25年4月30日現在

資産の種類	国 / 地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国債証券	アメリカ	624,143,448	35.10



	ベルギー	333,737,047	18.77
	ドイツ	171,328,526	9.64
	フランス	145,239,564	8.17
	イギリス	131,397,026	7.39
	オランダ	58,436,044	3.29
	カナダ	26,373,633	1.48
	メキシコ	17,230,361	0.97
	デンマーク	16,670,628	0.94
	ポーランド	14,363,334	0.81
	シンガポール	14,325,361	0.81
	スウェーデン	10,510,379	0.59
	ノルウェー	7,611,184	0.43
	オーストラリア	5,727,830	0.32
	小計	1,577,094,365	88.69
地方債証券	カナダ	40,149,691	2.26
	オーストラリア	20,238,581	1.14
	小計	60,388,272	3.40
特殊債券	オランダ	19,869,926	1.12
	フランス	19,769,068	1.11
	ドイツ	19,680,549	1.11
	小計	59,319,543	3.34
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		81,383,076	4.58
合計（純資産総額）		1,778,185,256	100.00

## (2) 投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

平成25年4月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
ベルギー	国債証券	BELGIAN 0316 3.5	1,660,000	13,661.99	226,789,104	13,640.91	226,439,198	3.500	2015/03/28	12.73
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.5	1,880,000	10,247.17	192,646,889	10,221.16	192,157,902	2.500	2015/03/31	10.81
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 3.25	1,050,000	10,700.69	112,357,324	10,687.04	112,214,024	3.250	2016/06/30	6.31
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 3.25	690,000	14,913.24	102,901,417	15,057.94	103,899,823	3.250	2020/01/04	5.84
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 4	560,000	14,807.59	82,922,526	15,507.85	86,844,000	4.000	2038/10/25	4.88
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 3.75	660,000	11,116.05	73,365,948	11,571.38	76,371,173	3.750	2041/08/15	4.29

アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1	740,000	9,974.49	73,811,252	9,995.48	73,966,625	1.000	2016/09/30	4.16
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.625	710,000	9,700.09	68,870,693	9,782.05	69,452,589	1.625	2022/11/15	3.91
ベルギー	国債証券	BELGIAN 0318 3.75	410,000	14,774.98	60,577,419	14,991.67	61,465,873	3.750	2020/09/28	3.46
オランダ	国債証券	NETHERLANDS GOVT 4.5	390,000	14,931.67	58,233,519	14,983.60	58,436,044	4.500	2017/07/15	3.29
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 4.75	300,000	18,294.49	54,883,471	18,862.07	56,586,214	4.750	2034/07/04	3.18
イギリス	国債証券	TREASURY 4.25	290,000	17,999.28	52,197,928	18,845.75	54,652,691	4.250	2036/03/07	3.07
ベルギー	国債証券	BELGIAN 0325 4.25	230,000	15,238.42	35,048,372	15,506.57	35,665,123	4.250	2022/09/28	2.01
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 5.5	170,000	17,524.05	29,790,890	18,003.52	30,605,987	5.500	2029/04/25	1.72
イギリス	国債証券	TREASURY 5	130,000	18,236.80	23,707,841	18,283.81	23,768,964	5.000	2018/03/07	1.34
カナダ	地方債証券	ONTARIO PROVINCE 3.15	200,000	10,057.22	20,114,459	10,202.04	20,404,084	3.150	2022/06/02	1.15
オーストラリア	地方債証券	NSWTC-DOMESTIC 3.5	200,000	9,999.19	19,998,382	10,119.29	20,238,581	3.500	2019/03/20	1.14
オランダ	特殊債証券	BK NED GEMEENTEN 1.375	200,000	9,938.88	19,877,760	9,934.96	19,869,926	1.375	2017/09/27	1.12
フランス	特殊債証券	CAISSE AMORT DET 1.375	200,000	9,850.75	19,701,504	9,884.53	19,769,068	1.375	2018/01/29	1.11
カナダ	地方債証券	ONTARIO PROVINCE 1.2	200,000	9,856.62	19,713,254	9,872.80	19,745,607	1.200	2018/02/14	1.11
ドイツ	特殊債証券	RENTENBANK 1	200,000	9,826.27	19,652,544	9,840.27	19,680,549	1.000	2018/04/04	1.11
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.125	180,000	10,199.34	18,358,824	10,369.57	18,665,234	2.125	2021/08/15	1.05
イギリス	国債証券	TREASURY 4.5	100,000	18,145.79	18,145,798	18,309.75	18,309,754	4.500	2019/03/07	1.03
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 3.75	160,000	11,331.18	18,129,888	11,390.08	18,224,136	3.750	2018/11/15	1.02
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.375	180,000	10,102.40	18,184,331	10,078.87	18,141,974	2.375	2014/08/31	1.02
メキシコ	国債証券	MEXICAN BONOS 8	1,750,000	967.31	16,928,067	984.59	17,230,361	8.000	2020/06/11	0.97
デンマーク	国債証券	DENMARK - BULLET 4	880,000	1,901.35	16,731,893	1,894.38	16,670,628	4.000	2015/11/15	0.94
カナダ	国債証券	CANADA-GOV'T 4	150,000	10,773.84	16,160,760	10,775.38	16,163,083	4.000	2017/06/01	0.91
イギリス	国債証券	TREASURY 6	70,000	21,873.84	15,311,693	22,592.30	15,814,615	6.000	2028/12/07	0.89
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 4.25	100,000	15,057.30	15,057,304	15,213.04	15,213,043	4.250	2018/10/25	0.86

## 口 種類別の投資比率

平成25年4月30日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	88.69
地方債証券	3.40

特殊債券	3.34
合計	95.42

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

平成25年4月30日現在

種類	取引所等	資産の名称	買建/ 売建	数量	簿価 (円)	時価 (円)	投資 比率 (%)
為替予約 取引	市場外取 引	メキシコペ ソ	買建	4,240,000.00	33,355,150	33,920,000	1.91
為替予約 取引	市場外取 引	ユーロ	買建	246,057.85	31,380,606	31,539,694	1.77
為替予約 取引	市場外取 引	米ドル	買建	189,303.00	18,679,927	18,534,656	1.04
為替予約 取引	市場外取 引	オーストラ リアドル	買建	170,000.00	17,128,180	17,161,500	0.97
為替予約 取引	市場外取 引	ポーランド ズロチ	買建	540,000.00	17,045,100	16,653,600	0.94
為替予約 取引	市場外取 引	スイスフラ ン	買建	70,000.00	7,070,490	7,314,300	0.41
			買建合計	5,455,360.85	124,659,453	125,123,750	7.04
為替予約 取引	市場外取 引	米ドル	売建	520,029.24	50,939,821	50,900,462	2.86
為替予約 取引	市場外取 引	ユーロ	売建	250,000.00	31,208,130	32,045,000	1.80
			売建合計	770,029.24	82,147,951	82,945,462	4.66

(注) わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。

## 〔参考情報〕

基準日2013年4月30日

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。  
 ※委託会社ホームページにおいてもファンドの運用状況は適宜開示しています。

## 基準価額・純資産の推移

## &lt;年金プラン30&gt;



基準価額	11,784円
純資産総額	14億円

## 分配の推移

決算期	分配金
2013年3月	0円
2012年3月	0円
2011年3月	0円
2010年3月	0円
2009年3月	0円
設定来累計	0円

※分配金は1万口当たり、税引前です。

※直近5計算期間を記載しています。

## &lt;年金プラン50&gt;



基準価額	11,106円
純資産総額	31億円

## 分配の推移

決算期	分配金
2013年3月	0円
2012年3月	0円
2011年3月	0円
2010年3月	0円
2009年3月	0円
設定来累計	0円

※分配金は1万口当たり、税引前です。

※直近5計算期間を記載しています。

## &lt;年金プラン70&gt;



基準価額	10,216円
純資産総額	58億円

## 分配の推移

決算期	分配金
2013年3月	0円
2012年3月	0円
2011年3月	0円
2010年3月	0円
2009年3月	0円
設定来累計	0円

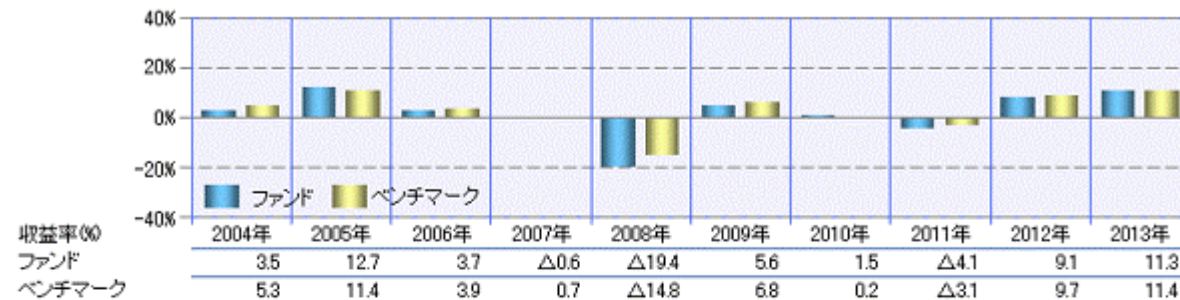
※分配金は1万口当たり、税引前です。

※直近5計算期間を記載しています。

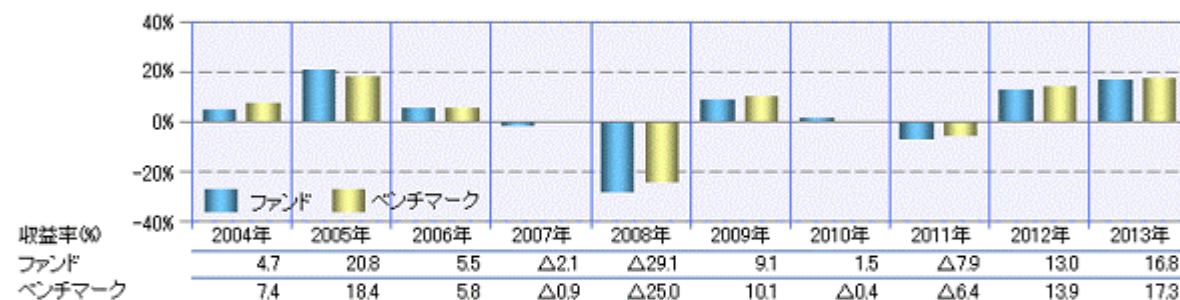
※基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

## 年間収益率の推移（暦年ベース）

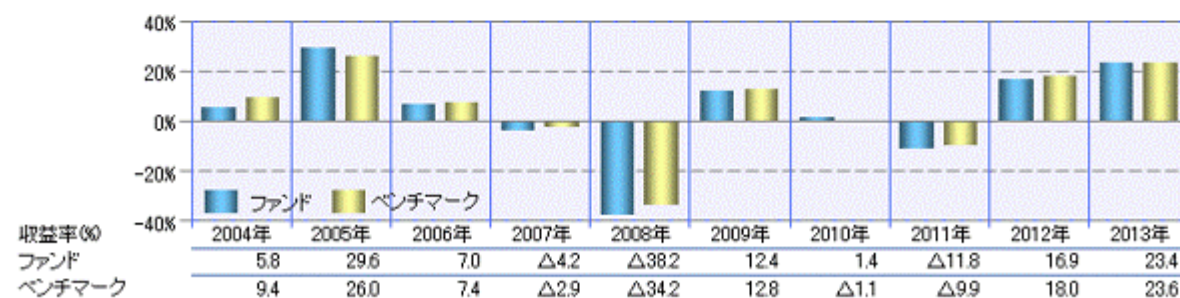
## &lt;年金プラン30&gt;



## &lt;年金プラン50&gt;



## &lt;年金プラン70&gt;



2013年の収益率は、年初から2013年4月30日までの騰落率を表示しています。  
ベンチマークの情報はあくまで参考情報として記載しており、ファンドの運用実績ではありません。

## 第2【管理及び運営】

## 1【申込（販売）手続等】

## イ 申込方法

- (イ) ファンドの取得申込者は、お申込みを取り扱う販売会社に取引口座を開設の上、当ファンドの取得申込みを行っていただきます。
- (ロ) 原則として午後3時までに取得申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。  
なお、取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止させていただく場合、既に受け付けた取得申込みを取り消させていただく場合があります。
- (ハ) 当ファンドの取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ当該取得

申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。  
販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。  
ファンドのお買付けに関しましては、クーリング・オフ制度の適用はありません。

#### ロ 申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、各ファンドについてそれぞれ下記の率の信託財産留保額を加算した価額（販売基準価額といいます。）となります。

年金プラン30： 0.085%

年金プラン50： 0.105%

年金プラン70： 0.125%

ただし、累積投資契約に基づく収益分配金の再投資の場合は、各計算期末の販売基準価額となります。

基準価額に買付時の信託財産留保額を加算した販売基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、それぞれ「年金30」、「年金50」、「年金70」として掲載されます（販売基準価額は、便宜上1万口単位で表示される場合があります。）。

#### ハ 申込手数料

無手数料です。

ただし、1口につき取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、各ファンドについてそれぞれ定められた率を乗じて得た信託財産留保額（上記「ロ 申込価額」をご参照ください。）を申込金額からご負担いただきます。

#### ニ 申込単位

お申込単位の詳細は、取扱いの販売会社または委託会社にお問い合わせください。

#### ホ 照会先

お申込価額、申込単位の詳細についての委託会社に対する照会は下記においてできます。

照会先の名称	電話番号	インターネット・ホームページ・アドレス
三井住友アセットマネジメント株式会社	0120-88-2976	http://www.smam-jp.com

お問い合わせは、原則として営業日の午前9時～午後5時までとさせていただきます。

#### ヘ 申込取扱場所・払込取扱場所

販売会社において申込み・払込みを取り扱います。

#### ト 払込期日

取得申込者は、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の販売基準価額×申込口数）を、販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。

各取得申込みにかかる発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

## 2【換金（解約）手続等】

受益者は、自己に帰属する受益権につき、解約請求（一部解約の実行請求）により換金することができます。

お買付けの販売会社にお申し出ください。

解約請求のお申込みに関しては、原則として午後3時までに解約請求のお申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の解約請求受付分とします。

解約請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかるファンドの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引換えに、当該解約請求にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定に従い当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

一部解約金は、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

一部解約価額は、解約請求受付日の翌営業日の基準価額から、各ファンドについてそれぞれ下記の率の信託財産留保額を差し引いた価額となります。

年金プラン30：0.085%

年金プラン50：0.105%

年金プラン70：0.125%

一部解約価額は、委託会社の営業日において日々算出されますので、委託会社（電話：0120-88-2976）にお問い合わせいただければ、いつでもお知らせします。

委託会社は、取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、および既に受け付けた一部解約の実行請求を取り消すことがあります。この場合、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして、上記に準じた取扱いとなります。

### 3【資産管理等の概要】

#### (1)【資産の評価】

##### イ 基準価額の算出方法

基準価額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます（基準価額は、便宜上1万口単位で表示される場合があります。）。なお、外貨建資産の円換算については、原則としてわが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算するものとし、予約為替の評価は、原則としてわが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

##### ロ 基準価額の算出頻度・照会方法

基準価額は、委託会社の営業日において日々算出されます。

基準価額は、委託会社（電話：0120-88-2976）にお問い合わせることにより知ることができます。

なお、基準価額に買付時の信託財産留保額を加算した販売基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせいただけるほか、原則として翌日付の日本経済新聞朝刊の証券欄「オープン基準価格」の紙面に、それぞれ「年金30」、「年金50」、「年金70」として掲載されます。

委託会社に対する照会は下記においてできます。

照会先の名称	電話番号	インターネット・ホームページ・アドレス
三井住友アセットマネジメント株式会社	0120-88-2976	<a href="http://www.smam-jp.com">http://www.smam-jp.com</a>

お問い合わせは、原則として営業日の午前9時～午後5時までとさせていただきます。

#### (2)【保管】

ファンドの受益権は社振法の規定の適用を受け、受益権の帰属は振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まるため、原則として受益証券は発行されません。したがって、受益証券の保管に関する該当事項はありません。

#### (3)【信託期間】

平成12年9月19日から下記「(5)その他 イ 信託の終了」に記載された各事由が生じた場合における信託終了の日までとなります。

#### (4)【計算期間】



毎年3月7日から翌年3月6日までとすることを原則としますが、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始するものとします。なお、最終計算期間の終了日は、信託期間の終了日とします。

## (5) 【その他】

### イ 信託の終了

#### (イ) 信託契約の解約

- a. 委託会社は、当ファンドの信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認めるとき、残存口数が30億口を下回ることとなったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、当ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- b. 委託会社は、上記aの事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面を当ファンドの知られたる受益者に対して交付します。ただし、当ファンドのすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- c. 上記bの公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- d. 上記cの一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、信託契約の解約をしません。
- e. 委託会社は、当ファンドの信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- f. 上記c～eまでの取扱いは、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記cの一定の期間が一月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。

#### (ロ) 信託契約に関する監督官庁の命令

委託会社は、監督官庁より当ファンドの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い信託契約を解約し、信託を終了させます。

#### (ハ) 委託会社の登録取消等に伴う取扱い

委託会社が、監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は当ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が当ファンドに関する委託会社の業務を他の委託会社に引継ぐことを命じたときは、当ファンドは、その委託会社と受託会社との間において存続します。

#### (ニ) 受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

- a. 受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。また、受託会社はその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。
- b. 上記により受託会社が辞任し、または解任された場合は、委託会社は新受託会社を選任します。
- c. 委託会社が新受託会社を選任できないとき、委託会社は当ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させます。

### ロ 収益分配金、償還金の支払い

#### (イ) 収益分配金

- a. 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合等には委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分



配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

- b. 当ファンドは、分配金自動再投資専用ですので、分配金は、原則として、税金を差し引いた後、毎計算期間終了日の翌営業日に再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

#### (ロ) 償還金

償還金は、信託終了後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日から起算して5営業日目まで）から、販売会社において、原則として、償還日の振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に支払われます。

### 八 信託約款の変更

- (イ) 委託会社は、当ファンドの信託約款を変更することが受益者の利益のため必要と認めるとき、監督官庁より変更の命令を受けたとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、当ファンドの信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨および内容を監督官庁に届け出ます。
- (ロ) 委託会社は、上記(イ)の変更事項のうち、その内容が重大なものについては、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を当ファンドの知られたる受益者に交付します。ただし、当ファンドのすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- (ハ) 上記(ロ)の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- (ニ) 上記(ハ)の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、(イ)の信託約款の変更をしません。
- (ホ) 委託会社は、信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

### 二 反対者の買取請求権

当ファンドの信託契約の解約または重大な信託約款の変更が行われる場合において、それぞれの手続きにおいて設けられる異議申立期間内に委託会社に異議を述べた受益者は、自己に帰属する受益権を、受託会社に信託財産をもって買い取るよう請求をすることができます。

### ホ 販売会社との契約の更改等

委託会社と販売会社との間で締結される販売契約（名称の如何を問わず、ファンドの募集・販売の取扱い、受益者からの一部解約実行請求の受付け、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払事務等を規定するもの）は、期間満了の3ヵ月前に当事者のいずれから、何らの意思表示もない場合は、自動的に1年間更新されます。販売契約の内容は、必要に応じて、委託会社と販売会社との合意により変更されることがあります。

### ヘ 委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い

委託会社の事業の全部または一部の譲渡、もしくは分割承継により、当ファンドに関する事業が譲渡・承継されることがあります。

### ト 公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

### チ 運用にかかる報告書の開示方法

委託会社は毎決算後、投資信託及び投資法人に関する法律の規定に従い、期中の運用経過のほか、信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「運用報告書」を作成します。運用報告書は、原則として、あらかじめ受益者が申し出た住所に販売会社から届けられます。

#### 4【受益者の権利等】

委託会社の指図に基づく行為によりファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドの受益権は、信託の日時を異にすることにより差異が生ずることはありません。

受益者の有する主な権利は次の通りです。

##### イ 分配金請求権

受益者は、委託会社の決定した収益分配金を持分に応じて請求する権利を有します。

当ファンドは、分配金自動再投資専用であるため、収益分配金は、原則として、税金を差し引いた後、毎計算期間終了日の翌営業日に再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

##### ロ 償還金請求権

受益者は、持分に応じて償還金を請求する権利を有します。

償還金は、信託終了後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日から起算して5営業日目まで）から、販売会社において、原則として、償還日の振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払われます。

償還金は、受益者がその支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、受益者はその権利を失い、当該金銭は、委託会社に帰属します。

##### ハ 一部解約実行請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。詳細は、前記「第2 管理及び運営 2 換金（解約）手続等」の記載をご参照ください。

##### ニ 信託約款変更等に対する異議申立権および受益権の買取請求権

委託会社が、当ファンドの解約（監督官庁の命令による解約等の場合を除きます。）または重大な信託約款の変更を行おうとする場合において、当該解約または信託約款変更に関する異議のある受益者は、それぞれの手続きにおいて設けられる異議申立期間中に異議を申し立てることができます。異議を申し立てた受益者の受益権の口数が、受益権の総口数の過半数となるときは、当該解約または信託約款変更は行われません。

当該解約または信託約款変更が行われる場合において、前述の異議を申し立てた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買い取るべき旨の請求ができます。

##### ホ 帳簿閲覧・謄写請求権

受益者は委託会社に対し、当該受益者にかかる信託財産に関する書類の閲覧または謄写を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

2. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第13期（平成24年3月7日から

平成25年3月6日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】  
 【三井住友・年金プラン30】  
 (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第12期 (平成24年3月6日現在)	第13期 (平成25年3月6日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	19,820,541	26,599,005
親投資信託受益証券	1,848,587,788	1,495,125,488
未収入金	1,775,000	-
未収利息	27	36
流動資産合計	1,870,183,356	1,521,724,529
資産合計	1,870,183,356	1,521,724,529
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	1,822,690	-
未払受託者報酬	732,616	583,126
未払委託者報酬	7,509,179	5,977,082
その他未払費用	138,377	138,377
流動負債合計	10,202,862	6,698,585
負債合計	10,202,862	6,698,585
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,823,524,432	1,350,585,230
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	36,456,062	164,440,714
元本等合計	1,859,980,494	1,515,025,944
純資産合計	1,859,980,494	1,515,025,944
負債純資産合計	1,870,183,356	1,521,724,529

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第12期	第13期
	自 平成23年 3月 8日 至 平成24年 3月 6日	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<b>営業収益</b>		
受取利息	3,068	5,454
有価証券売買等損益	5,183,860	157,033,700
営業収益合計	5,180,792	157,039,154
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	1,548,923	1,175,751
委託者報酬	15,876,315	12,051,393
その他費用	278,953	278,953
営業費用合計	17,704,191	13,506,097
営業利益又は営業損失（ ）	22,884,983	143,533,057
経常利益又は経常損失（ ）	22,884,983	143,533,057
当期純利益又は当期純損失（ ）	22,884,983	143,533,057
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	13,304,957	7,833,644
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	74,019,930	36,456,062
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	4,484,771
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	4,484,771
剰余金減少額又は欠損金増加額	27,983,842	12,199,532
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	26,899,454	12,199,532
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,084,388	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	36,456,062	164,440,714

( 3 ) 【注記表】  
( 重要な会計方針の注記 )

項目	第13期
	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

( 追加情報 )

第13期
自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<p>当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。</p>

( 貸借対照表に関する注記 )

項目	第12期 (平成24年 3月 6日現在)	第13期 (平成25年 3月 6日現在)
	1. 受益権総数	<p>当計算期間の末日における受益権の総数</p> <p>1,823,524,432口</p>
2. 1単位当たり純資産額	<p>1.0200円</p> <p>( 1万口 = 10,200円 )</p>	<p>1.1218円</p> <p>( 1万口 = 11,218円 )</p>

( 損益及び剰余金計算書に関する注記 )

項目	第12期	第13期
	自 平成23年 3月 8日 至 平成24年 3月 6日	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日

分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,621,947円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(114,607,125円)、および分配準備積立金(276,224,014円)より、分配対象収益は408,453,086円(1万口当たり2,239.91円)ですが、分配を行っておりません。	計算期間末における費用控除後の配当等収益(24,644,355円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(109,229,536円)、および分配準備積立金(194,015,964円)より、分配対象収益は327,889,855円(1万口当たり2,427.76円)ですが、分配を行っておりません。
----------	--	--

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	第13期 自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、親投資信託受益証券を組み入れております。</p> <p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する委員会をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用グループに是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用グループは、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用グループの対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用グループの担当役員およびリスク管理委員会へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する部会にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

・金融商品の時価等に関する事項

項目	第13期 (平成25年 3月 6日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券（親投資信託受益証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)  
売買目的有価証券

第12期（自平成23年3月8日 至平成24年3月6日）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
----	-------------------



親投資信託受益証券	14,695,755円
合計	14,695,755円

第13期(自平成24年3月7日 至 平成25年3月6日)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	140,737,859円
合計	140,737,859円

(デリバティブ取引に関する注記)

第12期(平成24年3月6日現在)

該当事項はありません。

第13期(平成25年3月6日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第12期(自平成23年3月8日 至 平成24年3月6日)

該当事項はありません。

第13期(自平成24年3月7日 至 平成25年3月6日)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第12期 (平成24年 3月 6日現在)	第13期 (平成25年 3月 6日現在)
期首元本額	2,661,199,964円	1,823,524,432円
期中追加設定元本額	163,374,614円	158,135,004円
期中一部解約元本額	1,001,050,146円	631,074,206円

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(a)株式

該当事項はありません。

(b)株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド(B号)	406,807,885	309,255,354	
	国内債券マザーファンド(B号)	711,849,323	886,038,852	
	外国株式マザーファンド(B号)	144,273,361	159,292,217	
	外国債券マザーファンド(B号)	65,016,222	140,539,065	
	親投資信託受益証券 小計	1,327,946,791	1,495,125,488	

合計	1,327,946,791	1,495,125,488	
----	---------------	---------------	--

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

【三井住友・年金プラン50】  
（1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第12期 （平成24年3月6日現在）	第13期 （平成25年3月6日現在）
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	56,286,422	71,311,493
親投資信託受益証券	4,528,444,283	3,745,862,831
未収入金	-	29,000,000
未収利息	77	97
流動資産合計	4,584,730,782	3,846,174,421
資産合計	4,584,730,782	3,846,174,421
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	22,437	132,645
未払受託者報酬	1,762,918	1,887,670
未払委託者報酬	22,477,134	24,067,780
その他未払費用	189,408	189,408
流動負債合計	24,451,897	26,277,503
負債合計	24,451,897	26,277,503
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	5,027,766,549	3,692,657,999
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	467,487,664	127,238,919
元本等合計	4,560,278,885	3,819,896,918
純資産合計	4,560,278,885	3,819,896,918
負債純資産合計	4,584,730,782	3,846,174,421

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第12期	第13期
	自 平成23年 3月 8日 至 平成24年 3月 6日	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<b>営業収益</b>		
受取利息	6,724	18,282
有価証券売買等損益	109,716,481	657,905,548
営業収益合計	109,709,757	657,923,830
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	3,642,950	3,778,936
委託者報酬	46,447,481	48,181,379
その他費用	381,688	381,688
営業費用合計	50,472,119	52,342,003
営業利益又は営業損失（ ）	160,181,876	605,581,827
経常利益又は経常損失（ ）	160,181,876	605,581,827
当期純利益又は当期純損失（ ）	160,181,876	605,581,827
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	8,851,581	136,900,441
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	299,189,681	467,487,664
剰余金増加額又は欠損金減少額	11,084,647	144,852,045
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	11,084,647	144,852,045
剰余金減少額又は欠損金増加額	28,052,335	18,806,848
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	28,052,335	18,806,848
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	467,487,664	127,238,919

(3)【注記表】  
(重要な会計方針の注記)

項目	第13期
	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

(追加情報)

第13期
自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<p>当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	第12期	第13期
	(平成24年 3月 6日現在)	(平成25年 3月 6日現在)
1. 受益権総数	当計算期間の末日における受益権の総数 5,027,766,549口	当計算期間の末日における受益権の総数 3,692,657,999口
2. 元本の欠損	「投資信託財産の計算に関する規則」第55条の6第10号に規定する額 467,487,664円	
3. 1単位当たり純資産額	0.9070円 (1万口=9,070円)	1.0345円 (1万口=10,345円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第12期	第13期
	自 平成23年 3月 8日 至 平成24年 3月 6日	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日

分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益(38,655,435円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(261,558,742円)、および分配準備積立金(823,593,756円)より、分配対象収益は1,123,807,933円(1万口当たり2,235.20円)であります。分配を行っておりません。	計算期間末における費用控除後の配当等収益(64,717,506円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(218,754,721円)、および分配準備積立金(607,903,961円)より、分配対象収益は891,376,188円(1万口当たり2,413.91円)であります。分配を行っておりません。
----------	--	--

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	第13期 自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、親投資信託受益証券を組み入れております。</p> <p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する委員会をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用グループに是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用グループは、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用グループの対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用グループの担当役員およびリスク管理委員会へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する部会にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該評価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

・金融商品の時価等に関する事項

項目	第13期 (平成25年 3月 6日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券（親投資信託受益証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)  
売買目的有価証券

第12期（自平成23年3月8日 至 平成24年3月6日）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
----	-------------------

親投資信託受益証券	77,160,524円
合計	77,160,524円

第13期(自平成24年3月7日 至 平成25年3月6日)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	487,235,177円
合計	487,235,177円

(デリバティブ取引に関する注記)

第12期(平成24年3月6日現在)

該当事項はありません。

第13期(平成25年3月6日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第12期(自平成23年3月8日 至 平成24年3月6日)

該当事項はありません。

第13期(自平成24年3月7日 至 平成25年3月6日)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第12期 (平成24年 3月 6日現在)	第13期 (平成25年 3月 6日現在)
期首元本額	4,983,897,165円	5,027,766,549円
期中追加設定元本額	224,151,094円	209,134,099円
期中一部解約元本額	180,281,710円	1,544,242,649円

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(a)株式

該当事項はありません。

(b)株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド(B号)	1,669,058,501	1,268,818,272	
	国内債券マザーファンド(B号)	1,174,715,217	1,462,168,030	
	外国株式マザーファンド(B号)	600,550,239	663,067,518	
	外国債券マザーファンド(B号)	162,753,984	351,809,011	
	親投資信託受益証券 小計	3,607,077,941	3,745,862,831	



合計	3,607,077,941	3,745,862,831	
----	---------------	---------------	--

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

【三井住友・年金プラン70】  
（1）【貸借対照表】

（単位：円）

	第12期 （平成24年3月6日現在）	第13期 （平成25年3月6日現在）
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	52,880,042	85,538,251
親投資信託受益証券	4,367,366,386	5,132,290,320
未収入金	474,000	27,800,000
未収利息	72	117
流動資産合計	4,420,720,500	5,245,628,688
資産合計	4,420,720,500	5,245,628,688
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	1,248,590	61,574
未払受託者報酬	1,671,784	1,894,961
未払委託者報酬	25,494,621	28,898,130
その他未払費用	221,816	221,816
流動負債合計	28,636,811	31,076,481
負債合計	28,636,811	31,076,481
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	5,610,051,858	5,637,188,469
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,217,968,169	422,636,262
元本等合計	4,392,083,689	5,214,552,207
純資産合計	4,392,083,689	5,214,552,207
負債純資産合計	4,420,720,500	5,245,628,688

## （２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第12期	第13期
	自 平成23年 3月 8日 至 平成24年 3月 6日	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<b>営業収益</b>		
受取利息	7,186	18,931
有価証券売買等損益	242,717,829	861,898,934
営業収益合計	242,710,643	861,917,865
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	3,508,077	3,690,055
委託者報酬	53,498,028	56,273,315
その他費用	447,032	447,032
営業費用合計	57,453,137	60,410,402
営業利益又は営業損失（ ）	300,163,780	801,507,463
経常利益又は経常損失（ ）	300,163,780	801,507,463
当期純利益又は当期純損失（ ）	300,163,780	801,507,463
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	10,405,169	567,701
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	907,833,261	1,217,968,169
剰余金増加額又は欠損金減少額	26,022,123	27,165,966
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	26,022,123	27,165,966
剰余金減少額又は欠損金増加額	46,398,420	32,773,821
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	46,398,420	32,773,821
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,217,968,169	422,636,262

( 3 ) 【注記表】  
( 重要な会計方針の注記 )

項目	第13期
	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

( 追加情報 )

第13期
自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<p>当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。</p>

( 貸借対照表に関する注記 )

項目	第12期	第13期
	( 平成24年 3月 6日現在 )	( 平成25年 3月 6日現在 )
1. 受益権総数	当計算期間の末日における受益権の総数 5,610,051,858口	当計算期間の末日における受益権の総数 5,637,188,469口
2. 元本の欠損	「投資信託財産の計算に関する規則」第55条の6第10号に規定する額 1,217,968,169円	「投資信託財産の計算に関する規則」第55条の6第10号に規定する額 422,636,262円
3. 1単位当たり純資産額	0.7829円 ( 1万口 = 7,829円 )	0.9250円 ( 1万口 = 9,250円 )

( 損益及び剰余金計算書に関する注記 )

項目	第12期	第13期
	自 平成23年 3月 8日 至 平成24年 3月 6日	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日

分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益(35,798,901円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(193,976,653円)、および分配準備積立金(950,023,542円)より、分配対象収益は1,179,799,096円(1万口当たり2,103.00円)であります。分配を行っておりません。	計算期間末における費用控除後の配当等収益(94,795,573円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(221,510,114円)、および分配準備積立金(964,343,166円)より、分配対象収益は1,280,648,853円(1万口当たり2,271.78円)であります。分配を行っておりません。
----------	--	--

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	第13期 自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、親投資信託受益証券を組み入れております。</p> <p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する委員会をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用グループに是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用グループは、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用グループの対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用グループの担当役員およびリスク管理委員会へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する部会にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

・金融商品の時価等に関する事項

項目	第13期 (平成25年 3月 6日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券（親投資信託受益証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)  
売買目的有価証券

第12期（自平成23年3月8日 至平成24年3月6日）

種 類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
-----	-------------------

親投資信託受益証券	206,077,556円
合計	206,077,556円

第13期(自平成24年3月7日 至 平成25年3月6日)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	842,377,521円
合計	842,377,521円

(デリバティブ取引に関する注記)

第12期(平成24年3月6日現在)

該当事項はありません。

第13期(平成25年3月6日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第12期(自平成23年3月8日 至 平成24年3月6日)

該当事項はありません。

第13期(自平成24年3月7日 至 平成25年3月6日)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第12期 (平成24年 3月 6日現在)	第13期 (平成25年 3月 6日現在)
期首元本額	5,582,274,845円	5,610,051,858円
期中追加設定元本額	186,225,504円	151,638,301円
期中一部解約元本額	158,448,491円	124,501,690円

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(a)株式

該当事項はありません。

(b)株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド(B号)	3,256,587,666	2,475,657,943	
	国内債券マザーファンド(B号)	778,622,852	969,151,863	
	外国株式マザーファンド(B号)	1,091,664,666	1,205,306,957	
	外国債券マザーファンド(B号)	223,063,267	482,173,557	
	親投資信託受益証券 小計	5,349,938,451	5,132,290,320	

合計	5,349,938,451	5,132,290,320	
----	---------------	---------------	--

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

(参考情報)

「三井住友・年金プラン30」「三井住友・年金プラン50」および「三井住友・年金プラン70」は、「国内株式マザーファンド(B号)」、「国内債券マザーファンド(B号)」、「外国株式マザーファンド(B号)」および「外国債券マザーファンド(B号)」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券です。

なお、以下に記載した状況は、監査の対象外です。

「国内株式マザーファンド(B号)」の状況

(1) 貸借対照表

	(単位：円)	
	(平成24年 3月 6日現在)	(平成25年 3月 6日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	51,782,892	44,380,256
株式	3,977,817,900	4,016,788,400
未収入金	28,210,628	113,713,670
未収配当金	4,035,600	4,382,400
未収利息	70	60
流動資産合計	4,061,847,090	4,179,264,786
資産合計	4,061,847,090	4,179,264,786
負債の部		
流動負債		
未払金	28,590,316	104,301,288
未払解約金		21,000,000
流動負債合計	28,590,316	125,301,288
負債合計	28,590,316	125,301,288
純資産の部		
元本等		
元本	6,579,850,767	5,332,454,052
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	2,546,593,993	1,278,490,554
元本等合計	4,033,256,774	4,053,963,498
純資産合計	4,033,256,774	4,053,963,498
負債純資産合計	4,061,847,090	4,179,264,786

(2) 注記表

(重要な会計方針の注記)

項目	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
----	--------------------------------



1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金の計上基準</p> <p>受取配当金は原則として、配当落ち日において、確定配当金額または予想配当金額を計上しております。なお、配当金額が未確定の場合は、入金日基準で計上しております。</p>

## (追加情報)

<p>自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日</p>
<p>当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

項目	（平成24年 3月 6日現在）	（平成25年 3月 6日現在）
1. 受益権総数	<p>平成24年 3月 6日における受益権の総数</p> <p style="text-align: right;">6,579,850,767口</p>	<p>平成25年 3月 6日における受益権の総数</p> <p style="text-align: right;">5,332,454,052口</p>
2. 元本の欠損	<p>「投資信託財産の計算に関する規則」第55条の6第10号に規定する額</p> <p style="text-align: right;">2,546,593,993円</p>	<p>「投資信託財産の計算に関する規則」第55条の6第10号に規定する額</p> <p style="text-align: right;">1,278,490,554円</p>
3. 1単位当たり純資産額	<p style="text-align: right;">0.6130円</p> <p style="text-align: center;">（1万口 = 6,130円）</p>	<p style="text-align: right;">0.7602円</p> <p style="text-align: center;">（1万口 = 7,602円）</p>

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	<p>自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日</p>
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。</p>
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、株式を組み入れております。</p>

	<p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する委員会をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用グループに是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用グループは、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用グループの対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用グループの担当役員およびリスク管理委員会へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する部会にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

#### ・金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成25年 3月 6日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券（株式） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p>

	(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
--	---

(デリバティブ取引に関する注記)

(平成24年3月6日現在)

該当事項はありません。

(平成25年3月6日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

(自平成23年3月8日 至 平成24年3月6日)

該当事項はありません。

(自平成24年3月7日 至 平成25年3月6日)

該当事項はありません。

(その他の注記)

(平成24年 3月 6日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	6,046,430,667円
同期中における追加設定元本額	1,581,697,847円
同期中における一部解約元本額	1,048,277,747円
平成24年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	635,748,539円
三井住友・年金プラン50	2,519,704,627円
三井住友・年金プラン70	3,424,397,601円
合計	6,579,850,767円

(平成25年 3月 6日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	6,579,850,767円
同期中における追加設定元本額	667,290,973円
同期中における一部解約元本額	1,914,687,688円
平成25年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	406,807,885円
三井住友・年金プラン50	1,669,058,501円
三井住友・年金プラン70	3,256,587,666円
合計	5,332,454,052円

(3) 附属明細表

有価証券明細表

## (a) 株式

(単位：円)

銘柄	株数	評価額 単価	評価額 金額	備考
国際石油開発帝石	83	489,500.00	40,628,500	
石油資源開発	6,400	3,705.00	23,712,000	
ショーボンドホールディングス	5,800	3,375.00	19,575,000	
大成建設	77,000	273.00	21,021,000	
大林組	48,000	483.00	23,184,000	
大東建託	4,200	8,330.00	34,986,000	
大和ハウス工業	26,000	1,768.00	45,968,000	
協和エクシオ	11,200	1,014.00	11,356,800	
東芝プラントシステム	19,000	1,215.00	23,085,000	
日本ハム	31,000	1,489.00	46,159,000	
不二製油	24,800	1,406.00	34,868,800	
味の素	33,000	1,301.00	42,933,000	
東洋水産	8,000	2,811.00	22,488,000	
日本たばこ産業	16,200	3,095.00	50,139,000	
東レ	68,000	571.00	38,828,000	
クラレ	22,600	1,286.00	29,063,600	
旭化成	27,000	580.00	15,660,000	
信越化学工業	12,600	5,650.00	71,190,000	
大陽日酸	49,000	681.00	33,369,000	
J S R	18,000	1,925.00	34,650,000	
積水化学工業	37,000	924.00	34,188,000	
花王	12,900	3,045.00	39,280,500	
日東電工	11,300	5,530.00	62,489,000	
協和発酵キリン	9,000	987.00	8,883,000	
武田薬品工業	11,800	4,945.00	58,351,000	
アステラス製薬	14,500	5,170.00	74,965,000	
塩野義製薬	14,400	1,906.00	27,446,400	
中外製薬	13,000	2,177.00	28,301,000	
ブリヂストン	22,200	2,965.00	65,823,000	
住友大阪セメント	94,000	296.00	27,824,000	
共英製鋼	7,300	1,685.00	12,300,500	
D O W Aホールディングス	61,000	687.00	41,907,000	
住友電気工業	18,000	1,123.00	20,214,000	
S U M C O	20,900	1,034.00	21,610,600	
三和ホールディングス	44,000	454.00	19,976,000	
S M C	4,200	16,740.00	70,308,000	
クボタ	48,000	1,168.00	56,064,000	
椿本チエイン	73,000	473.00	34,529,000	
T H K	16,200	1,720.00	27,864,000	
マキタ	7,200	4,250.00	30,600,000	
三菱重工業	40,000	519.00	20,760,000	

ミネベア	64,000	321.00	20,544,000
日立製作所	122,000	536.00	65,392,000
日本電産	3,100	5,400.00	16,740,000
日新電機	35,000	446.00	15,610,000
アンリツ	26,000	1,426.00	37,076,000
T D K	6,400	3,195.00	20,448,000
アルプス電気	20,500	598.00	12,259,000
横河電機	33,700	961.00	32,385,700
キーエンス	1,400	26,190.00	36,666,000
京セラ	4,500	7,970.00	35,865,000
太陽誘電	14,000	1,132.00	15,848,000
村田製作所	6,400	6,490.00	41,536,000
キヤノン	20,900	3,370.00	70,433,000
デンソー	15,300	3,990.00	61,047,000
日産自動車	22,300	947.00	21,118,100
いすゞ自動車	86,000	564.00	48,504,000
トヨタ自動車	38,400	4,830.00	185,472,000
本田技研工業	31,500	3,545.00	111,667,500
富士重工業	16,000	1,410.00	22,560,000
豊田合成	24,400	2,127.00	51,898,800
テルモ	4,200	4,090.00	17,178,000
中部電力	9,700	1,151.00	11,164,700
東京瓦斯	81,000	481.00	38,961,000
東京急行電鉄	47,000	615.00	28,905,000
東日本旅客鉄道	11,900	7,290.00	86,751,000
ヤマトホールディングス	28,200	1,614.00	45,514,800
上組	27,000	827.00	22,329,000
フジ・メディア・ホールディングス	114	173,100.00	19,733,400
ヤフー	818	39,950.00	32,679,100
大塚商会	2,400	9,810.00	23,544,000
日本電信電話	20,600	4,350.00	89,610,000
K D D I	5,300	7,160.00	37,948,000
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	143	144,800.00	20,706,400
三井物産	14,000	1,362.00	19,068,000
日立ハイテクノロジーズ	11,500	1,971.00	22,666,500
三菱商事	39,200	1,820.00	71,344,000
セブン&アイ・ホールディングス	18,800	2,956.00	55,572,800
ドン・キホーテ	4,500	3,655.00	16,447,500
コメリ	11,500	2,636.00	30,314,000
ヤマダ電機	13,720	3,460.00	47,471,200
三菱UFJフィナンシャル・グループ	294,200	535.00	157,397,000
三井住友トラスト・ホールディングス	90,000	400.00	36,000,000
三井住友フィナンシャルグループ	37,000	3,850.00	142,450,000
みずほフィナンシャルグループ	574,900	205.00	117,854,500
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	51,000	583.00	29,733,000

NK S Jホールディングス	11,800	2,073.00	24,461,400	
東京海上ホールディングス	26,000	2,734.00	71,084,000	
T & Dホールディングス	36,800	1,039.00	38,235,200	
クレディセゾン	8,500	2,116.00	17,986,000	
オリックス	3,610	11,160.00	40,287,600	
三菱UFJリース	4,840	4,340.00	21,005,600	
三井不動産	37,000	2,472.00	91,464,000	
住友不動産	22,000	3,335.00	73,370,000	
エヌ・ティ・ティ都市開発	139	102,100.00	14,191,900	
セコム	6,900	4,890.00	33,741,000	
合計	3,235,867		4,016,788,400	

(b) 株式以外の有価証券  
該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

「国内債券マザーファンド（B号）」の状況

(1) 貸借対照表

(単位：円)

(平成24年 3月 6日現在) (平成25年 3月 6日現在)

資産の部		
流動資産		
コール・ローン	454,070,256	791,999,448
国債証券	25,536,507,080	27,864,898,240
地方債証券	414,038,000	100,118,000
特殊債券	1,706,278,185	1,740,231,840
社債券	4,283,061,000	4,455,721,000
未収入金		622,233,000
未収利息	121,718,404	123,713,344
前払費用	18,890,228	30,289,305
流動資産合計	32,534,563,153	35,729,204,177
資産合計	32,534,563,153	35,729,204,177
負債の部		
流動負債		
未払金		1,129,712,000
未払解約金	49,541,519	38,868,961
流動負債合計	49,541,519	1,168,580,961
負債合計	49,541,519	1,168,580,961
純資産の部		
元本等		
元本	26,902,364,789	27,765,387,954
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	5,582,656,845	6,795,235,262
元本等合計	32,485,021,634	34,560,623,216

純資産合計	32,485,021,634	34,560,623,216
負債純資産合計	32,534,563,153	35,729,204,177

## (2) 注記表

## (重要な会計方針の注記)

項目	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券は個別法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

## (追加情報)

自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<p>当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

項目	(平成24年 3月 6日現在)	(平成25年 3月 6日現在)
1. 受益権総数	平成24年 3月 6日における受益権の総数 26,902,364,789口	平成25年 3月 6日における受益権の総数 27,765,387,954口
2. 1単位当たり純資産額	1.2075円 (1万口 = 12,075円)	1.2447円 (1万口 = 12,447円)

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。</p>

2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券を組み入れております。</p> <p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する委員会をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用グループに是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用グループは、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用グループの対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用グループの担当役員およびリスク管理委員会へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する部会にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

#### ・金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成25年 3月 6日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券（国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。



	<p>(2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引)          デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等          これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
--	--

(デリバティブ取引に関する注記)

(平成24年3月6日現在)

該当事項はありません。

(平成25年3月6日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

(自平成23年3月8日至平成24年3月6日)

該当事項はありません。

(自平成24年3月7日至平成25年3月6日)

該当事項はありません。

(その他の注記)

(平成24年 3月 6日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	28,713,454,971円
同期中における追加設定元本額	10,787,001,032円
同期中における一部解約元本額	12,598,091,214円
平成24年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	899,237,711円
三井住友・年金プラン50	1,449,690,180円
三井住友・年金プラン70	671,727,572円
三井住友・日本債券年金ファンド	2,658,004,449円
S M A M ・年金国内債券アクティブファンド(適格機関投資家専用)	16,110,647,402円
バランスファンドV A(安定運用型) <適格機関投資家限定>	1,613,170,483円
三井住友 / FOFs用日本債F(適格機関投資家限定)	3,499,886,992円
合計	26,902,364,789円

(平成25年 3月 6日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	26,902,364,789円
同期中における追加設定元本額	6,331,784,340円
同期中における一部解約元本額	5,468,761,175円
平成25年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	711,849,323円

三井住友・年金プラン50	1,174,715,217円
三井住友・年金プラン70	778,622,852円
三井住友・日本債券年金ファンド	2,795,465,982円
S M A M ・年金国内債券アクティブファンド(適格機関投資家専用)	18,451,714,435円
バランスファンドV A(安定運用型) <適格機関投資家限定>	1,490,935,057円
三井住友 / FOFs用日本債F(適格機関投資家限定)	2,362,085,088円
合 計	27,765,387,954円

## (3) 附属明細表

## 有価証券明細表

## (a) 株式

該当事項はありません。

## (b) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘 柄	券面総額	評価額	備 考
国債証券	第4回利付国債(40年)	250,000,000	271,655,000	
	第47回変動利付国債(15年)	300,000,000	310,350,000	
	第250回利付国債(10年)	100,000,000	100,125,000	
	第255回利付国債(10年)	3,100,000,000	3,123,963,000	
	第261回利付国債(10年)	3,300,000,000	3,374,580,000	
	第274回利付国債(10年)	400,000,000	416,252,000	
	第280回利付国債(10年)	1,700,000,000	1,803,139,000	
	第292回利付国債(10年)	1,000,000,000	1,079,850,000	
	第299回利付国債(10年)	700,000,000	746,788,000	
	第303回利付国債(10年)	600,000,000	644,586,000	
	第310回利付国債(10年)	2,000,000,000	2,090,840,000	
	第312回利付国債(10年)	1,200,000,000	1,272,000,000	
	第315回利付国債(10年)	2,000,000,000	2,117,260,000	
	第325回利付国債(10年)	1,300,000,000	1,321,658,000	
	第327回利付国債(10年)	300,000,000	304,278,000	
	第3回利付国債(30年)	148,000,000	167,977,040	
	第20回利付国債(30年)	600,000,000	694,620,000	
	第30回利付国債(30年)	650,000,000	728,929,500	
	第34回利付国債(30年)	300,000,000	329,415,000	
	第36回利付国債(30年)	200,000,000	210,232,000	
	第66回利付国債(20年)	220,000,000	244,147,200	
	第74回利付国債(20年)	200,000,000	228,496,000	
	第75回利付国債(20年)	150,000,000	171,309,000	
	第84回利付国債(20年)	400,000,000	450,712,000	
	第92回利付国債(20年)	500,000,000	566,980,000	
	第97回利付国債(20年)	600,000,000	685,290,000	
第100回利付国債(20年)	100,000,000	113,969,000		

	第104回利付国債(20年)	400,000,000	449,396,000	
	第110回利付国債(20年)	750,000,000	836,820,000	
	第111回利付国債(20年)	450,000,000	507,496,500	
	第118回利付国債(20年)	200,000,000	217,760,000	
	第126回利付国債(20年)	500,000,000	540,855,000	
	第128回利付国債(20年)	300,000,000	319,278,000	
	第134回利付国債(20年)	100,000,000	104,133,000	
	第135回利付国債(20年)	300,000,000	307,515,000	
	第138回利付国債(20年)	200,000,000	197,780,000	
	第141回利付国債(20年)	800,000,000	814,464,000	
	国債証券 小計	26,318,000,000	27,864,898,240	
地方債証券	平成15年度第2回横浜市公募公債	100,000,000	100,118,000	
	地方債証券 小計	100,000,000	100,118,000	
特殊債券	第332回政府保証道路債券	100,000,000	102,214,000	
	第23回都市再生債券	300,000,000	302,352,000	
	第9回貸付債権担保S種住宅金融公庫債券	104,046,000	111,913,958	
	第46回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	181,028,000	191,822,699	
	第48回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	182,256,000	193,605,081	
	第50回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	92,421,000	96,543,900	
	第6回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	51,431,000	55,020,883	
	第7回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	55,301,000	59,190,319	
	い第697号農林債	100,000,000	100,423,000	
	い第728号農林債	100,000,000	101,110,000	
	第242回信金中金債(5年)	100,000,000	101,058,000	
	第5回中日本高速道路株式会社社債	300,000,000	324,978,000	
	特殊債券 小計	1,666,483,000	1,740,231,840	
社債券	国家公務員共済組合連合会第二回CLO特定目的会社第一回C号	100,000,000	100,180,000	
	アボット・ジャパン 1.95% 131106	100,000,000	100,961,000	
	第9回ジェー・ピー・モルガン・チェース・アンド・カンパニー円	100,000,000	102,658,000	
	第4回ウォルマート・ストアーズ・インク円貨社債(2010)	100,000,000	101,621,000	
	第9回森永乳業株式会社無担保社債	100,000,000	103,408,000	

第5回積水化学工業株式会社無担保社債	100,000,000	101,201,000	
第7回宇部興産株式会社無担保社債	200,000,000	202,194,000	
第39回日本精工株式会社無担保社債	200,000,000	213,370,000	
第18回三洋電機株式会社無担保社債	100,000,000	100,110,000	
第1回日本生命2010基金特定目的会社特定社債	100,000,000	100,920,000	
第1回住友生命第3回基金流動化特定目的会社特定社債	100,000,000	100,938,000	
第1回明治安田生命2011基金特定目的会社特定社債	100,000,000	101,392,000	
第54回日産自動車株式会社無担保社債	200,000,000	203,564,000	
第16回富士重工業	100,000,000	100,437,000	
第43回伊藤忠商事株式会社無担保社債	200,000,000	213,730,000	
第77回三菱商事株式会社無担保社債	300,000,000	303,585,000	
第3回株式会社みずほコーポレート銀行無担保社債	100,000,000	108,848,000	
第4回株式会社りそな銀行無担保社債	200,000,000	225,338,000	
第6回株式会社りそな銀行無担保社債	100,000,000	108,701,000	
第2回株式会社ふくおかフィナンシャルグループ無担保社債	100,000,000	101,410,000	
第7回住友信託銀行株式会社無担保社債	200,000,000	212,802,000	
第20回株式会社三井住友銀行無担保社債	200,000,000	221,396,000	
第14回株式会社みずほ銀行無担保社債	100,000,000	109,532,000	
第18回株式会社ホンダファイナンス無担保社債	300,000,000	302,583,000	
第99回三菱地所株式会社無担保社債	200,000,000	202,338,000	
第84回東武鉄道株式会社無担保社債	200,000,000	208,030,000	
第516回東京電力株式会社社債	100,000,000	97,269,000	
第555回東京電力株式会社社債	100,000,000	96,499,000	
第27回電源開発株式会社無担保社債	200,000,000	210,706,000	
社債券 小計	4,300,000,000	4,455,721,000	
合計	32,384,483,000	34,160,969,080	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

「外国株式マザーファンド（B号）」の状況

（1）貸借対照表

		（単位：円）	
		（平成24年 3月 6日現在）	（平成25年 3月 6日現在）
資産の部			
流動資産			
預金	1,671,707	5,285,986	
コール・ローン	22,704,293	62,668,802	
株式	1,886,596,529	1,956,133,043	
未収配当金	3,209,692	3,635,632	
未収利息	31	85	
流動資産合計	1,914,182,252	2,027,723,548	
資産合計	1,914,182,252	2,027,723,548	
負債の部			
流動負債			
未払解約金	1,930,000		
流動負債合計	1,930,000		
負債合計	1,930,000		
純資産の部			
元本等			
元本	2,199,792,475	1,836,488,266	
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）	287,540,223	191,235,282	
元本等合計	1,912,252,252	2,027,723,548	
純資産合計	1,912,252,252	2,027,723,548	
負債純資産合計	1,914,182,252	2,027,723,548	

（2）注記表

（重要な会計方針の注記）

項 目	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p>

	(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、配当落ち日において、確定配当金額または予想配当金額を計上しております。なお、配当金額が未確定の場合は、入金日基準で計上しております。
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。

## (追加情報)

自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## (貸借対照表に関する注記)

項目	(平成24年 3月 6日現在)	(平成25年 3月 6日現在)
1. 受益権総数	平成24年 3月 6日における受益権の総数 2,199,792,475口	平成25年 3月 6日における受益権の総数 1,836,488,266口
2. 元本の欠損	「投資信託財産の計算に関する規則」第55条の6第10号に規定する額 287,540,223円	
3. 1単位当たり純資産額	0.8693円 (1万口=8,693円)	1.1041円 (1万口=11,041円)

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	(1) 金融商品の内容 1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、株式を組み入れております。

	<p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。 当計算期間については、為替予約取引を行っております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>
<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する委員会をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用グループに是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用グループは、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用グループの対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用グループの担当役員およびリスク管理委員会へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する部会にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
<p>4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明</p>	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

・金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成25年 3月 6日現在)
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額</p>	<p>金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。</p>
<p>2. 時価の算定方法</p>	<p>(1) 有価証券（株式） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p>

	(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
--	---

## (デリバティブ取引に関する注記)

(平成24年3月6日現在)

該当事項はありません。

(平成25年3月6日現在)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

(自平成23年3月8日至平成24年3月6日)

該当事項はありません。

(自平成24年3月7日至平成25年3月6日)

該当事項はありません。

## (その他の注記)

(平成24年 3月 6日現在)

開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	2,396,121,387円
同期中における追加設定元本額	506,442,979円
同期中における一部解約元本額	702,771,891円
平成24年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	197,602,932円
三井住友・年金プラン50	862,614,827円
三井住友・年金プラン70	1,139,574,716円
合計	2,199,792,475円

(平成25年 3月 6日現在)

開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	2,199,792,475円
同期中における追加設定元本額	344,003,710円
同期中における一部解約元本額	707,307,919円
平成25年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	144,273,361円
三井住友・年金プラン50	600,550,239円
三井住友・年金プラン70	1,091,664,666円
合計	1,836,488,266円

## (3) 附属明細表

有価証券明細表



## (a)株式

銘柄	株数	評価額 単価	評価額 金額	備考
米ドル				
CHEVRON CORPORATION	4,105	117.93	484,102.65	
MARATHON PETROLEUM CORPORATION	1,734	88.75	153,892.50	
NATIONAL-OILWELL VARCO INC.	2,270	67.03	152,158.10	
SCHLUMBERGER LTD	2,710	76.95	208,534.50	
ULTRA PETROLEUM CORP	6,240	16.38	102,211.20	
WHITING PETROLEUM CORP	4,400	47.69	209,836.00	
DU PONT (E.I.) DE NEMOURS	3,418	48.68	166,388.24	
FREEMPORT-MCMORAN COPPER-B	2,643	31.54	83,360.22	
NUCOR CORP	1,120	45.41	50,859.20	
BOEING CO	567	78.66	44,600.22	
CATERPILLAR INC	1,730	90.21	156,063.30	
CUMMINS INC	830	116.45	96,653.50	
DANAHER CORP	2,560	62.22	159,283.20	
GENERAL ELECTRIC CO	22,234	23.59	524,500.06	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	2,370	70.68	167,511.60	
KBR, INC.	5,320	29.86	158,855.20	
LENNOX INTERNATIONAL INC	2,200	61.15	134,530.00	
SOUTHWEST AIRLINES	6,950	12.11	84,164.50	
FORD MOTOR COMPANY	23,672	12.87	304,658.64	
COACH INC	2,170	50.10	108,717.00	
PIER 1 IMPORTS INC	4,806	23.28	111,883.68	
MCDONALD'S CORPORATION	2,191	95.81	209,919.71	
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	4,487	34.70	155,698.90	
VIACOM INC-CLASS B	3,890	60.69	236,084.10	
AMAZON.COM INC	395	275.59	108,858.05	
LIMITED BRANDS	2,970	45.25	134,392.50	
LOWE'S COMPANIES INC	4,904	38.76	190,079.04	
BROWN-FORMAN CORPORATION	2,170	68.03	147,625.10	
COCA-COLA CO/THE	10,432	38.68	403,509.76	
CONSTELLATION BRANDS INC-A	1,864	44.14	82,276.96	
MONSTER BEVERAGE CORPORATION	3,124	49.05	153,232.20	
HERBALIFE LTD	2,755	40.74	112,238.70	
PROCTER & GAMBLE CO	3,242	77.05	249,796.10	
UNITEDHEALTH GROUP INC	5,245	53.50	280,607.50	
ALLERGAN INC	1,445	111.35	160,900.75	
MERCK & CO. INC.	4,400	43.25	190,300.00	
MYLAN INC	5,700	30.69	174,933.00	
PFIZER INC	13,934	28.07	391,127.38	
FIFTH THIRD BANCORP	12,360	16.02	198,007.20	
FIRST NIAGARA FINANCIAL GROUP INC	17,975	8.18	147,035.50	

SIGNATURE BANK	1,866	75.10	140,136.60	
WELLS FARGO & COMPANY	6,749	35.88	242,154.12	
AFFILIATED MANAGERS GROUP	1,240	149.15	184,946.00	
CITIGROUP INC	7,768	43.60	338,684.80	
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	5,258	40.58	213,369.64	
JPMORGAN CHASE & CO	4,714	49.49	233,295.86	
MORGAN STANLEY	6,250	22.74	142,125.00	
ACE LIMITED	1,670	86.75	144,872.50	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	4,206	38.25	160,879.50	
JONES LANG LASALLE INC	655	97.89	64,117.95	
CITRIX SYSTEMS INC	2,080	73.84	153,587.20	
GOOGLE INC-CL A	535	838.68	448,693.80	
MICROSOFT CORP	11,205	28.35	317,661.75	
RED HAT INC	2,952	51.99	153,474.48	
VISA INC	1,010	160.29	161,892.90	
APPLE INC	903	431.17	389,346.51	
AVAGO TECHNOLOGIES LTD.	3,696	34.33	126,883.68	
CISCO SYSTEMS INC	7,870	21.21	166,922.70	
EMC CORP/MASS	7,190	23.74	170,690.60	
QUALCOMM INC	4,445	67.97	302,126.65	
AT&T INC	6,080	36.60	222,528.00	
FRONTIER COMMUNICATIONS CORPORATION	22,988	4.10	94,250.80	
CALPINE CORP	6,910	19.30	133,363.00	
NEXTERA ENERGY INC	3,211	73.88	237,228.68	
SEMPRA ENERGY	2,199	79.53	174,886.47	
米ドル小計	331,182		12,507,505.15	
(邦貨換算額：円)			(1,164,949,029)	
カナダドル				
ENBRIDGE INC	3,320	45.89	152,354.80	
ENCANA CORP	6,110	18.23	111,385.30	
YAMANA GOLD INC	10,380	14.13	146,669.40	
BANK OF NOVA SCOTIA	4,320	61.32	264,902.40	
BCE INC	2,840	46.85	133,054.00	
カナダドル小計	26,970		808,365.90	
(邦貨換算額：円)			(73,351,121)	
オーストラリアドル				
WORLEY PARSONS LIMITED	3,070	25.60	78,592.00	
BHP BILLITON LTD	6,135	35.40	217,179.00	
ORICA LIMITED	1,219	25.96	31,645.24	
BRAMBLES LIMITED	6,400	8.46	54,144.00	
WOOLWORTHS LIMITED	2,510	35.15	88,226.50	
COCA-COLA AMATIL LIMITED	4,850	14.87	72,119.50	
CSL LIMITED	810	59.90	48,519.00	

AUST AND NZ BANKING GROUP LT	4,246	28.87	122,582.02	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	2,160	30.59	66,074.40	
WESTPAC BANKING CORPORATION	4,447	31.25	138,968.75	
SUNCORP GROUP LTD	4,533	11.39	51,630.87	
TELSTRA CORPORATION LIMITED	10,100	4.57	46,157.00	
オーストラリアドル小計	50,480		1,015,838.28	
(邦貨換算額:円)			(97,215,723)	
英ポンド				
BG GROUP PLC	6,070	11.70	71,049.35	
ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	6,590	22.64	149,230.55	
RIO TINTO PLC	5,340	34.38	183,615.90	
INTERTEK GROUP PLC	1,138	34.40	39,147.20	
INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC	2,780	19.63	54,571.40	
WPP PLC	5,640	10.80	60,912.00	
NEXT PLC	1,540	41.80	64,372.00	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	4,774	35.66	170,240.84	
TATE & LYLE PLC	12,423	8.40	104,353.20	
BARCLAYS PLC	33,900	3.07	104,225.55	
STANDARD CHARTERED PLC	9,356	18.37	171,916.50	
ABERDEEN ASSET MGMT PLC	11,322	4.34	49,239.37	
ICAP PLC	17,859	3.34	59,738.35	
VODAFONE GROUP PLC	106,191	1.68	179,038.02	
NATIONAL GRID PLC	11,470	7.35	84,361.85	
英ポンド小計	236,393		1,546,012.08	
(邦貨換算額:円)			(217,987,703)	
スイスフラン				
CIE FINANCIERE RICHEMONT SA-BR A	1,269	76.60	97,205.40	
ARYZTA AG	3,749	54.40	203,945.60	
NESTLE SA-REGISTERED	5,910	66.60	393,606.00	
NOVARTIS AG-REG SHS	2,970	65.20	193,644.00	
スイスフラン小計	13,898		888,401.00	
(邦貨換算額:円)			(87,960,583)	
香港ドル				
GALAXY ENTERTAINMENT GROUP LIMITED	9,000	30.80	277,200.00	
BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	18,500	25.95	480,075.00	
AIA GROUP LTD	11,200	33.50	375,200.00	
CHEUNG KONG HOLDINGS LTD	5,000	116.30	581,500.00	
WHARF HOLDINGS LTD	9,000	64.30	578,700.00	
CHEUNG KONG INFRASTRUCTURE	6,000	51.35	308,100.00	
香港ドル小計	58,700		2,600,775.00	
(邦貨換算額:円)			(31,235,307)	

シンガポールドル				
KEPPEL CORP LTD	6,500	11.54	75,010.00	
CYCLE & CARRIAGE LTD	2,000	52.18	104,360.00	
UNITED OVERSEAS BANK LTD	4,000	19.57	78,280.00	
CAPITALAND LTD	15,000	3.71	55,650.00	
シンガポールドル小計	27,500		313,300.00	
(邦貨換算額:円)			(23,441,106)	
スウェーデンクローナ				
ATLAS COPCO AB-A SHS	4,400	186.10	818,840.00	
VOLVO AB-B SHS	10,762	98.40	1,058,980.80	
ERICSSON LM-B SHS	3,700	82.05	303,585.00	
スウェーデンクローナ小計	18,862		2,181,405.80	
(邦貨換算額:円)			(31,848,524)	
ノルウェークローネ				
SEADRILL LID	1,730	214.10	370,393.00	
DNB ASA	7,186	88.50	635,961.00	
ノルウェークローネ小計	8,916		1,006,354.00	
(邦貨換算額:円)			(16,463,951)	
デンマーククローネ				
COLOPLAST-B	1,355	306.20	414,901.00	
デンマーククローネ小計	1,355		414,901.00	
(邦貨換算額:円)			(6,771,184)	
ユーロ				
TOTAL SA	3,910	39.00	152,490.00	
AIR LIQUIDE	1,248	95.81	119,570.88	
ANDRITZ AG	1,730	53.40	92,382.00	
COMPAGNIE DE SAINT-GOBAIN	1,357	30.48	41,368.14	
SCHNEIDER ELECTRIC SA	1,551	59.99	93,044.49	
SIEMENS AG-REG	1,203	81.15	97,623.45	
FIAT SPA	17,992	4.14	74,522.86	
PIRELLI & C.	12,100	8.85	107,145.50	
SANOFI	2,753	74.76	205,814.28	
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA	14,348	7.45	106,892.60	
BNP PARIBAS	3,240	43.73	141,701.40	
ALLIANZ SE-REG	1,333	106.70	142,231.10	
SCOR SE	5,995	22.21	133,178.92	
GSW IMMOBILIEN AG	1,940	31.20	60,528.00	
SAP AG	585	62.58	36,609.30	
ZIGGO NV	1,490	26.07	38,844.30	
GDF SUEZ	2,765	14.68	40,604.02	
ユーロ小計	75,540		1,684,551.24	

(邦貨換算額：円)			(204,908,812)	
合計	849,796		1,956,133,043	
(外貨建有価証券邦貨換算額合計：円)			(1,956,133,043)	

(注)金額欄の( )内は、外貨建有価証券にかかるもので、内書きであります。

通貨	銘柄数	組入株式時価比率	合計金額に対する比率
米ドル	株式 65銘柄	57.5%	59.6%
カナダドル	株式 5銘柄	3.6%	3.7%
オーストラリアドル	株式 12銘柄	4.8%	5.0%
英ポンド	株式 15銘柄	10.8%	11.1%
スイスフラン	株式 4銘柄	4.3%	4.5%
香港ドル	株式 6銘柄	1.5%	1.6%
シンガポールドル	株式 4銘柄	1.2%	1.2%
スウェーデンクローナ	株式 3銘柄	1.6%	1.6%
ノルウェークローネ	株式 2銘柄	0.8%	0.8%
デンマーククローネ	株式 1銘柄	0.3%	0.3%
ユーロ	株式 17銘柄	10.1%	10.5%

(b)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「外国債券マザーファンド(B号)」の状況

(1)貸借対照表

(単位：円)

(平成24年 3月 6日現在) (平成25年 3月 6日現在)

資産の部		
流動資産		
預金	26,254,102	14,948,729
コール・ローン	36,587,361	62,457,488
国債証券	1,856,466,796	1,587,202,663
地方債証券		37,738,751
特殊債券	22,235,624	
派生商品評価勘定	848,976	3,544,230
未収入金	13,350,562	3,242,790
未収利息	16,730,989	14,577,949
前払費用	3,241,455	1,498,322
流動資産合計	1,975,715,865	1,725,210,922
資産合計	1,975,715,865	1,725,210,922
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,240,804	3,992,656
未払金	24,745,885	3,586,060

未払解約金	3,785,000	
流動負債合計	29,771,689	7,578,716
負債合計	29,771,689	7,578,716
純資産の部		
元本等		
元本	1,050,248,352	794,596,787
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	895,695,824	923,035,419
元本等合計	1,945,944,176	1,717,632,206
純資産合計	1,945,944,176	1,717,632,206
負債純資産合計	1,975,715,865	1,725,210,922

## (2) 注記表

## (重要な会計方針の注記)

項目	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券は個別法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。</p>

## (追加情報)

自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
<p>当計算期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

項目	(平成24年 3月 6日現在)	(平成25年 3月 6日現在)

1. 受益権総数	平成24年 3月 6日における受益権 の総数  1,050,248,352口	平成25年 3月 6日における受益権 の総数  794,596,787口
2. 1 単位当たり純資産額	1.8528円 ( 1 万口 = 18,528円 )	2.1616円 ( 1 万口 = 21,616円 )

## (金融商品に関する注記)

## . 金融商品の状況に関する事項

項目	自 平成24年 3月 7日 至 平成25年 3月 6日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	(1) 金融商品の内容 1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当計算期間については、国債証券、地方債証券を組み入れております。 2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。 当計算期間については、為替予約取引を行っております。 3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 (2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。

3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する委員会をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用グループに是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用グループは、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用グループの対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用グループの担当役員およびリスク管理委員会へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する部会にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

・金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成25年 3月 6日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券（国債証券、地方債証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。</p> <p>(2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(デリバティブ取引に関する注記)

(平成24年3月6日現在)

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引  
通貨関連

(単位：円)



区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	スイスフラン	10,075,512		10,732,800	657,288
	ユーロ	7,355,712		7,547,400	191,688
	小計	17,431,224		18,280,200	848,976
	売建				
	米ドル	17,513,396		18,754,200	1,240,804
小計	17,513,396		18,754,200	1,240,804	
合計		34,944,620		37,034,400	391,828

## (注) 時価の算定方法

為替予約取引の時価の算定方法について

1. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しています。
 

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しています。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっています。

  - ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている対顧客先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いています。
  - ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い受渡日として、発表されている対顧客先物相場の仲値を用いています。
2. 計算期間末日において対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しています。

## 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

(平成25年3月6日現在)

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引  
通貨関連

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	スイスフラン	7,049,824		7,920,800	870,976
	メキシコペソ	16,734,690		19,304,200	2,569,510
	ユーロ	17,833,340		17,029,600	803,740
	小計	41,617,854		44,254,600	2,636,746
	売建				
	米ドル	32,292,374		34,458,100	2,165,726
	ユーロ	6,378,954		7,298,400	919,446
小計	38,671,328		41,756,500	3,085,172	
合計		80,289,182		86,011,100	448,426

## (注) 時価の算定方法

## 為替予約取引の時価の算定方法について

1. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しています。
  - 計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しています。
  - 計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっています。
    - ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている対顧客先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いています。
    - ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い受渡日として、発表されている対顧客先物相場の仲値を用いています。
2. 計算期間末日において対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しています。

## 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

## ( 関連当事者との取引に関する注記 )

( 自 平成23年3月8日 至 平成24年3月6日 )

該当事項はありません。

( 自 平成24年3月7日 至 平成25年3月6日 )

該当事項はありません。

## ( その他の注記 )

( 平成24年 3月 6日現在 )

開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	1,186,371,491円
同期中における追加設定元本額	195,473,794円
同期中における一部解約元本額	331,596,933円
平成24年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	108,629,194円
三井住友・年金プラン50	260,952,821円
三井住友・年金プラン70	251,763,447円
バランスファンドV A (安定運用型) < 適格機関投資家限定 >	428,902,890円
合 計	1,050,248,352円

( 平成25年 3月 6日現在 )

開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	1,050,248,352円
同期中における追加設定元本額	44,773,202円
同期中における一部解約元本額	300,424,767円
平成25年 3月 6日現在の元本の内訳	
三井住友・年金プラン30	65,016,222円

三井住友・年金プラン50	162,753,984円
三井住友・年金プラン70	223,063,267円
バランスファンドV A(安定運用型) <適格機関投資家限定>	343,763,314円
合計	794,596,787円

## (3) 附属明細表

## 有価証券明細表

## (a) 株式

該当事項はありません。

## (b) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	米ドル	US TREASURY N/B 0.125	70,000	70,000.00	
		US TREASURY N/B 1	570,000	574,052.34	
		US TREASURY N/B 1	800,000	814,750.00	
		US TREASURY N/B 1.625	80,000	78,287.50	
		US TREASURY N/B 2.125	290,000	302,075.78	
		US TREASURY N/B 2.375	460,000	474,626.56	
		US TREASURY N/B 2.5	1,880,000	1,967,390.62	
		US TREASURY N/B 3.125	20,000	22,521.87	
		US TREASURY N/B 3.25	1,080,000	1,180,321.88	
		US TREASURY N/B 3.625	30,000	34,886.71	
		US TREASURY N/B 3.75	160,000	185,150.00	
		US TREASURY N/B 3.75	520,000	589,428.12	
		US TREASURY N/B 4.25	550,000	639,976.56	
		US TREASURY N/B 4.5	60,000	76,368.75	
		US TREASURY N/B 6.125	190,000	276,568.75	
				米ドル小計 (邦貨換算額:円)	6,760,000
カナダドル	カナダドル	CANADA-GOV'T 4	160,000	178,092.80	
		CANADA-GOV'T 8	30,000	51,349.20	
		CANADA-GOV'T 9	30,000	52,509.00	
		カナダドル小計 (邦貨換算額:円)	220,000	281,951.00 (25,584,233)	
オーストラリアドル	オーストラリアドル	AUSTRALIAN GOVT. 5.25	70,000	78,594.25	
		オーストラリアドル小計 (邦貨換算額:円)	70,000	78,594.25 (7,521,469)	
英ポンド	英ポンド	TREASURY 4.25	290,000	344,154.60	
		TREASURY 4.5	100,000	119,640.00	
		TREASURY 5	60,000	64,290.00	
		TREASURY 5	130,000	156,312.00	
		TREASURY 6	100,000	144,228.00	
		TREASURY 8	30,000	44,714.10	

英ポンド小計 (邦貨換算額：円)		710,000	873,338.70 (123,140,756)	
シンガポ ールドル	SINGAPORE GOV'T 3.25	120,000	137,694.72	
	SINGAPORE GOV'T 3.625	50,000	52,257.95	
シンガポールドル小計 (邦貨換算額：円)		170,000	189,952.67 (14,212,258)	
スウェーデ ンクローナ	SWEDISH GOVRNMNT 4.25	770,000	881,780.90	
スウェーデンクローナ小計 (邦貨換算額：円)		770,000	881,780.90 (12,874,001)	
ノルウェー クローネ	NORWEGIAN GOV'T 5	520,000	559,624.00	
ノルウェークローネ小計 (邦貨換算額：円)		520,000	559,624.00 (9,155,448)	
デンマーク クローネ	DENMARK - BULLET 4	880,000	973,350.40	
デンマーククローネ小計 (邦貨換算額：円)		880,000	973,350.40 (15,885,078)	
メキシコペ ソ	MEXICAN BONOS 8	1,750,000	2,105,481.00	
メキシコペソ小計 (邦貨換算額：円)		1,750,000	2,105,481.00 (15,475,285)	
ポーランド ズロチ	POLAND GOVT BOND 5.25	420,000	447,930.00	
ポーランドズロチ小計 (邦貨換算額：円)		420,000	447,930.00 (13,209,455)	
ユーロ	BELGIAN 0309 4	70,000	79,016.00	
	BELGIAN 0316 3.5	30,000	31,979.40	
	BELGIAN 0318 3.75	330,000	378,856.50	
	BTPS 3.75	590,000	609,175.00	
	BTPS 4.25	220,000	223,064.60	
	BTPS 4.25	1,330,000	1,376,057.90	
	BTPS 4.5	370,000	381,285.00	
	BTPS 4.5	270,000	263,749.50	
	BTPS 5	250,000	244,287.50	
	DEUTSCHLAND REP 1.75	80,000	82,816.00	
	DEUTSCHLAND REP 3.25	420,000	488,220.60	
	DEUTSCHLAND REP 4.75	300,000	428,175.00	
	FRANCE O.A.T. 2.5	90,000	95,872.50	
	FRANCE O.A.T. 4	290,000	335,118.20	
	FRANCE O.A.T. 5.5	260,000	351,013.00	
	NETHERLANDS GOVT 4.5	130,000	151,609.90	
ユーロ小計 (邦貨換算額：円)		5,030,000	5,520,296.60 (671,488,878)	
国債証券合計			1,587,202,663 (1,587,202,663)	

地方債証券	カナダドル	ONTARIO PROVINCE 3.15	200,000	207,794.00	
	カナダドル小計 (邦貨換算額：円)		200,000	207,794.00 (18,855,227)	
	オーストラリアドル	NSWTC-DOMESTIC 3.5	200,000	197,320.00	
	オーストラリアドル小計 (邦貨換算額：円)		200,000	197,320.00 (18,883,524)	
	地方債証券合計			37,738,751 (37,738,751)	
合計				1,624,941,414	
(外貨建有価証券邦貨換算額合計：円)				(1,624,941,414)	

(注) 金額欄の( )内は、外貨建有価証券にかかるもので、内書きであります。

通貨	銘柄数		組入債券時価比率	合計金額に対する比率
米ドル	国債証券	15銘柄	39.5%	41.8%
カナダドル	国債証券	3銘柄	1.5%	2.7%
	地方債証券	1銘柄	1.1%	
オーストラリアドル	国債証券	1銘柄	0.4%	1.6%
	地方債証券	1銘柄	1.1%	
英ポンド	国債証券	6銘柄	7.2%	7.6%
シンガポールドル	国債証券	2銘柄	0.8%	0.9%
スウェーデンクローナ	国債証券	1銘柄	0.7%	0.8%
ノルウェークローネ	国債証券	1銘柄	0.5%	0.6%
デンマーククローネ	国債証券	1銘柄	0.9%	1.0%
メキシコペソ	国債証券	1銘柄	0.9%	1.0%
ポーランドズロチ	国債証券	1銘柄	0.8%	0.8%
ユーロ	国債証券	16銘柄	39.1%	41.3%

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「(デリバティブ取引に関する注記)」に同様の内容が記載されているため、省略しております。

## 2【ファンドの現況】

### 【純資産額計算書】

#### a. 三井住友・年金プラン30

平成25年4月30日現在

資産総額	1,448,614,473 円
負債総額	23,645,565 円
純資産総額 ( - )	1,424,968,908 円
発行済口数	1,209,273,788 口
1口当たり純資産額 ( / )	1.1784 円
( 1万口当たり純資産額	11,784 円)

#### b. 三井住友・年金プラン50

平成25年4月30日現在

資産総額	3,117,288,418 円
負債総額	43,260,457 円
純資産総額（ - ）	3,074,027,961 円
発行済口数	2,767,936,377 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.1106 円
（ 1万口当たり純資産額	11,106 円）

## c . 三井住友・年金プラン70

平成25年4月30日現在

資産総額	5,874,959,748 円
負債総額	114,676,150 円
純資産総額（ - ）	5,760,283,598 円
発行済口数	5,638,483,901 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0216 円
（ 1万口当たり純資産額	10,216 円）

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、ファンドの受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であつて、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券は発行されません。

## イ 名義書換

該当事項はありません。

## ロ 受益者名簿

作成しません。

## ハ 受益者に対する特典

ありません。

## ニ 受益権の譲渡および譲渡制限等

## (イ) 受益権の譲渡

- a . 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとし、
- b . 上記 a の申請のある場合には、上記 a の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとし、ただし、上記 a の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定に従い、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとし、
- c . 上記 a の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（ロ）受益権の譲渡制限および譲渡の対抗要件

譲渡制限はありません。ただし、受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

ホ 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議の上、社振法に定めるところに従い、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

ヘ 償還金

償還金は、原則として、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。

ト 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等に従って取り扱われます。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

##### イ 資本金の額および株式数

	平成25年4月30日現在
資本金の額	2,000百万円
会社が発行する株式の総数	60,000株
発行済株式総数	17,640株

##### ロ 最近5年間における資本金の額の増減

該当ありません。

##### ハ 会社の機構

委託会社の取締役は7名以内とし、株主総会で選任されます。取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとし、

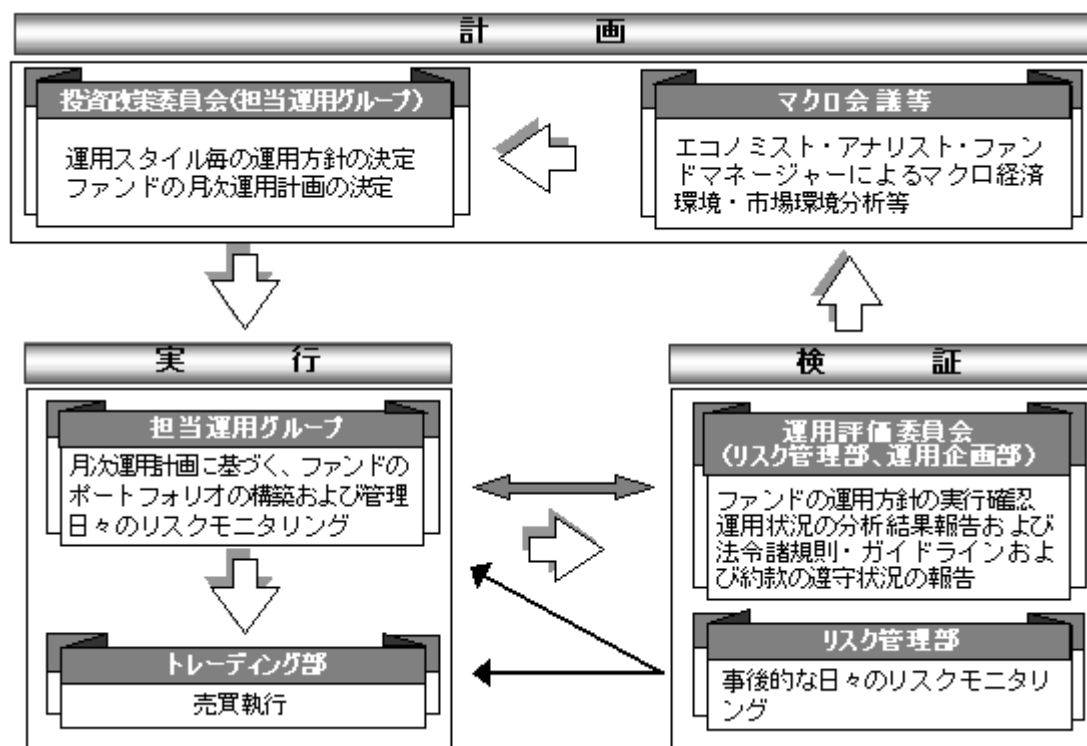
取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとし、補欠または増員によって選任された取締役の任期は、他の現任取締役の任期の満了する時までとします。

委託会社の業務上重要な事項は、取締役会の決議により決定します。

取締役会は、取締役会の決議によって、代表取締役を若干名を選定します。

また、取締役会の決議によって、取締役社長を1名選定し、必要に応じて取締役会長1名のほか、取締役副社長、専務取締役、常務取締役を若干名選定することができます。

##### ニ 投資信託の運用の流れ





## 2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

平成25年4月30日現在、委託会社が運用を行っている投資信託（親投資信託は除きます）は、以下の通りです。

（平成25年4月30日現在、単位：百万円）

		本数	純資産総額
株式投資信託	単位型	16 ( 5 )	62,745 ( 29,007 )
	追加型	351 ( 149 )	5,773,231 ( 3,556,228 )
	計	367 ( 154 )	5,835,977 ( 3,585,235 )
公社債投資信託	単位型	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	追加型	4 ( 1 )	265,351 ( 181,062 )
	計	4 ( 1 )	265,351 ( 181,062 )
合計		371 ( 155 )	6,101,328 ( 3,766,297 )

( ) 内は、私募投資信託分であり、内書き表記しております。

### 3【委託会社等の経理状況】

1 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2 当社は、第26期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）及び第27期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の監査を受けており、第28期中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の中間財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の中間監査を受けております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

		第 26 期 (平成23年3月31日)	第 27 期 (平成24年3月31日)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	2	17,127,600	15,970,870
有価証券		3,999,722	3,999,305
前払費用		264,910	259,411
未収入金		607,623	32,426
未収委託者報酬		3,712,698	3,392,765
未収運用受託報酬		326,523	305,910
未収投資助言報酬	2	412,606	452,618
未収収益		27,051	14,092
繰延税金資産		241,975	155,946
その他の流動資産		1,299	9,011
流動資産計		26,722,012	24,592,358
固定資産			
有形固定資産			
有形固定資産	1		
建物		148,698	130,525
器具備品		232,209	201,264
有形固定資産合計		380,907	331,789
無形固定資産			
無形固定資産	1		
ソフトウェア		-	241,251
ソフトウェア仮勘定		-	32,852
電話加入権		138	126
商標権		4,216	2,271
無形固定資産合計		4,354	276,502
投資その他の資産			
投資有価証券		4,980,828	6,720,330
関係会社株式		234,921	234,921
長期差入保証金		681,432	681,196
長期前払費用		10,561	16,958
会員権		20,113	9,480
繰延税金資産		606,449	589,332
投資その他の資産合計		6,534,307	8,252,219
固定資産計		6,919,569	8,860,511
資産合計		33,641,581	33,452,870

	第 26 期 (平成23年3月31日)	第 27 期 (平成24年3月31日)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	47,190	47,840
未払金		
未払収益分配金	681	403
未払償還金	21,638	106,771
未払手数料	2 1,971,626	1,893,658
その他未払金	64,551	86,141
未払費用	824,240	930,998
未払消費税等	126,666	35,683
未払法人税等	1,004,164	264,114
賞与引当金	327,914	279,981
その他の流動負債	-	10
流動負債計	4,388,674	3,645,603
固定負債		
退職給付引当金	1,310,821	1,489,315
固定負債計	1,310,821	1,489,315
負債合計	5,699,496	5,134,919
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金		
資本準備金	8,628,984	8,628,984
資本剰余金合計	8,628,984	8,628,984
利益剰余金		
利益準備金	284,245	284,245
その他利益剰余金		
配当準備積立金	60,000	60,000
別途積立金	1,476,959	1,476,959
繰越利益剰余金	15,381,398	15,791,435
利益剰余金合計	17,202,602	17,612,639
株主資本計	27,831,586	28,241,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,498	76,327
評価・換算差額等計	110,498	76,327
純資産合計	27,942,085	28,317,951
負債・純資産合計	33,641,581	33,452,870

## （２）【損益計算書】

（単位：千円）

	第 26 期 （自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日）	第 27 期 （自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日）
営業収益		
委託者報酬	27,350,519	25,467,198
運用受託報酬	2,113,027	2,001,039
投資助言報酬	1,828,087	1,743,437
その他営業収益		
情報提供コンサルタント業務報酬	5,000	5,000
投資法人運用受託報酬	35,635	31,647
サービス支援手数料	234,885	99,134
その他	26,930	48,776
営業収益計	31,594,086	29,396,234
営業費用		
支払手数料	14,161,927	13,259,090
広告宣伝費	482,728	475,028
公告費	4,634	4,092
調査費		
調査費	537,254	503,839
委託調査費	2,115,042	2,285,064
営業雑経費		
通信費	34,433	35,155
印刷費	266,803	199,733
協会費	23,235	28,233
諸会費	11,346	12,025
情報機器関連費	2,066,205	1,855,475
販売促進費	27,670	28,021
その他	79,571	123,714
営業費用計	19,810,852	18,809,475
一般管理費		
給料		
役員報酬	155,867	154,738
給料・手当	4,342,937	4,427,312
賞与	983,434	937,970
賞与引当金繰入額	327,914	279,981
交際費	21,460	20,938
寄付金	31	10,026
事務委託費	220,738	245,311
旅費交通費	219,278	230,691
租税公課	87,674	80,136
不動産賃借料	677,468	683,098
退職給付費用	199,545	205,957
固定資産減価償却費	100,356	170,410
諸経費	250,817	268,760
一般管理費計	7,587,526	7,715,334

営業利益		4,195,707	2,871,423
営業外収益			
受取配当金		34,115	29,042
有価証券利息		3,603	3,731
受取利息	1	7,877	5,916
為替差益		4,753	-
時効成立分配金・償還金		3,076	3,563
原稿・講演料		3,485	2,745
還付加算金		1,645	-
雑収入		7,033	5,096
営業外収益計		65,590	50,095
営業外費用			
為替差損		-	15,834
時効成立後支払分配金・償還金		659	-
営業外費用計		659	15,834
経常利益		4,260,638	2,905,684
特別利益			
投資有価証券償還益		7	-
投資有価証券売却益		71,400	13,806
受取和解金		-	108,451
特別利益計		71,407	122,258
特別損失			
固定資産除却損	2	17,318	12,873
投資有価証券償還損		2,679	3,180
投資有価証券評価損		-	301
投資有価証券売却損		20,822	6,578
関係会社株式評価損		1,256	-
ゴルフ会員権評価損		-	10,633
特別損失計		42,077	33,566
税引前当期純利益		4,289,968	2,994,376
法人税、住民税及び事業税		1,852,053	1,195,768
法人税等調整額		93,549	136,130
法人税等合計		1,758,503	1,331,898
当期純利益		2,531,465	1,662,477

## （ 3 ） 【 株主資本等変動計算書 】

（ 単位：千円 ）

	第 26 期 （ 自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日 ）	第 27 期 （ 自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日 ）
株主資本		
資本金		
当期首残高	2,000,000	2,000,000
当期末残高	2,000,000	2,000,000
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	8,628,984	8,628,984
当期末残高	8,628,984	8,628,984
資本剰余金合計		
当期首残高	8,628,984	8,628,984
当期末残高	8,628,984	8,628,984
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	284,245	284,245
当期末残高	284,245	284,245
その他利益剰余金		
配当準備積立金		
当期首残高	60,000	60,000
当期末残高	60,000	60,000
別途積立金		
当期首残高	1,476,959	1,476,959
当期末残高	1,476,959	1,476,959
繰越利益剰余金		
当期首残高	14,172,932	15,381,398
当期変動額		
剰余金の配当	1,323,000	1,252,440
当期純利益	2,531,465	1,662,477
当期変動額合計	1,208,465	410,037
当期末残高	15,381,398	15,791,435
利益剰余金合計		
当期首残高	15,994,137	17,202,602
当期変動額		
剰余金の配当	1,323,000	1,252,440
当期純利益	2,531,465	1,662,477
当期変動額合計	1,208,465	410,037
当期末残高	17,202,602	17,612,639
株主資本合計		
当期首残高	26,623,121	27,831,586
当期変動額		
剰余金の配当	1,323,000	1,252,440
当期純利益	2,531,465	1,662,477

当期変動額合計	1,208,465	410,037
当期末残高	27,831,586	28,241,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	82,556	110,498
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	27,941	34,170
当期変動額合計	27,941	34,170
当期末残高	110,498	76,327
評価・換算差額合計		
当期首残高	82,556	110,498
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	27,941	34,170
当期変動額合計	27,941	34,170
当期末残高	110,498	76,327
純資産合計		
当期首残高	26,705,677	27,942,085
当期変動額		
剰余金の配当	1,323,000	1,252,440
当期純利益	2,531,465	1,662,477
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	27,941	34,170
当期変動額合計	1,236,407	375,866
当期末残高	27,942,085	28,317,951



## 重要な会計方針

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

#### (1) 満期保有目的の債券

償却原価法

#### (2) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

#### (3) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

定率法によっております。但し、建物(建物附属設備を除く)については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3～50年

器具備品 3～20年

#### (2) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

### 3. 引当金の計上基準

#### (1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

#### (2) 退職給付引当金

従業員の退職金支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。

過去勤務債務については、その発生時において一時に費用処理しております。

数理計算上の差異については、その発生時において一時に費用処理しております。

### 4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

## 追加情報

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 注 記 事 項

## (貸借対照表関係)

第26期 (平成23年3月31日)	第27期 (平成24年3月31日)
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建 物 191,415千円</p> <p>器具備品 774,482千円</p> <p>無形固定資産の減価償却累計額</p> <p>電話加入権 95千円</p> <p>商標権 15,226千円</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建 物 210,710千円</p> <p>器具備品 624,552千円</p> <p>無形固定資産の減価償却累計額</p> <p>ソフトウェア 127,910千円</p> <p>電話加入権 107千円</p> <p>商標権 17,170千円</p>
<p>2 関係会社に対する債権債務</p> <p>現金及び預金 11,201,422千円</p> <p>未収投資助言報酬 293,061千円</p> <p>未払手数料 469,104千円</p>	<p>2 関係会社に対する債権債務</p> <p>現金及び預金 10,360,214千円</p> <p>未収投資助言報酬 283,244千円</p> <p>未払手数料 436,830千円</p>
<p>3 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。</p> <p>当事業年度末における当座貸越契約に係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <p>当座貸越極度額の総額 10,000,000千円</p> <p>借入実行残高 - 千円</p> <p>差引額 10,000,000千円</p>	<p>3 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。</p> <p>当事業年度末における当座貸越契約に係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。</p> <p>当座貸越極度額の総額 10,000,000千円</p> <p>借入実行残高 - 千円</p> <p>差引額 10,000,000千円</p>
<p>4 当社は、子会社であるSumitomo Mitsui Asset Management(New York)Inc.における賃貸借契約に係る賃借料に対し、平成27年6月までの賃借料総額74,617千円の支払保証を行っております。</p>	<p>4 当社は、子会社であるSumitomo Mitsui Asset Management(New York)Inc.における賃貸借契約に係る賃借料に対し、平成27年6月までの賃借料総額56,653千円の支払保証を行っております。</p>

## (損益計算書関係)

第26期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	第27期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
<p>1 関係会社との取引に係るもの</p> <p>受取利息 3,867千円</p>	<p>1 関係会社との取引に係るもの</p> <p>受取利息 2,455千円</p>
<p>2 固定資産除却損は、建物9,847千円、器具備品7,471千円であります。</p>	<p>2 固定資産除却損は、器具備品12,873千円でありませす。</p>

(株主資本等変動計算書関係)

第26期(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

## 1. 発行済株式数に関する事項

	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	17,640株	-	-	17,640株

## 2. 剰余金の配当に関する事項

## (1) 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,323,000	75,000	平成22年 3月31日	平成22年 6月25日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌事業年度になるもの

平成23年6月24日開催の第26回定時株主総会において次の通り付議いたします。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,252,440	71,000	平成23年 3月31日	平成23年 6月27日

第27期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

## 1. 発行済株式数に関する事項

	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	17,640株	-	-	17,640株

## 2. 剰余金の配当に関する事項

## (1) 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,252,440	71,000	平成23年 3月31日	平成23年 6月27日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌事業年度になるもの

平成24年6月25日開催の第27回定時株主総会において次の通り付議いたします。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	829,080	47,000	平成24年 3月31日	平成24年 6月26日

## (リース取引関係)

第26期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	第27期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
1.オペレーティング・リース取引 (借主側) 未経過リース料(解約不能のもの)(単位:千円) 1年以内           672,700 1年超             958,593 合計               1,631,293	1.オペレーティング・リース取引 (借主側) 未経過リース料(解約不能のもの)(単位:千円) 1年以内           672,641 1年超             286,301 合計               958,942

## (金融商品関係)

## 1.金融商品の状況に関する事項

## (1)金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融サービス事業を行っています。そのため、資金運用については、短期的で安全性の高い金融資産に限定し、財務体質の健全性、安全性、流動性の確保を第一とし、顧客利益に反しない運用を行っています。また、資金調達及びデリバティブ取引は行っていません。

## (2)金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収運用受託報酬及び未収投資助言報酬は、顧客の信用リスクに晒されています。未収委託者報酬は、信託財産中から支弁されるものであり、信託財産については受託者である信託銀行において分別管理されているため、リスクは僅少となっています。

有価証券及び投資有価証券については、主に満期保有目的の債券及び事業推進目的のために保有する当社が設定する投資信託等であり、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されています。関係会社株式については、全額出資の海外子会社の株式であり、発行体の信用リスクに晒されています。また、長期差入保証金は、建物等の賃借契約に関連する敷金等であり、差入先の信用リスクに晒されています。

営業債務である未払手数料は、すべて1年以内の支払期日であります。

## (3)金融商品に係るリスク管理体制

## 信用リスクの管理

当社は、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、営業債権について、取引先毎の期日管理及び残高管理を行うとともに、その状況について取締役会に報告しています。

満期保有目的の債券は、余資運用規則に基づき、短期の国債のみを対象としているため、信用リスクは僅少であります。

有価証券、投資有価証券及び子会社株式は発行体の信用リスクについて、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、定期的に管理を行い、その状況について取締役会に報告しています。

長期差入保証金についても、差入先の信用リスクについて、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、定期的に管理を行い、その状況について取締役会に報告しています。

## 市場リスクの管理

有価証券及び投資有価証券については、自己勘定資産の運用・管理に関する規程に従い、各所管部においては所管する有価証券について管理を、総務人事部においては総合的なリスク管理を行い、定期的に時価を把握しています。また、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、その状況について取締役会に報告しています。

なお、事業推進目的のために保有する当社が設定する投資信託等については、純資産額に対する保有制限を設けており、また、自社設定投信等の取得・処分に関する規則に従い、定期的に取締役会において報告し、投資家の資金性格、金額、および投資家数等の状況から検討した結果、目的が達成されたと判断した場合には速やかに処分することとしています。

## (4)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格及び業界団体が公表する売買参考統計値等に基づく価額のほか、これらの価額がない場合には合理的に算定された価額が含まれています。当該価額の算定においては一定の前提条件を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることがあります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

第26期(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

平成23年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれていません（（注2）参照）。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	17,127,600	17,127,600	-
(2)未収委託者報酬	3,712,698	3,712,698	-
(3)未収運用受託報酬	326,523	326,523	-
(4)未収投資助言報酬	412,606	412,606	-
(5)有価証券及び投資有価証券			
満期保有目的の債券	3,999,722	3,999,600	122
その他有価証券	4,932,087	4,932,087	-
(6)長期差入保証金	681,432	681,432	-
資産計	31,192,671	31,192,549	122
(1)未払金			
未払手数料	1,971,626	1,971,626	-
負債計	1,971,626	1,971,626	-

(注1)金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(2)未収委託者報酬、(3)未収運用受託報酬及び(4)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(5)有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、債券については業界団体が公表する売買参考統計値等によって、投資信託等については取引所の価格、取引金融機関から提示された価格及び公表されている基準価格によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6)長期差入保証金

これらの時価については、敷金の性質及び賃貸借契約の期間から帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

負債

## (1)未払金

## 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
その他有価証券	
非上場株式	298
投資証券	48,443
合計	48,741
子会社株式	
非上場株式	234,921
合計	234,921

その他有価証券については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであり、「(5) その他有価証券」には含めておりません。

子会社株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであることから、時価開示の対象とはしておりません。また、上記の表中にある「貸借対照表計上額」は、減損処理後の帳簿価額です。当事業年度における減損処理額は、1,256千円です。

(注3)金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

区分	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	17,127,600	-	-	-
未収委託者報酬	3,712,698	-	-	-
未収運用受託報酬	326,523	-	-	-
未収投資助言報酬	412,606	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券	4,000,000	-	-	-
その他有価証券のうち				
満期があるもの	-	-	-	-
長期差入保証金	13,841	667,590	-	-
合計	25,593,271	667,590	-	-

第27期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

平成24年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれていません（（注2）参照）。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	15,970,870	15,970,870	-
(2)未収委託者報酬	3,392,765	3,392,765	-
(3)未収運用受託報酬	305,910	305,910	-
(4)未収投資助言報酬	452,618	452,618	-
(5)有価証券及び投資有価証券			
満期保有目的の債券	3,999,305	3,999,200	105
その他有価証券	6,671,589	6,671,589	-
(6)長期差入保証金	681,196	681,196	-
資産計	31,474,256	31,474,150	105
(1)未払金			
未払手数料	1,893,658	1,893,658	-
負債計	1,893,658	1,893,658	-

(注1)金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

#### 資産

(1)現金及び預金、(2)未収委託者報酬、(3)未収運用受託報酬及び(4)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(5)有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、債券については業界団体が公表する売買参考統計値等によって、投資信託等については取引所の価格、取引金融機関から提示された価格及び公表されている基準価格によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6)長期差入保証金

これらの時価については、敷金の性質及び賃貸借契約の期間から帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

負債

## (1)未払金

未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
その他有価証券	
非上場株式	298
投資証券	48,443
合計	48,741
子会社株式	
非上場株式	234,921
合計	234,921

その他有価証券については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであり、「(5) その他有価証券」には含めておりません。

子会社株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであることから、時価開示の対象とはしておりません。

(注3)金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

区分	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	15,970,870	-	-	-
未収委託者報酬	3,392,765	-	-	-
未収運用受託報酬	305,910	-	-	-
未収投資助言報酬	452,618	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券	4,000,000	-	-	-
その他有価証券のうち				
満期があるもの	-	-	-	-
長期差入保証金	13,877	667,318	-	-
合計	24,136,043	667,318	-	-



(有価証券関係)

第26期(平成23年3月31日)

## 1.満期保有目的の債券

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)貸借対照表日の時価が貸借対照表計上額を超えるもの	-	-	-
小計	-	-	-
(2)貸借対照表日の時価が貸借対照表計上額を超えないもの	3,999,722	3,999,600	122
小計	3,999,722	3,999,600	122
合計	3,999,722	3,999,600	122

## 2.子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式234,921千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。また、上記「貸借対照表計上額」は、減損処理後の帳簿価額です。当事業年度における減損処理額は、1,256千円です。

## 3.その他有価証券

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
(1)貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 投資信託等	3,047,395	2,801,036	246,358
小計	3,047,395	2,801,036	246,358
(2)貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 投資信託等	1,884,692	1,950,168	65,476
小計	1,884,692	1,950,168	65,476
合計	4,932,087	4,751,205	180,882

(注)非上場株式等（貸借対照表計上額 48,741千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

## 4.当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：千円)

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
4,845,387	71,400	20,822

第27期(平成24年3月31日)

## 1.満期保有目的の債券

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)貸借対照表日の時価が貸借対照表計上額を超えるもの	-	-	-
小計	-	-	-
(2)貸借対照表日の時価が貸借対照表計上額を超えないもの	3,999,305	3,999,200	105
小計	3,999,305	3,999,200	105
合計	3,999,305	3,999,200	105

## 2.子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式234,921千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

## 3.その他有価証券

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
(1)貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 投資信託等	4,635,097	4,387,713	247,384
小計	4,635,097	4,387,713	247,384
(2)貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 投資信託等	2,036,491	2,170,148	133,657
小計	2,036,491	2,170,148	133,657
合計	6,671,589	6,557,862	113,727

(注)非上場株式等（貸借対照表計上額 48,741千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。また、上記「貸借対照表計上額」は、減損処理後の帳簿価額です。当事業年度における減損処理額は、301千円です。

## 4.当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：千円)

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
1,012,727	13,806	6,578

(デリバティブ取引関係)

当社は、デリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

(退職給付関係)

第26期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	第27期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)																				
<p>1. 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。</p>	<p>1. 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。</p>																				
<p>2. 退職給付債務の額 (単位：千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">退職給付債務</td> <td style="text-align: right;">1,310,821</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,310,821</td> </tr> </table>	退職給付債務	1,310,821	退職給付引当金	1,310,821	<p>2. 退職給付債務の額 (単位：千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">退職給付債務</td> <td style="text-align: right;">1,489,315</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,489,315</td> </tr> </table>	退職給付債務	1,489,315	退職給付引当金	1,489,315												
退職給付債務	1,310,821																				
退職給付引当金	1,310,821																				
退職給付債務	1,489,315																				
退職給付引当金	1,489,315																				
<p>3. 退職給付費用の額 (単位：千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">勤務費用</td> <td style="text-align: right;">160,751</td> </tr> <tr> <td>利息費用</td> <td style="text-align: right;">17,066</td> </tr> <tr> <td>数理計算上の差異の費用処理額</td> <td style="text-align: right;">6,439</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">15,287</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">199,545</td> </tr> </table> <p>(注)その他は、その他の関係会社からの出向者の年金掛金負担分と退職給付引当額相当額負担分になります。</p>	勤務費用	160,751	利息費用	17,066	数理計算上の差異の費用処理額	6,439	その他	15,287	退職給付費用	199,545	<p>3. 退職給付費用の額 (単位：千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">勤務費用</td> <td style="text-align: right;">167,222</td> </tr> <tr> <td>利息費用</td> <td style="text-align: right;">19,662</td> </tr> <tr> <td>数理計算上の差異の費用処理額</td> <td style="text-align: right;">5,053</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">14,018</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">205,957</td> </tr> </table> <p>(注)その他は、その他の関係会社からの出向者の年金掛金負担分と退職給付引当額相当額負担分になります。</p>	勤務費用	167,222	利息費用	19,662	数理計算上の差異の費用処理額	5,053	その他	14,018	退職給付費用	205,957
勤務費用	160,751																				
利息費用	17,066																				
数理計算上の差異の費用処理額	6,439																				
その他	15,287																				
退職給付費用	199,545																				
勤務費用	167,222																				
利息費用	19,662																				
数理計算上の差異の費用処理額	5,053																				
その他	14,018																				
退職給付費用	205,957																				
<p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項</p> <p>退職給付見込額の期間配分方法 勤務期間を基準とする方法</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">割引率</td> <td style="text-align: right;">1.5%</td> </tr> </table> <p>過去勤務債務の額の処理年数 1年（発生時において費用処理する方法）</p> <p>数理計算上の差異の処理年数 1年（発生時において費用処理する方法）</p>	割引率	1.5%	<p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項</p> <p>退職給付見込額の期間配分方法 勤務期間を基準とする方法</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">割引率</td> <td style="text-align: right;">1.5%</td> </tr> </table> <p>過去勤務債務の額の処理年数 1年（発生時において費用処理する方法）</p> <p>数理計算上の差異の処理年数 1年（発生時において費用処理する方法）</p>	割引率	1.5%																
割引率	1.5%																				
割引率	1.5%																				

(税効果会計関係)

第26期 (平成23年3月31日)	第27期 (平成24年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
(単位：千円)	(単位：千円)
(1) 流動の部	(1) 流動の部
繰延税金資産	繰延税金資産
賞与引当金	賞与引当金
133,428	106,421
未払社会保険料	未払社会保険料
14,807	12,691
未払事業税	未払事業税
83,126	27,381
未払事業所税	未払事業所税
6,378	5,808
その他	その他
4,235	3,644
繰延税金資産計	繰延税金資産計
241,975	155,946
評価性引当額	評価性引当額
-	-
繰延税金資産合計	繰延税金資産合計
241,975	155,946
繰延税金資産の純額	繰延税金資産の純額
241,975	155,946
(2) 固定の部	(2) 固定の部
繰延税金資産	繰延税金資産
退職給付引当金	退職給付引当金
533,373	530,792
ソフトウェア償却	ソフトウェア償却
141,119	95,129
投資有価証券評価損	投資有価証券評価損
71,023	61,204
特定外国子会社留保金額	特定外国子会社留保金額
247,489	222,604
その他	その他
4,925	7,328
繰延税金資産計	繰延税金資産計
997,931	917,059
評価性引当額	評価性引当額
321,097	290,326
繰延税金資産合計	繰延税金資産合計
676,833	626,732
繰延税金負債	繰延税金負債
その他有価証券評価差額金	その他有価証券評価差額金
70,383	37,399
繰延税金負債合計	繰延税金負債合計
70,383	37,399
繰延税金資産の純額	繰延税金資産の純額
606,449	589,332
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
	(%)
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため、記載を省略しております。	法定実効税率
	40.6
	(調整)
	評価性引当額の増減
	1.0
	交際費等永久に損金に算入されない項目
	0.3
	住民税均等割等
	0.2
	外国税額控除
	0.5
	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正
	4.5
	その他
	0.2
	税効果会計適用後の法人税等の負担率
	44.4

### 3. 法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の修正

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以降開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、前事業年度の40.6%から、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年4月1日から平成27年3月31日 38.0%

平成27年4月1日以降 35.6%

この税率の変更により繰延税金資産の純額が88,362千円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額の金額が93,662千円、その他有価証券評価差額金が5,299千円、それぞれ増加しております。

(資産除去債務関係)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

第26期（自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日）

## 1.セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融商品取引業を中心とする営業活動を展開しております。これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っており、この役務提供と一体となった営業活動を基に収益を得ております。

従って、当社の事業区分は、「投資・金融サービス業」という単一の事業セグメントに属しており、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 2.関連情報

## (1)製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他	合計
外部顧客への売上高	27,350,519	2,113,027	1,828,087	302,451	31,594,086

## (2)地域ごとの情報

## 売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略しております。

## 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## (3)主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

第27期(自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)

## 1.セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融商品取引業を中心とする営業活動を展開しております。これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っており、この役務提供と一体となった営業活動を基に収益を得ております。

従って、当社の事業区分は、「投資・金融サービス業」という単一の事業セグメントに属しており、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 2.関連情報

## (1)製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他	合計
外部顧客への売上高	25,467,198	2,001,039	1,743,437	184,558	29,396,234

## (2)地域ごとの情報

## 売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略しております。

## 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## (3)主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## (関連当事者情報)

第26期(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

## 1.親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社	住友生命保険(相)	大阪府大阪市中央区	210,000,000	生命保険業	(被所有)% 直接 40	当社の主要顧客	投資助言報酬	1,130,782	未収投資助言報酬	293,061
その他の関係会社	(株)三井住友銀行	東京都千代田区	1,770,996,505	銀行業	(被所有)% 直接 27.5	投信の販売委託 役員の兼任	委託販売手数料	4,558,604	未払手数料	374,320

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

## 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1)投資助言契約の受託については、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

(2)投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

## 2. その他の関係会社の子会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社の子会社	日興コーポリアル証券(株)	東京都千代田区	10,000,000	証券業	- %	投信の販売委託	委託販売手数料	2,174,385	未払手数料	110,182

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

## 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1)投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

第27期(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

## 1.親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

(単位:千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社	住友生命保険(相)	大阪府 大阪市 中央区	220,000,000	生命保険業	(被所有) % 直接 40	当社の 主要顧客	投資助言 報酬	1,082,284	未収投資 助言報酬	283,244
その他の関係会社	(株)三井住友銀行	東京都 千代田区	1,770,996,505	銀行業	(被所有) % 直接 27.5	投信の販売委託 役員の兼任	委託販売 手数料	4,294,733	未払手数料	345,061

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

## 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 投資助言契約の受託については、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。
- (2) 投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

## 2. その他の関係会社の子会社等

(単位:千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社の子会社	S M B C 日興証券(株)	東京都 千代田区	10,000,000	証券業	- %	投信の 販売委託	委託販売 手数料	1,765,986	未払手数料	264,970

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

## 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。



## (1株当たり情報)

第26期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	第27期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
1株当たり純資産額 1,584,018円42銭 1株当たり当期純利益 143,507円12銭	1株当たり純資産額 1,605,326円06銭 1株当たり当期純利益 94,244円73銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
(1株当たり純資産額の算定上の基礎) 貸借対照表の純資産の部の合計額 27,942,085千円 普通株式に係る純資産額 27,942,085千円 普通株式の発行済株式数 17,640株 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 17,640株	(1株当たり純資産額の算定上の基礎) 貸借対照表の純資産の部の合計額 28,317,951千円 普通株式に係る純資産額 28,317,951千円 普通株式の発行済株式数 17,640株 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 17,640株
(1株当たり当期純利益の算定上の基礎) 損益計算書上の当期純利益 2,531,465千円 普通株式に係る当期純利益 2,531,465千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 普通株式の期中平均株式数 17,640株	(1株当たり当期純利益の算定上の基礎) 損益計算書上の当期純利益 1,662,477千円 普通株式に係る当期純利益 1,662,477千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 普通株式の期中平均株式数 17,640株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

[次へ](#)

## 中間財務諸表

## (1)中間貸借対照表

(単位：千円)

		第28期中間会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金		16,703,596
有価証券		3,999,207
前払費用		257,951
未収委託者報酬		3,221,255
未収運用受託報酬		414,813
未収投資助言報酬		455,610
未収収益		18,523
繰延税金資産		166,931
その他		2,597
流動資産合計		25,240,487
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	1	278,883
無形固定資産		387,892
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券		5,955,910
その他		1,603,125
投資その他の資産合計		7,559,035
固定資産合計		8,225,811
資産合計		33,466,298
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金		46,700
未払金		1,967,237
未払費用		962,591
未払法人税等		527,043
前受収益		7,481
賞与引当金		264,855
その他	2	80,694
流動負債合計		3,856,605
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金		1,583,169
固定負債合計		1,583,169
負債合計		5,439,775
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金		2,000,000
資本剰余金		
資本準備金		8,628,984
資本剰余金合計		8,628,984
利益剰余金		
利益準備金		284,245

その他利益剰余金	
配当準備積立金	60,000
別途積立金	1,476,959
繰越利益剰余金	15,729,295
利益剰余金合計	17,550,500
株主資本合計	28,179,484
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	152,960
評価・換算差額等合計	152,960
純資産合計	28,026,523
負債純資産合計	33,466,298

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

		第28期中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業収益		
委託者報酬		12,101,664
運用受託報酬		947,312
投資助言報酬		834,061
その他の営業収益		62,525
営業収益計		13,945,563
営業費用		8,998,609
一般管理費	1	3,693,404
営業利益		1,253,548
営業外収益	2	24,695
営業外費用	3	5,196
経常利益		1,273,048
特別利益		336
特別損失	4	57,288
税引前中間純利益		1,216,096
法人税、住民税及び事業税		497,151
法人税等調整額		47,995
法人税等合計		449,155
中間純利益		766,940

## (3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：千円)

		第28期中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

株主資本	
資本金	
当期首残高	2,000,000
当中間期末残高	2,000,000
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	8,628,984
当中間期末残高	8,628,984
資本剰余金合計	
当期首残高	8,628,984
当中間期末残高	8,628,984
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	284,245
当中間期末残高	284,245
その他利益剰余金	
配当準備積立金	
当期首残高	60,000
当中間期末残高	60,000
別途積立金	
当期首残高	1,476,959
当中間期末残高	1,476,959
繰越利益剰余金	
当期首残高	15,791,435
当中間期変動額	
剰余金の配当	829,080
中間純利益	766,940
当中間期変動額合計	62,139
当中間期末残高	15,729,295
利益剰余金合計	
当期首残高	17,612,639
当中間期変動額	
剰余金の配当	829,080
中間純利益	766,940
当中間期変動額合計	62,139
当中間期末残高	17,550,500
株主資本合計	
当期首残高	28,241,623
当中間期変動額	
剰余金の配当	829,080
中間純利益	766,940
当中間期変動額合計	62,139
当中間期末残高	28,179,484
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	76,327
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	229,288
当中間期変動額合計	229,288
当中間期末残高	152,960

評価・換算差額等合計	
当期首残高	76,327
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	229,288
当中間期変動額合計	229,288
当中間期末残高	152,960
純資産合計	
当期首残高	28,317,951
当中間期変動額	
剰余金の配当	829,080
中間純利益	766,940
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	229,288
当中間期変動額合計	291,428
当中間期末残高	28,026,523

## 重要な会計方針

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券

満期保有目的の債券

償却原価法

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの

中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

定率法によっております。但し、建物(建物附属設備を除く)については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3～50年

器具備品 3～20年

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当中間会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当中間会計期間の営業利益、経常利益及び税引前中間純利益に与える影響は軽微であります。

#### (2) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

## 3. 引当金の計上基準

## (1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち当中間会計期間の負担額を計上しております。

## (2) 退職給付引当金

従業員の退職金支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間会計期間において発生していると認められる額を計上しております。

過去勤務債務については、その発生時において一時に費用処理しております。

数理計算上の差異については、その発生時において一時に費用処理しております。

## 4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

## 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

## 注記事項

## ( 中間貸借対照表関係 )

第28期中間会計期間 (平成24年9月30日)	
1. 有形固定資産の減価償却累計額	885,491千円
2. 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債のその他に含めて表示しております。
3. 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座借越契約を締結しております。	当中間会計期間末における当座借越契約に係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。
	当座借越極度額の総額 10,000,000千円
	借入実行残高 <u>                    -</u>
	差引額 10,000,000千円
4. 当社は、子会社であるSumitomo Mitsui Asset Management(New York) Inc.における賃貸借契約に係る賃借料に対し、平成27年6月までの賃借料総額45,460千円の支払保証を行っております。	

## ( 中間損益計算書関係 )

第28期中間会計期間 (自平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
1. 減価償却実施額	
有形固定資産	54,001千円
無形固定資産	34,225千円
2. 営業外収益のうち主要なもの	
受取利息	3,069千円

受取配当金	15,103千円
3．営業外費用のうち主要なもの 為替差損	5,196千円
4．特別損失のうち主要なもの 投資有価証券売却損	36,226千円
投資有価証券評価損	17,803千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

第28期中間会計期間（自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日）

## 1．発行済株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
普通株式	17,640株	-	-	17,640株

## 2．剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月25日 定時株主総会	普通株式	829,080	47,000	平成24年 3月31日	平成24年 6月26日

(リース取引関係)

第28期中間会計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	
1．オペレーティング・リース取引 (借主側)	
未経過リース料（解約不能のもの）	
1年以内	583,720千円
1年超	1,469,547千円
合計	2,053,268千円

(金融商品関係)

## 1．金融商品の時価等に関する事項

第28期中間会計期間（平成24年 9月30日）

平成24年 9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

(単位：千円)

区分	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	16,703,596	16,703,596	-
(2)未収委託者報酬	3,221,255	3,221,255	-
(3)未収運用受託報酬	414,813	414,813	-
(4)未収投資助言報酬	455,610	455,610	-
(5)有価証券及び投資有価証券 満期保有目的の債券	3,999,207	3,998,800	407

その他有価証券	5,922,072	5,922,072	-
(6)投資その他の資産			
長期差入保証金	680,513	680,513	-
資産計	31,397,067	31,396,660	407
(1)未払金			
未払手数料	1,768,995	1,768,995	-
負債計	1,768,995	1,768,995	-

## (注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

## 資産

(1) 現金及び預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬 及び

(4) 未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(5) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、債券については取引金融機関から提示された価格及び業界団体が公表する売買参考統計値等によって、投資信託等については取引所の価格、取引金融機関から提示された価格及び公表されている基準価格によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 投資その他の資産

長期差入保証金

これらの時価については、敷金の性質及び賃貸借契約の期間から帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

## 負債

(1) 未払金

未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

## (注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額
その他有価証券	
非上場株式	298
投資証券	33,540
合計	33,838
子会社株式	
非上場株式	234,921
合計	234,921

その他有価証券については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであり、「(5) その他有価証券」には含めておりません。また、上記の表中にある「中間貸借対照表計上額」は、減損処理後の帳簿価額です。当中間会計期間における減損処理額は、14,903千円です。



子会社株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであることから、時価開示の対象とはしておりません。

（有価証券関係）

第28期中間会計期間（平成24年9月30日）

1．満期保有目的の債券

（単位：千円）

区分	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)中間貸借対照表日の時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	-	-	-
小計	-	-	-
(2)中間貸借対照表日の時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	3,999,207	3,998,800	407
小計	3,999,207	3,998,800	407
合計	3,999,207	3,998,800	407

2．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 234,921千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

3．その他有価証券

（単位：千円）

区分	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
(1)中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 投資信託等	2,793,142	2,705,290	87,851
小計	2,793,142	2,705,290	87,851
(2)中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 投資信託等	3,128,929	3,369,742	240,812
小計	3,128,929	3,369,742	240,812
合計	5,922,072	6,075,033	152,960

（注）非上場株式等（中間貸借対照表計上額 33,838千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。また、上記の表中にある「中間貸借対照表計上額」は、減損処理後の帳簿価額です。当中間会計期間における減損処理額は、2,900千円です。

（デリバティブ取引関係）

当社は、デリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

（資産除去債務等）

該当事項はありません。

## （セグメント情報等）

第28期中間会計期間（自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日）

## 1．セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融商品取引業を中心とする営業活動を展開しております。これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っており、この役務提供と一体となった営業活動を基に収益を得ております。

従って、当社の事業区分は、「投資・金融サービス業」という単一の事業セグメントに属しており、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 2．関連情報

## (1)製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他	合計
外部顧客への売上高	12,101,664	947,312	834,061	62,525	13,945,563

## (2)地域ごとの情報

## 売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が中間損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略しております。

## 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## (3)主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、中間損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## （1株当たり情報）

第28期中間会計期間 （自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日）	
1株当たり純資産額	1,588,805円19銭
1株当たり中間純利益	43,477円35銭
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎	
中間貸借対照表の純資産の部の合計額	28,026,523千円
普通株式に係る純資産額	28,026,523千円
普通株式の発行済株式数	17,640株
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	17,640株
1株当たり中間純利益の算定上の基礎	
中間損益計算書上の中間純利益	766,940千円

普通株式に係る中間純利益	766,940千円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳	
該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	17,640株

## （追加情報）

第28期中間会計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

## 1. トヨタアセットマネジメント株式会社との経営統合

当社は、平成24年9月28日に、トヨタアセットマネジメント株式会社、トヨタファイナンシャルサービス株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社と、平成25年4月1日を効力発生日としてトヨタアセットマネジメント株式会社と経営統合する旨の合意書を締結致しました。

## (1)目的

当社とトヨタアセットマネジメント株式会社の経営統合により、地域性や商品性などの相互補完関係を活かすことで、国内における事業基盤の飛躍的な拡大と運用・商品開発力の強化、更に、経営におけるシナジー発揮などを通じ、お客様サービスのより一層の向上が行えるとの判断に至り、この度合意いたしました。

## (2)合併する相手会社の名称

トヨタアセットマネジメント株式会社

## (3)合併の方法、合併後の会社名

当該合併は、当社がトヨタアセットマネジメント株式会社の全株式を取得した後に行い、当社を存続会社とする吸収合併方式であり、トヨタアセットマネジメント株式会社は解散いたします。合併後の名称に変更はありません。

## (4)合併比率、合併交付金の額、合併により発行する株式の種類及び数

当社は、トヨタアセットマネジメント株式会社の発行済株式の全てを所有する予定となっているため、合併に際しては新株の発行及び金銭等の交付はいたしません。

## (5)相手会社の主な事業の内容、規模（平成24年3月期）

名称	トヨタアセットマネジメント株式会社
事業の内容	投資運用業等
資本金	600,000千円
純資産	1,385,963千円
総資産	1,833,325千円
営業収益	1,980,544千円
当期純利益	5,635千円

## (6)合併の時期

平成25年4月1日（予定）

[次へ](#)

(参考情報)

## トヨタアセットマネジメント株式会社の経理状況

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)に基づいて作成しております。  
また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)に基づいて作成しております。  
なお、財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第23期事業年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の財務諸表について、あらた監査法人により監査を受けております。  
また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第24期中間会計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の中間財務諸表について、あらた監査法人により中間監査を受けております。

[次へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成24年6月15日

トヨタアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているトヨタアセットマネジメント株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第23期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、トヨタアセットマネジメント株式会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[次へ](#)

## (1)貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)		当事業年度 (平成24年3月31日)	
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>				
現金及び預金		364,242		501,562
有価証券		772,833		643,270
前払費用		25,258		21,817
未収委託者報酬		453,107		372,005
未収運用受託報酬		94,575		92,258
繰延税金資産		27,806		19,857
<b>流動資産合計</b>		<b>1,737,821</b>		<b>1,650,770</b>
<b>固定資産</b>				
<b>有形固定資産</b>				
建物	*1	20,177	*1	17,684
器具備品	*1	16,143	*1	8,726
<b>有形固定資産合計</b>		<b>36,320</b>		<b>26,411</b>
<b>無形固定資産</b>				
ソフトウェア		8,911		7,672
電話加入権		1,207		1,207
<b>無形固定資産合計</b>		<b>10,119</b>		<b>8,879</b>
<b>投資その他の資産</b>				
投資有価証券		555		40,477
長期前払費用		16		-
長期差入保証金		70,343		70,406
長期預け金		602		574
繰延税金資産		33,002		35,810
<b>投資その他の資産合計</b>		<b>104,518</b>		<b>147,266</b>
<b>固定資産合計</b>		<b>150,957</b>		<b>182,555</b>
<b>資産合計</b>		<b>1,888,777</b>		<b>1,833,325</b>

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)		当事業年度 (平成24年3月31日)	
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>				
預り金		6,067		8,489
未払代行手数料		247,745		202,085
未払金		566		606
未払費用		89,782		93,163
未払法人税等		11,207		6,403

未払消費税等	8,802	9,154
賞与引当金	48,000	27,000
流動負債合計	412,169	346,901
固定負債		
退職給付引当金	80,919	100,461
固定負債合計	80,919	100,461
負債合計	493,088	447,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
利益剰余金		
利益準備金	27,760	29,284
その他利益剰余金		
別途積立金	109,000	109,000
繰越利益剰余金	658,818	647,689
利益剰余金合計	795,578	785,973
株主資本合計	1,395,578	1,385,973
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	111	10
評価・換算差額等合計	111	10
純資産合計	1,395,689	1,385,963
負債・純資産合計	1,888,777	1,833,325

## (2)損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自平成22年4月 1日 至平成23年3月31日)	当事業年度 (自平成23年4月 1日 至平成24年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	1,379,563	1,177,306
運用受託報酬	252,648	273,573
投資助言報酬	*1 536,073	*1 529,665
営業収益合計	2,168,284	1,980,544
営業費用		
支払手数料	675,328	550,329
広告宣伝費	-	6,366
調査費	142,527	147,633
委託調査費	108,516	114,623
委託計算費	43,825	42,128
営業雑経費		

通信費		6,338		5,816
印刷費		30,271		21,775
協会費		4,081		4,239
諸会費		667		874
その他営業雑経費		1,880		3,651
営業費用合計		1,013,432		897,433
一般管理費				
給料				
役員報酬		75,740		83,127
給料・手当	*1	489,172	*1	488,251
賞与	*1	139,887	*1	99,845
賞与引当金繰入		48,000		27,000
福利厚生費		92,418		93,480
交際費		1,881		6,181
旅費交通費		13,360		16,469
租税公課		6,718		9,114
不動産賃借料		99,501		89,783
退職給付費用	*1	28,575	*1	32,884
固定資産減価償却費		22,238		13,584
業務委託費		44,641		49,845
諸経費		34,537		40,787
一般管理費合計		1,096,666		1,050,351
営業利益		58,187		32,760
営業外収益				
受取利息		30		36
有価証券利息		628		547
受取配当金		-		529
その他営業外収益		364		1,203
営業外収益合計		1,022		2,315
営業外費用				
雑損失		151		336
営業外費用合計		151		336
経常利益		59,057		34,739
特別利益				
投資有価証券売却益		-		71
特別利益合計		-		71
特別損失				
役員退職慰労金		20,880		7,750
固定資産除却損	*2	1,012	*2	1,020
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		3,405		-
特別損失合計		25,297		8,770



税引前当期純利益	33,761	26,040
法人税、住民税及び事業税	21,000	15,259
法人税等調整額	4,094	5,146
法人税等合計	16,906	20,405
当期純利益	16,854	5,635

## (3)株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	600,000	600,000
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	600,000	600,000
利益剰余金		
利益準備金		
当期首残高	25,876	27,760
当期変動額		
利益準備金の積立	1,884	1,524
当期変動額合計	1,884	1,524
当期末残高	27,760	29,284
その他利益剰余金		
別途積立金		
当期首残高	109,000	109,000
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	109,000	109,000
繰越利益剰余金		
当期首残高	662,688	658,818
当期変動額		
利益準備金の積立	1,884	1,524
剰余金の配当	18,840	15,240
当期純利益	16,854	5,635
当期変動額合計	3,870	11,129
当期末残高	658,818	647,689
利益剰余金合計		
当期首残高	797,564	795,578
当期変動額		
利益準備金の積立	-	-
剰余金の配当	18,840	15,240
当期純利益	16,854	5,635
当期変動額合計	1,986	9,605

当期末残高	795,578	785,973
株主資本合計		
当期首残高	1,397,564	1,395,578
当期変動額		
剰余金の配当	18,840	15,240
当期純利益	16,854	5,635
当期変動額合計	1,986	9,605
当期末残高	1,395,578	1,385,973
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	86	111
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25	121
当期変動額合計	25	121
当期末残高	111	10
評価・換算差額等合計		
当期首残高	86	111
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25	121
当期変動額合計	25	121
当期末残高	111	10
純資産合計		
当期首残高	1,397,650	1,395,689
当期変動額		
剰余金の配当	18,840	15,240
当期純利益	16,854	5,635
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25	121
当期変動額合計	1,961	9,726
当期末残高	1,395,689	1,385,963

## 重要な会計方針

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

#### その他有価証券

決算日の市場価格等による時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。なお、預金と同様の性格を有する有価証券については、移動平均法による原価法を採用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

定率法を採用しております。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法を採用しております。

#### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込み利用可能期間(5年)による定額法を採用しております。

## 3. 引当金の計上基準

## (1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えて、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

## (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職金規程に基づく自己都合要支給額の全額を計上しております。

## 4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

## 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## 追加情報

## 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 注記事項

## （貸借対照表関係）

前事業年度 (平成23年3月31日)	当事業年度 (平成24年3月31日)
*1 有形固定資産の減価償却累計額	*1 有形固定資産の減価償却累計額
建物 61,485千円	建物 63,978千円
器具備品 71,812千円	器具備品 57,853千円
計 133,297千円	計 121,831千円

## （損益計算書関係）

前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)	当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)
*1 関係会社との取引額	*1 関係会社との取引額
投資助言報酬 536,073千円	投資助言報酬 529,665千円
給料・手当 99,318千円	給料・手当 107,355千円
賞与 31,293千円	賞与 31,907千円
退職給付費用 4,632千円	退職給付費用 4,200千円
*2 固定資産除却損は、器具備品936千円及び電話加入権76千円であります。	*2 固定資産除却損は、器具備品1,020千円であります。

## （株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度 増加株式数 (株)	当事業年度 減少株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	12,000	-	-	12,000
合計	12,000	-	-	12,000

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成22年6月28日 定時株主総会	普通株式	18,840	1,570	平成22年 3月31日	平成22年 6月29日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	15,240	1,270	平成23年 3月31日	平成23年 6月29日

当事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度 増加株式数 (株)	当事業年度 減少株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	12,000	-	-	12,000
合計	12,000	-	-	12,000

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,240	1,270	平成23年 3月31日	平成23年 6月29日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	5,040	420	平成24年 3月31日	平成24年 6月28日

(リース取引関係)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については、合理的な理由がある場合を除いて、銀行預金及び安全性の高い有価証券に限定しており、投機的な取引は行わない方針であります。また、資金調達については、運転資金及び設備投資資金に関しては、原則として自己資金で賄う方針であります。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である未収運用受託報酬には、顧客の信用リスクが存在します。資産管理部門及び営業部門において、日常の営業活動により、顧客等の信用状況を把握するとともに、債権回収の期日管理を行い、経理部門でその回収を確認することで、回収懸念の軽減ないしは早期把握に努めています。

また、未収委託者報酬には、運用を委託されている投資信託の運用資産が悪化した場合に回収できず、当社が損失を被るリスクが存在しますが、過去の回収実績等からリスクは非常に低いものと考えております。

有価証券及び投資有価証券は、当社設定・運用の短期公社債投資信託並びに株式投資信託であり、組入れ有価証券について市場価格の変動リスク及び信用リスク等が存在します。当該リスクに対しては、日々、時価を把握し、組入れ有価証券の発行体の財務状況等の把握等により、リスク管理を実施するとともに、定期的に保有継続について検討を行っています。

長期差入保証金は、建物賃貸借契約に係る敷金であり、差し入れ先の信用リスクに晒されています。差し入れ先の信用状況を定期的に把握することを通じて、リスクの軽減を図っています。

営業債務である未払費用は、全て1年以内に支払期日が到来します。これらには、流動性リスクが存在します。当社は、現状、自己資金が充分であります。キャッシュ・フローの管理等を通じて、リスクの軽減を図っています。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

前事業年度(平成23年3月31日)

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりとなっております。なお、時価を把握するのが極めて困難と認められる金融商品はありません。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	364,242	364,242	
(2)有価証券	772,833	772,833	
(3)未収委託者報酬	453,107	453,107	
(4)未収運用受託報酬	94,575	94,575	
(5)投資有価証券	555	555	
(6)長期差入保証金	70,343	68,690	1,653
資産計	1,755,655	1,754,003	1,653
(1)未払代行業手数料	247,745	247,745	
(2)未払費用	89,782	89,782	
負債計	337,527	337,527	

(注1)金融商品の時価の算定方法

資産

(1)現金及び預金

預金はすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券及び(5)投資有価証券

有価証券及び投資有価証券は、すべて投資信託であり、その時価については、基準価額によっております。

(3)未収委託者報酬及び(4)未収運用受託報酬

これらはすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(6)長期差入保証金

長期差入保証金(敷金)の時価の算定は、合理的に見積りした長期差入保証金(敷金)の返還予定時期に基づき、国債の利率で割引いた現在価値によっております。

負債

(1)未払代行手数料及び(2)未払費用

これらはすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれます。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(注3)金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	364,242			
未収委託者報酬	453,107			
未収運用受託報酬	94,575			
長期差入保証金		56,274	14,069	
合計	911,924	56,274	14,069	

当事業年度(平成24年3月31日)

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりとなっております。なお、時価を把握するのが極めて困難と認められる金融商品はありません。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	501,562	501,562	
(2)有価証券	643,270	643,270	
(3)未収委託者報酬	372,005	372,005	
(4)未収運用受託報酬	92,258	92,258	
(5)投資有価証券	40,477	40,477	
(6)長期差入保証金	70,406	69,389	1,016
資産計	1,719,978	1,718,962	1,016

(1)未払代行手数料	202,085	202,085	
(2)未払費用	93,163	93,163	
負債計	295,248	295,248	

## (注1)金融商品の時価の算定方法

## 資産

## (1)現金及び預金

預金はすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

## (2)有価証券及び(5)投資有価証券

有価証券及び投資有価証券は、すべて投資信託であり、その時価については、基準価額によっております。

## (3)未収委託者報酬及び(4)未収運用受託報酬

これらはすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

## (6)長期差入保証金

長期差入保証金（敷金）の時価の算定は、合理的に見積りした長期差入保証金（敷金）の返還予定時期に基づき、国債の利率で割引いた現在価値によっております。

## 負債

## (1)未払代行手数料及び(2)未払費用

これらはすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

## (注2)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれます。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

## (注3)金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	501,562	-	-	-
未収委託者報酬	372,005	-	-	-
未収運用受託報酬	92,258	-	-	-
長期差入保証金	-	-	70,406	-
合計	965,825	-	70,406	-

## (有価証券関係)

その他有価証券

前事業年度(平成23年3月31日)

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額

貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	555	444	111
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	投資信託	772,833	772,833	
合計		773,388	773,277	111

当事業年度（平成24年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	投資信託	683,747	683,762	15
合計		683,747	683,762	15

その他有価証券の当事業年度中の売却額は515千円であり、売却益は71千円であります。

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（退職給付関係）

前事業年度 （自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日）	当事業年度 （自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日）
<p>1．採用している退職給付制度の概要 当社は確定給付型の制度として、退職一時金制度を採用しております。</p> <p>2．退職給付債務に関する事項 (1)退職給付債務 80,919千円 (2)退職給付引当金 80,919千円</p> <p>3．退職給付費用に関する事項 (1)勤務費用(注) 28,575千円 (2)退職給付費用 28,575千円 (注)確定拠出年金への掛金支払額を含んでおります。</p>	<p>1．採用している退職給付制度の概要 同左</p> <p>2．退職給付債務に関する事項 (1)退職給付債務 100,461千円 (2)退職給付引当金 100,461千円</p> <p>3．退職給付費用に関する事項 (1)勤務費用(注) 32,884千円 (2)退職給付費用 32,884千円 (注)確定拠出年金への掛金支払額を含んでおります。</p>

（税効果会計関係）

前事業年度 （平成23年3月31日）	当事業年度 （平成24年3月31日）
<p>1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of 主な原因別の内訳</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <p>繰延税金資産</p>	<p>1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of 主な原因別の内訳</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <p>繰延税金資産</p>



未払事業税	1,542	未払事業税	1,023
少額固定資産	285	少額固定資産	71
賞与引当金超過額	19,531	賞与引当金超過額	10,263
未払費用	6,287	未払費用	8,270
退職給付引当金超過額	32,926	退職給付引当金超過額	35,804
資産除去債務	1,535	資産除去債務	1,476
その他	463	その他	235
繰延税金資産小計	62,569	繰延税金資産小計	57,142
評価性引当額	1,762	評価性引当額	1,475
繰延税金資産の純額	60,808	繰延税金資産の純額	55,667
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率 (調整)	40.7%	法定実効税率 (調整)	40.7%
交際費等永久に損金に算入 されない項目	2.7%	交際費等永久に損金に算入 されない項目	10.6%
住民税均等割	2.4%	住民税均等割	3.2%
評価性引当額	5.2%	評価性引当額	0.2%
その他	1.0%	税率変更による期末繰延税 金資産の減額修正	24.9%
税効果会計適用後の法人税 等の負担率	50.1%	その他	0.7%
		税効果会計適用後の法人税 等の負担率	78.4%

### 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産の金額の修正

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産の計算に使用する法定実効税率は従来の40.7%から、平成24年4月1日に開始する事業年度から平成26年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%になります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額が6,474千円、その他有価証券評価差額金が1千円、それぞれ減少し、法人税等調整額が6,473千円増加しております。

## （セグメント情報等）

### 〔セグメント情報〕

当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

### 〔関連情報〕

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益のみであるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産のみであるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

#### 3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	営業収益(千円)	関連するセグメント名
あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社	536,073	-

当事業年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

〔関連情報〕

1. 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益のみであるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産のみであるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	営業収益(千円)	関連するセグメント名
あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社	529,665	-

(関連当事者情報)

前事業年度(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
その他の関係会社	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(注3)	東京都 渋谷区	100,005 百万円	損害保険業	(被所有) 直接50%	投資顧問契約	投資助言報酬(注1)	536,073		
						役員の兼任等	出向者人件費(注2)	108,809		

(1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

(2) 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 投資助言報酬は、投資資産額に一定料率を乗じる方法等により算定しており、他の投資顧問契約の料率を勘案して決定しております。

(注2) 出向者人件費は、出向元の給与規程を基に計算した人件費相当額を支払っております。

(注3) 平成22年10月1日付けにて、あいおい損害保険株式会社はニッセイ同和損害保険株式会社と合併し、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社となりました。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

該当事項はありません。

当事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1．関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
その他の関係会社	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	東京都渋谷区	100,005 百万円	損害保険業	(被所有) 直接50%	投資顧問契約	投資助言報酬 (注1)	529,665		
						役員の兼任等	出向者人件費(注2)	112,755		

(1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

(2) 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 投資助言報酬は、投資資産額に一定料率を乗じる方法等により算定しており、他の投資顧問契約の料率を勘案して決定しております。

(注2) 出向者人件費は、出向元の給与規程を基に計算した人件費相当額を支払っております。

2．親会社又は重要な関連会社に関する注記

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)	当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)
1株当たり純資産額 116,307.42円	1株当たり純資産額 115,496.94円
1株当たり当期純利益 1,404.52円	1株当たり当期純利益 469.62円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
1株当たり当期純利益の算定上の基礎 損益計算書上の当期純利益 16,854千円 普通株式に係る当期純利益 16,854千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。	1株当たり当期純利益の算定上の基礎 損益計算書上の当期純利益 5,635千円 普通株式に係る当期純利益 5,635千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。
普通株式の期中平均株式数 12,000株	普通株式の期中平均株式数 12,000株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

[次へ](#)

## 独立監査人の中間監査報告書

平成24年12月10日

トヨタアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているトヨタアセットマネジメント株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第24期事業年度の中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、トヨタアセットマネジメント株式会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[次へ](#)

## 中間財務諸表

## (1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

		当中間会計期間末 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		485,159
有価証券		643,449
前払費用		33,527
未収委託者報酬		379,229
未収運用受託報酬		97,197
繰延税金資産		25,376
流動資産合計		1,663,937
固定資産		
有形固定資産		
建物	*1	16,611
器具備品	*1	8,470
有形固定資産合計		25,080
無形固定資産		
ソフトウェア		6,951
その他		38
無形固定資産合計		6,989
投資その他の資産		
投資有価証券		41,809
長期差入保証金		70,130
長期預け金		565
繰延税金資産		38,909
投資その他の資産合計		151,413
固定資産合計		183,482
資産合計		1,847,419

(単位:千円)

		当中間会計期間末 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
預り金		8,747

未払代行手数料		205,926
未払金		598
未払費用		96,394
未払法人税等		6,278
未払消費税等	*2	7,723
賞与引当金		45,000
流動負債合計		370,666
固定負債		
退職給付引当金		110,046
役員退職慰労引当金		7,637
固定負債合計		117,683
負債合計		488,349
純資産の部		
株主資本		
資本金		600,000
利益剰余金		
利益準備金		29,788
その他利益剰余金		
別途積立金		109,000
繰越利益剰余金		619,719
利益剰余金合計		758,507
株主資本合計		1,358,507
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		563
評価・換算差額等合計		563
純資産合計		1,359,070
負債・純資産合計		1,847,419

## ( 2 ) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自平成24年4月 1日 至平成24年9月30日)
営業収益	
委託者報酬	580,297
運用受託報酬	148,019
投資助言報酬	223,536
営業収益合計	951,852
営業費用	

支払手数料		273,681
調査費		71,117
委託調査費		58,360
委託計算費		20,686
営業雑経費		
通信費		2,559
印刷費		9,566
協会費		2,212
諸会費		729
その他営業雑経費		1,116
営業費用合計		440,026
一般管理費		
給料		
役員報酬		37,057
給料・手当		241,179
賞与		33,277
賞与引当金繰入		45,000
福利厚生費		44,450
交際費		4,771
旅費交通費		8,608
租税公課		2,927
不動産賃借料		38,239
退職給付費用		16,058
役員退職慰労引当金繰入		7,637
固定資産減価償却費	*1	4,881
業務委託費		29,227
諸経費		25,840
一般管理費合計		539,150
営業損失		27,324
営業外収益		
受取利息		27
有価証券利息		223
受取配当金		475
その他営業外収益		735
営業外収益合計		1,460
営業外費用		
雑損失		1,170
営業外費用合計		1,170
経常損失		27,035
税引前中間純損失		27,035
法人税、住民税及び事業税		4,327
法人税等調整額		8,935
法人税等合計		4,608
中間純損失		22,426



## (3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自平成24年4月 1日 至平成24年9月30日)
株主資本	
資本金	
当期首残高	600,000
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	600,000
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	29,284
当中間期変動額	
利益準備金の積立	504
当中間期変動額合計	504
当中間期末残高	29,788
その他利益剰余金	
別途積立金	
当期首残高	109,000
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	109,000
繰越利益剰余金	
当期首残高	647,689
当中間期変動額	
利益準備金の積立	504
剰余金の配当	5,040
中間純損失	22,426
当中間期変動額合計	27,970
当中間期末残高	619,719
利益剰余金合計	
当期首残高	785,973
当中間期変動額	
剰余金の配当	5,040
中間純損失	22,426
当中間期変動額合計	27,466
当中間期末残高	758,507
株主資本合計	
当期首残高	1,385,973

当中間期変動額	
剰余金の配当	5,040
中間純損失	22,426
当中間期変動額合計	27,466
当中間期末残高	1,358,507
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	10
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	573
当中間期変動額合計	573
当中間期末残高	563
評価・換算差額等合計	
当期首残高	10
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	573
当中間期変動額合計	573
当中間期末残高	563
純資産合計	
当期首残高	1,385,963
当中間期変動額	
剰余金の配当	5,040
中間純損失	22,426
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	573
当中間期変動額合計	26,893
当中間期末残高	1,359,070

## 重要な会計方針

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

#### その他有価証券

中間決算日の市場価格等による時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。なお、預金と同様の性格を有する有価証券については、移動平均法による原価法を採用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

定率法を採用しております。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法を採用しております。

#### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込み利用可能期間（5年）による定額法を採用しております。

### 3. 引当金の計上基準

## (1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えて、支給見込額の中間会計期間負担額を計上しております。

## (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職金規程に基づく自己都合要支給額に基づき、中間会計期間において発生していると認められる額を計上しております。

## (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

## 追加情報

## 役員退職慰労引当金の適用

当社の役員に対する慰労金は、従来は支出時の費用として処理しておりましたが、当中間会計期間より、内規に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しております。

これにより、営業損失、経常損失及び税引前中間純損失が7,637千円増加しております。

## 4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

## 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## 会計方針の変更

## 減価償却方法の変更

当社は法人税法の改正に伴い、当中間会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、この変更による当中間会計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 注記事項

## (中間貸借対照表関係)

当中間会計期間末 (平成24年9月30日)	
*1 有形固定資産の減価償却累計額	
建物	65,052千円
器具備品	59,980千円
計	125,032千円
*2 消費税等の取扱い	
	仮受消費税等と控除対象の仮払消費税等は相殺し、流動負債に表示しております。

## (中間損益計算書関係)

当中間会計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
*1 減価償却実施額	
有形固定資産	3,201千円

無形固定資産

1,680千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(株)	当中間会計期間 増加株式数(株)	当中間会計期間 減少株式数(株)	当中間会計期間末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	12,000	-	-	12,000
合計	12,000	-	-	12,000

## 2. 配当に関する事項

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発効日
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	5,040	420	平成24年 3月31日	平成24年 6月28日

(リース取引関係)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当中間会計期間(平成24年9月30日)

## 金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりとなっております。なお、時価を把握するのが極めて困難と認められる金融商品はありません。

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	485,159	485,159	
(2)有価証券	643,449	643,449	
(3)未収委託者報酬	379,229	379,229	
(4)未収運用受託報酬	97,197	97,197	
(5)投資有価証券	41,809	41,809	
(6)長期差入保証金	70,130	69,769	361
資産計	1,716,973	1,716,612	361
(1)未払代行手数料	205,926	205,926	
(2)未払費用	96,394	96,394	
負債計	302,320	302,320	

(注1)金融商品の時価の算定方法

資産

(1)現金及び預金

預金はすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券及び(5)投資有価証券

有価証券及び投資有価証券は、すべて投資信託であり、その時価については、基準価額によっております。

(3)未収委託者報酬及び(4)未収運用受託報酬

これらはすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(6)長期差入保証金

長期差入保証金（敷金）の時価の算定は、合理的に見積りした長期差入保証金（敷金）の返還予定時期に基づき、国債の利率で割引いた現在価値によっております。

負債

(1)未払代行手数料及び(2)未払費用

これらはすべて短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれます。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(有価証券関係)

その他有価証券

当中間会計期間末（平成24年 9月30日）

(単位：千円)

	種類	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	41,809	40,934	875
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	投資信託	643,449	643,449	
合計		685,258	684,383	875

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

当中間会計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

[関連情報]

1. 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益のみであるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産のみであるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	営業収益(千円)	関連するセグメント名
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	223,536	

( 1 株当たり情報 )

当中間会計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	
1 株当たり純資産額	113,255.85円
1 株当たり中間純損失	1,868.85円
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また潜在株式を発行していないため記載しておりません。	
1 株当たり中間純損失の算定上の基礎	
中間損益計算書上の中間純損失	22,426千円
普通株式に係る中間純損失	22,426千円
普通株主に帰属しない金額の主な内訳	該当事項はありません
普通株式の期中平均株式数	12,000株

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

#### 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- イ 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- ロ 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- ハ 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。
- ニ 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- ホ 上記ハ、ニに掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5【その他】

イ 定款の変更、その他の重要事項

委託会社は、平成25年4月1日にトヨタアセットマネジメント株式会社と合併しました。

- ロ 訴訟事件その他会社に重要な影響を与えることが予想される事実  
該当ありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

イ 受託会社

（イ）名称 三井住友信託銀行株式会社

（ロ）資本金の額 342,037百万円（平成24年9月末現在）

（ハ）事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

#### 【参考情報：再信託受託会社の概要】

・ 名称 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

・ 資本金の額 51,000百万円（平成24年9月末現在）

・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

ロ 販売会社

（イ）名称 住友生命保険相互会社

（ロ）資本金の額 639,000百万円（平成24年9月末現在の基金および基金償却積立金の合計額を記載しております。）

（ハ）事業の内容 保険業法に基づき、保険業を営んでいます。

### 2【関係業務の概要】

イ 受託会社

信託契約の受託会社であり、信託財産の保管・管理・計算等を行います。

ロ 販売会社

委託会社との間で締結された販売契約に基づき、日本における当ファンドの募集・販売の取扱い、投資信託説明書（目論見書）の提供、一部解約の実行の請求の受付け、収益分配金、償還金の支払事務等を行います。

### 3【資本関係】

販売会社である住友生命保険相互会社は、委託会社株式を4,851株（持株比率27.5%）保有しています。



### 第3【その他】

1. 目論見書の表紙にロゴ・マーク、図案およびキャッチコピーを採用すること、ファンドの形態、申込みにかかる事項、委託会社の金融商品取引業者登録番号、当該目論見書の使用開始日などを記載することがあります。
2. 目論見書は、目論見書の別称として「投資信託説明書」と称して使用することがあります。
3. 目論見書に当ファンドの信託約款を掲載すること、および投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨を記載することがあります。
4. 目論見書は、電子媒体等として使用されるほか、インターネット等に掲載されることがあります。
5. 有価証券届出書の表紙記載情報を抜粋して、目論見書に記載することがあります。
6. 目論見書の冒頭または巻末に届出書記載内容に関連する用語集を掲載することがあります。
7. 評価機関等から当ファンドに対する評価を取得し、使用することがあります。

## 独立監査人の監査報告書

平成25年4月9日

三井住友アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 鈴木 敏夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三井住友・年金プラン30の平成24年3月7日から平成25年3月6日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友・年金プラン30の平成25年3月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

三井住友アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。
-

## 独立監査人の監査報告書

平成25年4月9日

三井住友アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鈴木 敏夫 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三井住友・年金プラン50の平成24年3月7日から平成25年3月6日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友・年金プラン50の平成25年3月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

三井住友アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

---

## 独立監査人の監査報告書

平成25年4月9日

三井住友アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鈴木 敏夫 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三井住友・年金プラン70の平成24年3月7日から平成25年3月6日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友・年金プラン70の平成25年3月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

三井住友アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[委託会社の監査報告書\(当期\)へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成24年 6月15日

三井住友アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鈴木 敏夫 印  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 辰巳 幸久 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三井住友アセットマネジメント株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第27期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友アセットマネジメント株式会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[委託会社の中間監査報告書へ](#)

**独立監査人の中間監査報告書**

平成24年11月30日

三井住友アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	鈴木 敏 夫
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	辰 巳 幸 久

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三井住友アセットマネジメント株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第28期事業年度の中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

**中間財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**中間監査意見**

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三井住友アセットマネジメント株式会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

**強調事項**

追加情報に記載されているとおり、会社は平成24年9月28日に、トヨタアセットマネジメント株式会社、トヨタファイナンシャルサービス株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社と、平成25年4月1日を効力発生日としてトヨタアセットマネジメント株式会社と経営統合する旨の合意書を締結した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

**利害関係**

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。